

那珂市高齢者保健福祉計画の策定に向けた アンケート調査結果報告書

令和5（2023）年3月

那 珂 市

目 次

第1章 調査の枠組み

1. 調査の目的	1
2. 調査の種類	1
3. 調査方法および実施時期	2
4. 回収状況	2
5. 調査報告書の見方	2

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 回答者の基本属性について	3
2. 生活状況について	5
設問1 あなたのご家族や生活状況について	5
3. 日常生活について	8
設問2 からだを動かすことについて	8
設問3 食べることについて	12
設問4 毎日の生活について	16
4. 地域とのつながり等について	23
設問5 地域での活動について	23
設問6 たすけあいについて	25
5. 健康等について	28
設問7 健康について	28
設問8 介護予防、将来のことについて	31
6. 認知症対策について	34
設問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	34
7. リスク判定について	36
基本チェックリストを用いた生活機能評価	36
その他のリスク判定	40

第3章 在宅介護実態調査

1. 回答者の基本属性	43
2. 在宅サービスと日常生活について	44
3. 介護者の状況について	51

第4章 在宅生活改善調査

1. 事業所のサービス状況について	55
2. 在宅生活に改善が必要な利用者の状況について	57

第5章 居所変更実態調査

1. 事業所のサービス状況について	63
2. 居所変更された利用者の状況について	65

第6章 介護人材実態調査

1. 基本属性……………69
2. 介護職員の現状について……………71

第7章 介護サービス事業所意向調査

1. 介護サービス事業所の状況について……………77
2. 今後の事業展開について……………78

資料編

1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票……………83
2. 在宅介護実態調査 調査票……………99
3. 在宅生活改善調査 調査票……………104
4. 居所変更実態調査 調査票……………106
5. 介護人材実態調査 調査票……………110
6. 介護サービス事業所意向調査 調査票……………115

第 1 章 調査の枠組み

1. 調査の目的

本調査は、那珂市高齢者保健福祉計画（第10期那珂市高齢者福祉計画・第9期那珂市介護保険事業計画）の策定に向けて、市内の65歳以上の高齢者や要支援・要介護認定者の現状、介護サービス事業所の現状および今後の事業展開の意向等を把握し、計画策定に向けた基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2. 調査の種類

本調査では、以下の6種類の調査を実施しました。

種類	調査の趣旨
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（対象：市内在住の満65歳以上（要介護認定者除く）のかた）	要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況などを把握することで、地域が抱えている課題の特定や今後の施策展開等を検討するための基礎資料を得ることを目的とした調査です。
在宅介護実態調査（対象：市内在住の要支援・要介護認定者）	高齢者等の在宅生活の継続と家族等介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスのあり方等を検討するための基礎資料を得ることを目的とした調査です。
在宅生活改善調査（対象：市内にある居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所）	自宅等にお住まいのかたで、現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている利用者の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討するための基礎資料を得ることを目的とした調査です。
居所変更実態調査（対象：市内にある介護施設等（サ高住・住宅型有料老人ホーム含む）事業所）	過去1年間の新規入居・退居の流れや、退居の理由などを把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討するための基礎資料を得ることを目的とした調査です。
介護人材実態調査（対象：市内にある介護施設等（サ高住・住宅型有料老人ホーム含む）事業所）	各事業所の雇用実態などを把握することで、介護人材の確保・定着に向けた支援策を検討するための基礎資料を得ることを目的とした調査です。
介護サービス事業所意向調査（対象：市内で介護サービス事業所等を運営している法人）	事業所の現在のサービス提供の状況や今後の事業展開に向けた意向等を把握することで、将来の持続的なサービス提供体制を検討するための基礎資料を得ることを目的とした調査です。

3. 調査方法および実施時期

調査方法：返信用封筒を同封したアンケート調査票の郵送配布・郵送回収

実施時期：令和5年1月6日（金）～令和5年1月31日（火）

（調査期間を過ぎた返送分も、可能な限り集計の対象とした）

4. 回収状況

各調査の配布数、回収数、回収率は以下のとおりとなっています。

	調査名	発送数	回収数	回収率
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,000	2,038	67.9%
2	在宅介護実態調査	1,000	557	55.7%
3	在宅生活改善調査	19	19	100.0%
4	居所変更実態調査	25	24	96.0%
5	介護人材実態調査	86	81	94.2%
6	介護サービス事業所意向調査(33法人)	139事業所	139事業所	100.0%

5. 調査報告書の見方

- ・図中の「n」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしています。
- ・回答率（%）は、すべて小数点以下第2位を四捨五入した数値であるため、合計が100%にならない場合があります。
- ・回答者が2つ以上回答することができる設問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがあります。
- ・本文中に掲載した図表の単位は、特にことわりのない限り、「%」であらわしています。
- ・図中、集計値が5%に満たない場合、数値の表現を省略する場合があります。
- ・選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いる場合があります。
- ・文章中、選択肢は「 」で表現し、合計値等は『 』で表現しています。
- ・クロス集計表の数字は、上段に人数、下段に%を表しています。
- ・各設問の対象者全員の合計を「全体」と表記し、特徴的なものについては、性別・年齢等の属性や、他の設問に対する回答と、クロス集計分析を行っています。
- ・クロス集計表では分類項目の「無回答」の掲載を省略しています。そのため、タテ軸の回答者数の合計値と「全体」の数値が一致しない場合があります。
- ・文章中、クロス集計のタテ軸は《 》で表現しています。
- ・前回調査（「那珂市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査報告書（令和2年3月）」）。以下、同様）と同じ質問がある場合、回答の傾向が異なる場合などにおいて経年の比較を掲載しています。

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 回答者の基本属性について

問 調査票を記入されたのはどなたですか（1つのみ）

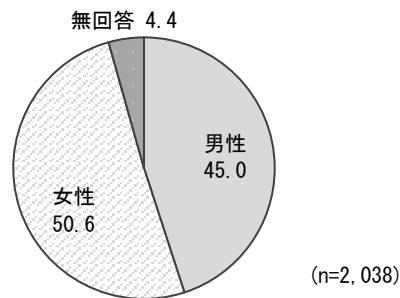
調査票への記入者は、回答者数 2,038 人に対して、「あて名のご本人が記入」が 91.0%と最も多く、「ご家族が記入」が 5.9%、「その他」が 0.1%となっています。

なお、「無回答」は 61 人で、全体の 3.0%となっています。

	回答者（人・%）	あて名のご本人が記入	ご家族が記入	その他	無回答
全体	2,038	1,854	120	3	61
	100.0	91.0	5.9	0.1	3.0

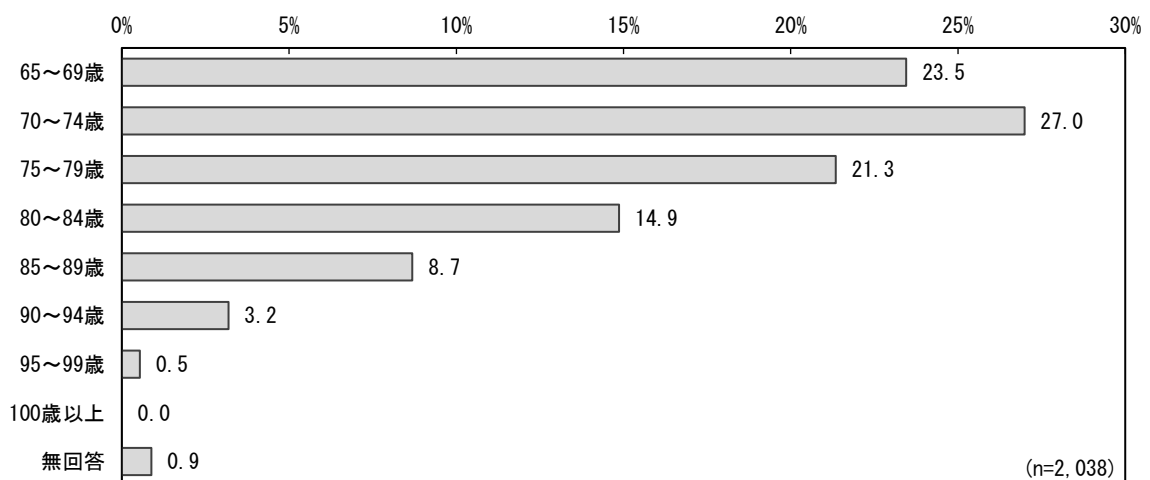
問 あて名のご本人の性別について教えてください（1つのみ）

回答者の性別は、「男性」が 45.0%、「女性」が 50.6%であり、男性よりも女性のほうが多くなっています。



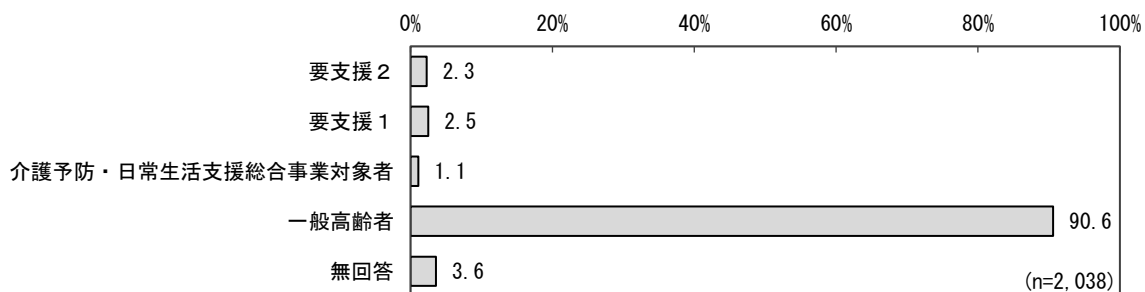
問 あて名のご本人の年齢について教えてください（1つのみ）

回答者の年齢では、「70～74歳」が 27.0%と最も多く、次いで「65～69歳」が 23.5%、「75～79歳」が 21.3%となっています。



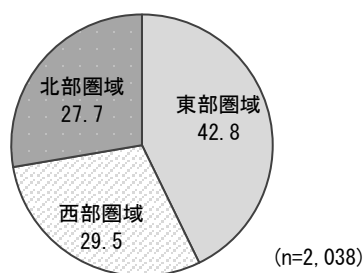
問 あて名のご本人の要支援認定について教えてください。(1つのみ)

要支援認定等を受けているかについては、「一般高齢者」が90.6%、「要支援1」が2.5%、「要支援2」が2.3%、「介護予防・日常生活支援総合事業対象者」が1.1%となっています。



日常生活圏域の状況

回答者の居住地（日常生活圏）は、「東部圏域」が42.8%、「西部圏域」が29.5%、「北部圏域」が27.7%となっています。

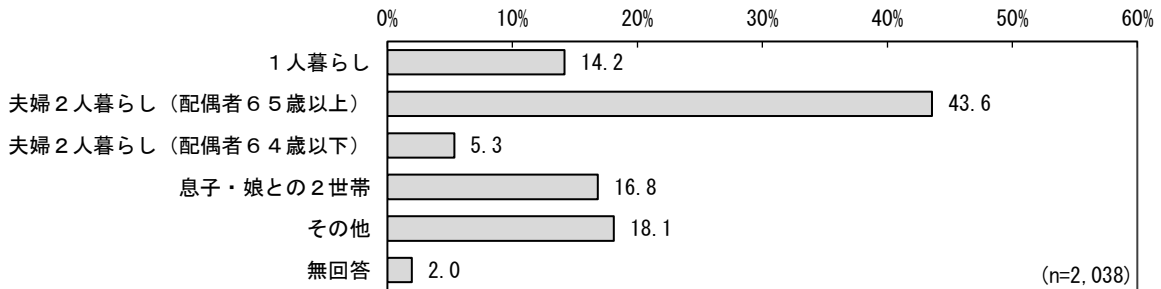


2. 生活状況について

設問1 あなたのご家族や生活状況について

問1 家族構成を教えてください（1つのみ）

家族構成では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が43.6%と最も多く、次いで「その他」が18.1%、「息子・娘との2世帯」が16.8%となっており、「1人暮らし」は14.2%となっています。

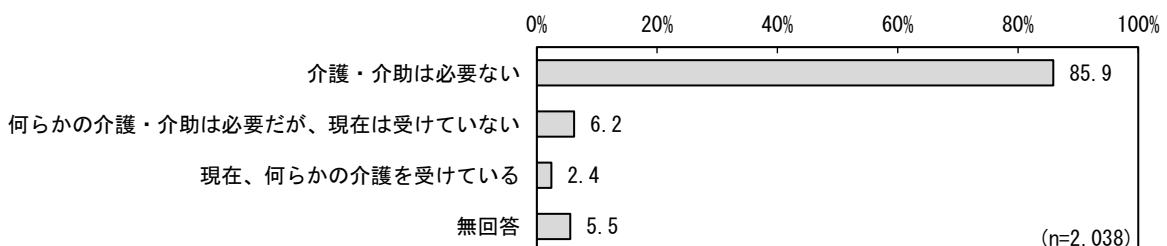


年代別の家族構成をみると、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」と「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。

	合計	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体	2,038	289	888	109	343	369	40
	100.0	14.2	43.6	5.3	16.8	18.1	2.0
65～74歳	1,028	116	461	87	145	214	5
	100.0	11.3	44.8	8.5	14.1	20.8	0.5
75～84歳	738	107	354	16	124	122	15
	100.0	14.5	48.0	2.2	16.8	16.5	2.0
85歳以上	271	66	73	5	74	33	20
	100.0	24.4	26.9	1.8	27.3	12.2	7.4

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（1つのみ）

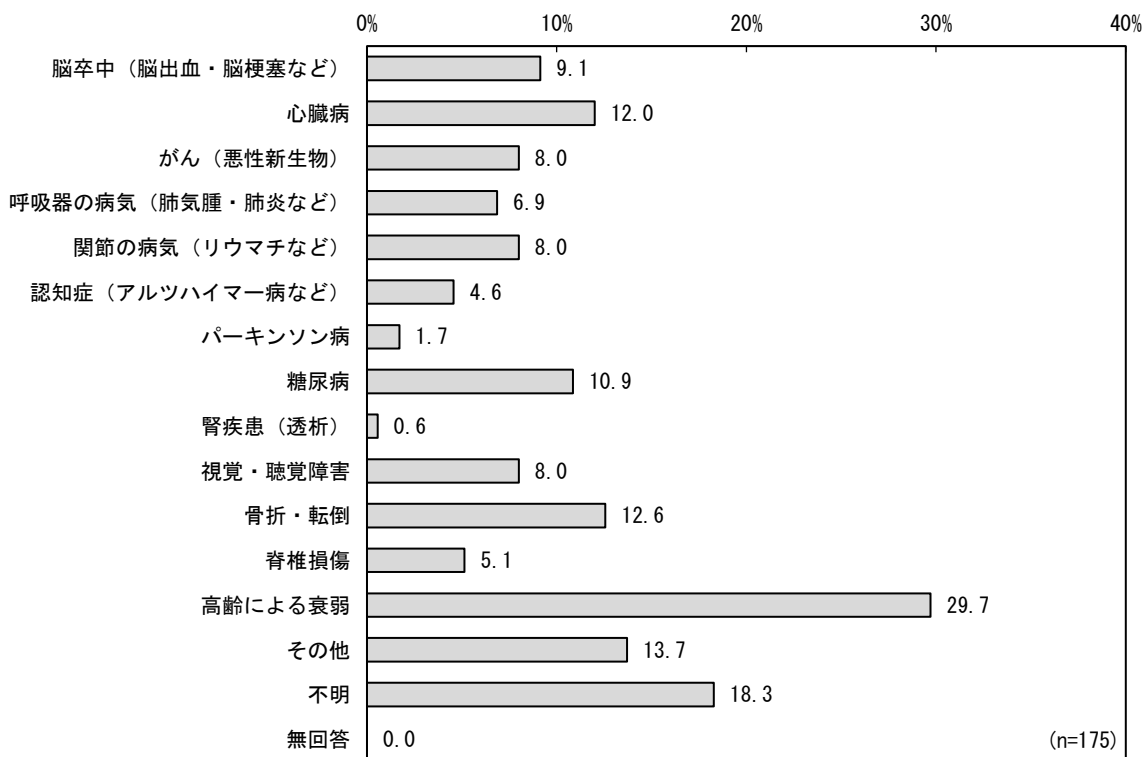
普段の生活での介護・介助の必要性では、「介護・介助は必要ない」が85.9%と最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.2%、「現在、何らかの介護を受けている」が2.4%となっています。



【問2で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」を選んだ方のみ】

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

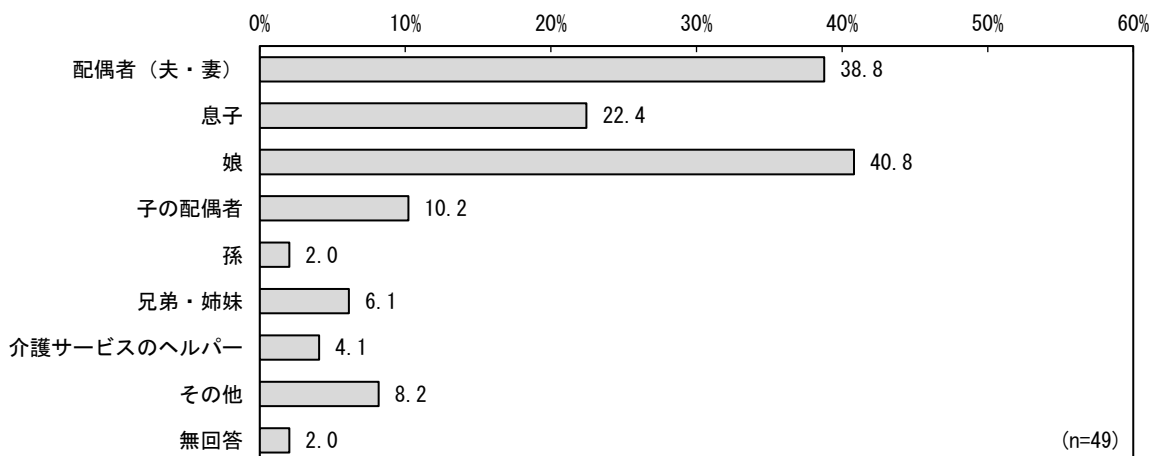
介護・介助が必要になった原因では、「高齢による衰弱」が29.7%と最も多く、次いで「その他」が13.7%、「骨折・転倒」が12.6%と多くなっています。



【問2で「現在、何らかの介護を受けている」を選んだ方のみ】

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

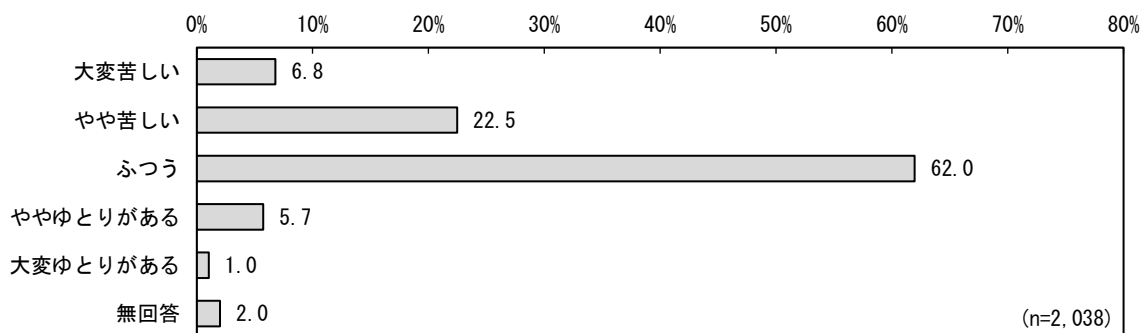
主な介護・介助者については、「娘」が40.8%と最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が38.8%、「息子」が22.4%となっています。



問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか(1つのみ)

現在の暮らしの経済的状況では、「ふつう」と回答した方の割合が62.0%、「やや苦しい」が22.5%、「大変苦しい」が6.8%となっており、「やや苦しい」と「大変苦し」を合わせた『苦しい』は29.3%となっています。

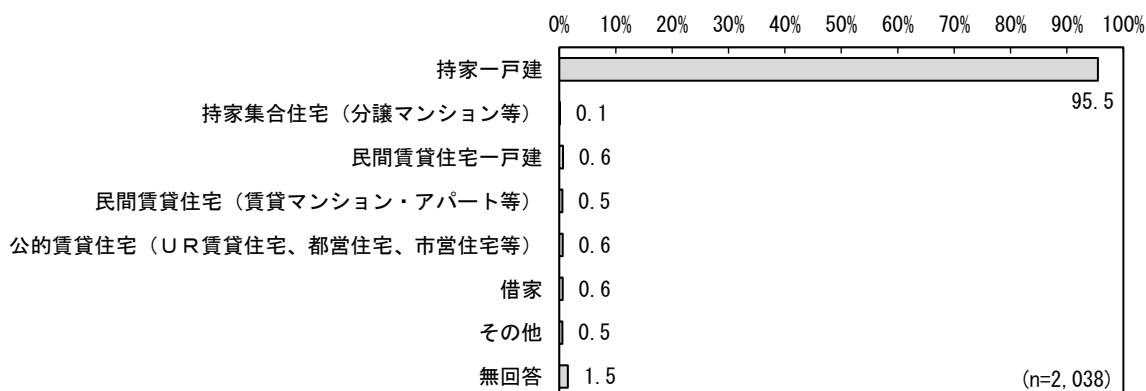
年代別でみると、年齢が低いほど『苦しい』割合が高く、《65～74歳》と《85歳以上》では10.1ポイントの開きが見られます。



	合計	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体	2,038	138	458	1,263	117	21	41
	100.0	6.8	22.5	62.0	5.7	1.0	2.0
65～74歳	1,028	71	257	608	63	10	19
	100.0	6.9	25.0	59.1	6.1	1.0	1.8
75～84歳	738	54	155	466	41	8	14
	100.0	7.3	21.0	63.1	5.6	1.1	1.9
85歳以上	271	13	46	189	13	2	8
	100.0	4.8	17.0	69.7	4.8	0.7	3.0

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか(1つのみ)

住まいの住宅の種類は、「持家一戸建」が95.5%と多くなっています。

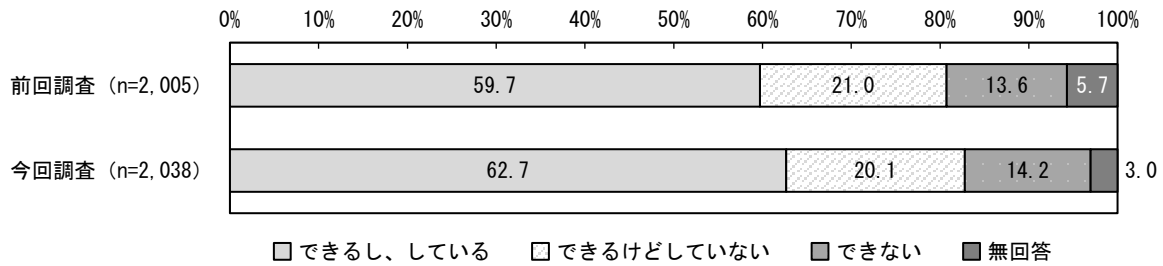


3. 日常生活について

設問2 からだを動かすことについて

問1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（1つのみ）

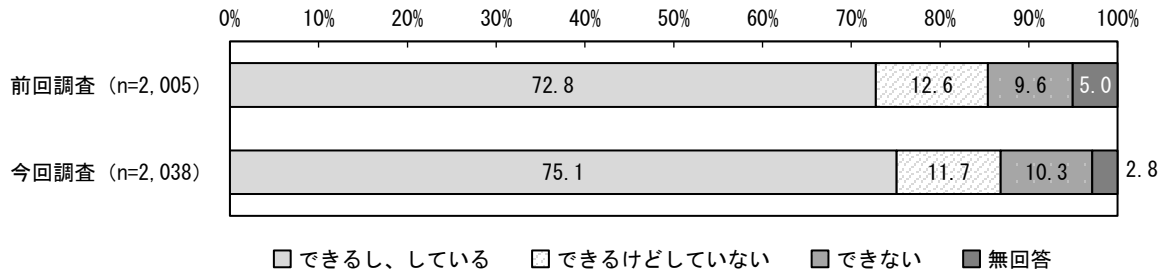
階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかでは、「できるし、している」が62.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が20.1%、「できない」が14.2%となっています。前回調査と比べると、「できるし、している」が3.0ポイント増加しています。



問2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つのみ）

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がれるかでは、「できるし、している」が75.1%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.7%、「できない」が10.3%となっています。

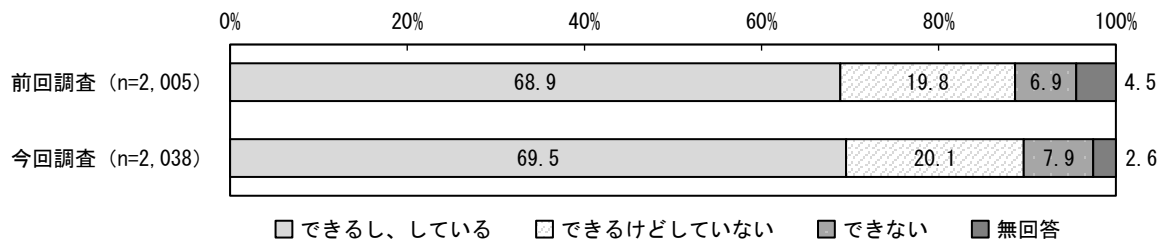
前回調査と比べると、「できるし、している」が2.3ポイント増加しています。



問3 15分位続けて歩いていますか（1つのみ）

15分位続けて歩けるかでは、「できるし、している」が69.5%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が20.1%、「できない」が7.9%となっています。

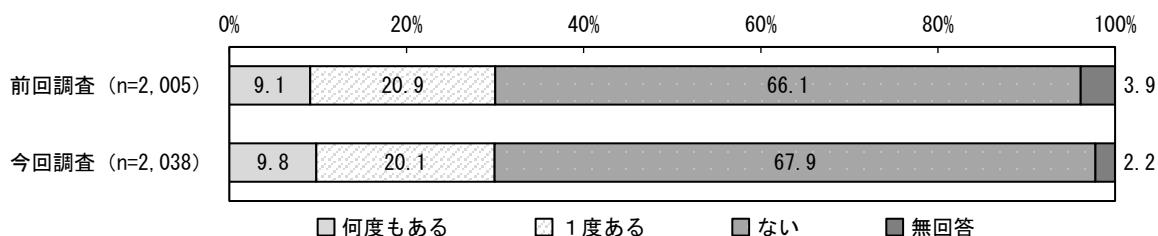
前回調査と比べると、「できるし、している」が0.6ポイント増加しています。



問4 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つのみ）

過去1年間に転んだ経験では、「ない」が67.9%と最も多く、次いで「1度ある」が20.1%、「何度もある」が9.8%となっています。

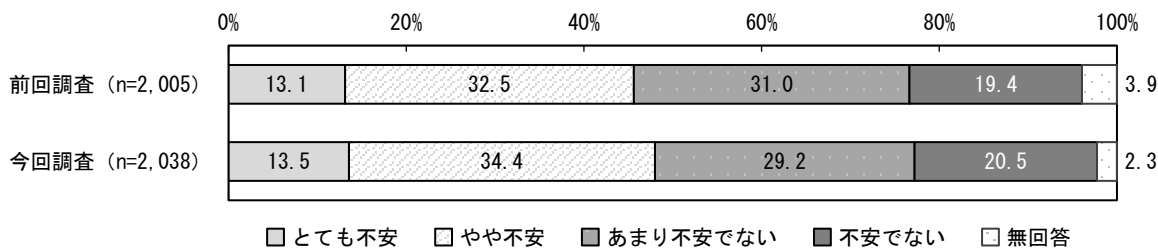
前回調査と比べると、「何度もある」が0.7ポイント増加しています。



問5 転倒に対する不安は大きいですか（1つのみ）

転倒に対する不安では、「やや不安」が34.4%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が29.2%、「不安でない」が20.5%、「とても不安」が13.5%となっています。

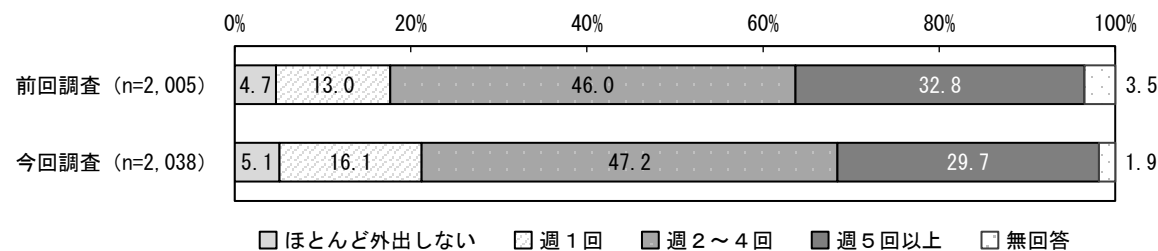
前回調査と比べると、「とても不安」と「やや不安」を合わせた『不安』が2.3ポイント増加しています。



問6 週に1回以上は外出していますか（1つのみ）

1週間の外出の頻度では、「週2～4回」が47.2%と最も多く、次いで、「週5回以上」が29.7%、「週1回」が16.1%、「ほとんど外出しない」が5.1%となっています。

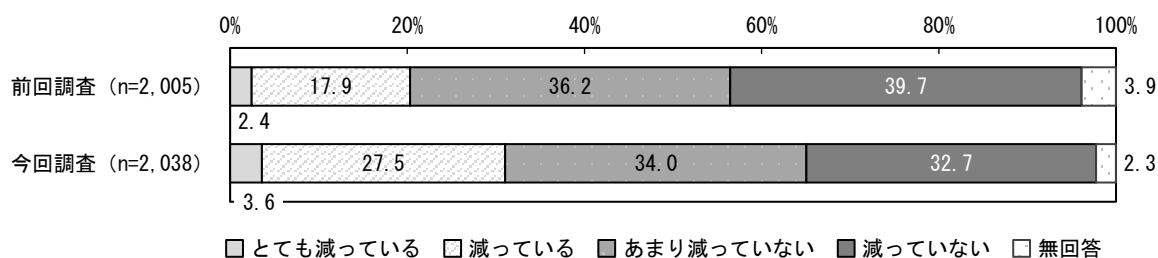
前回調査と比べると、「週5回以上」が3.1ポイント減少し、「ほとんど外出しない」が0.4ポイント増加しています。



問7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つのみ）

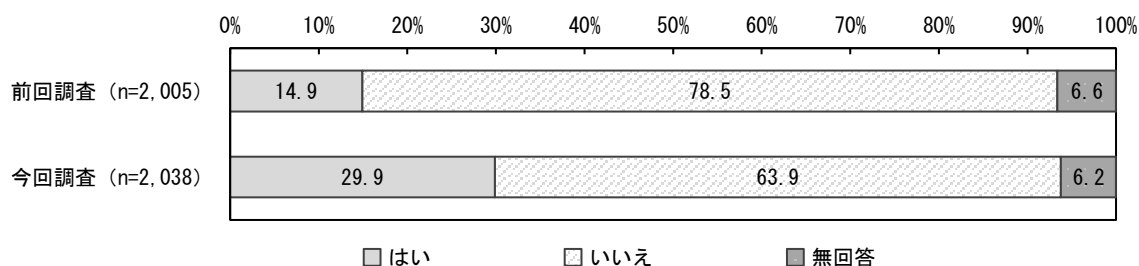
昨年と比べて外出回数では、「あまり減っていない」が34.0%と最も多く、次いで、「減っていない」が32.7%、「減っている」が27.5%、「とても減っている」が3.6%となっています。

前回調査と比べると、「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減ってる』が10.8ポイント増加しています。



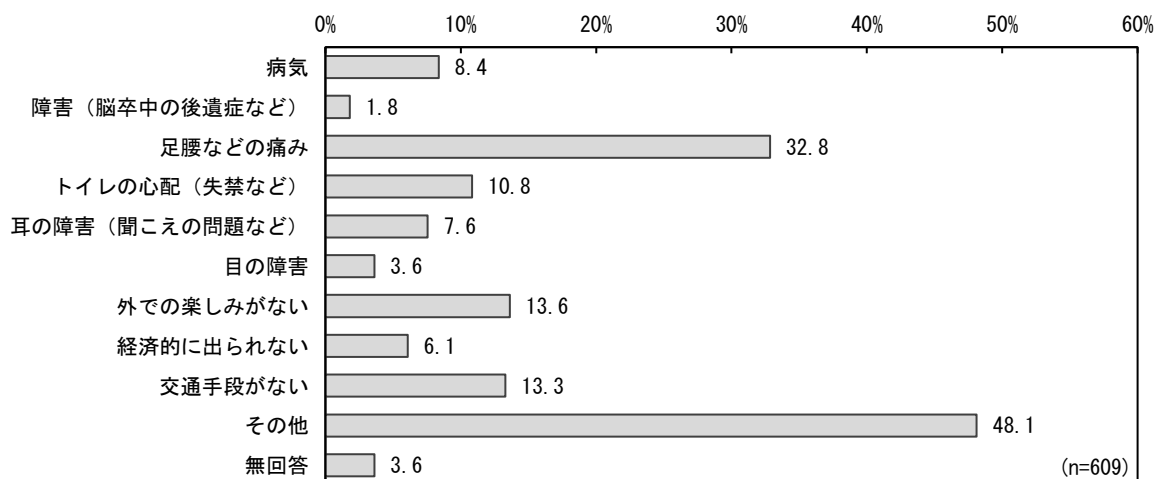
問8 外出を控えていますか（1つのみ）

外出を控える状況では、「いいえ（控えていない）」が63.9%、「はい（控えている）」が29.9%となっており、前回調査と比べると、「はい（控えている）」が15.0ポイント増加しています。



問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

外出を控えている理由では、「その他」を除き、「足腰などの痛み」が32.8%と多くなっています。（※「その他」の理由では、「新型コロナウイルスの感染予防」が9割以上）

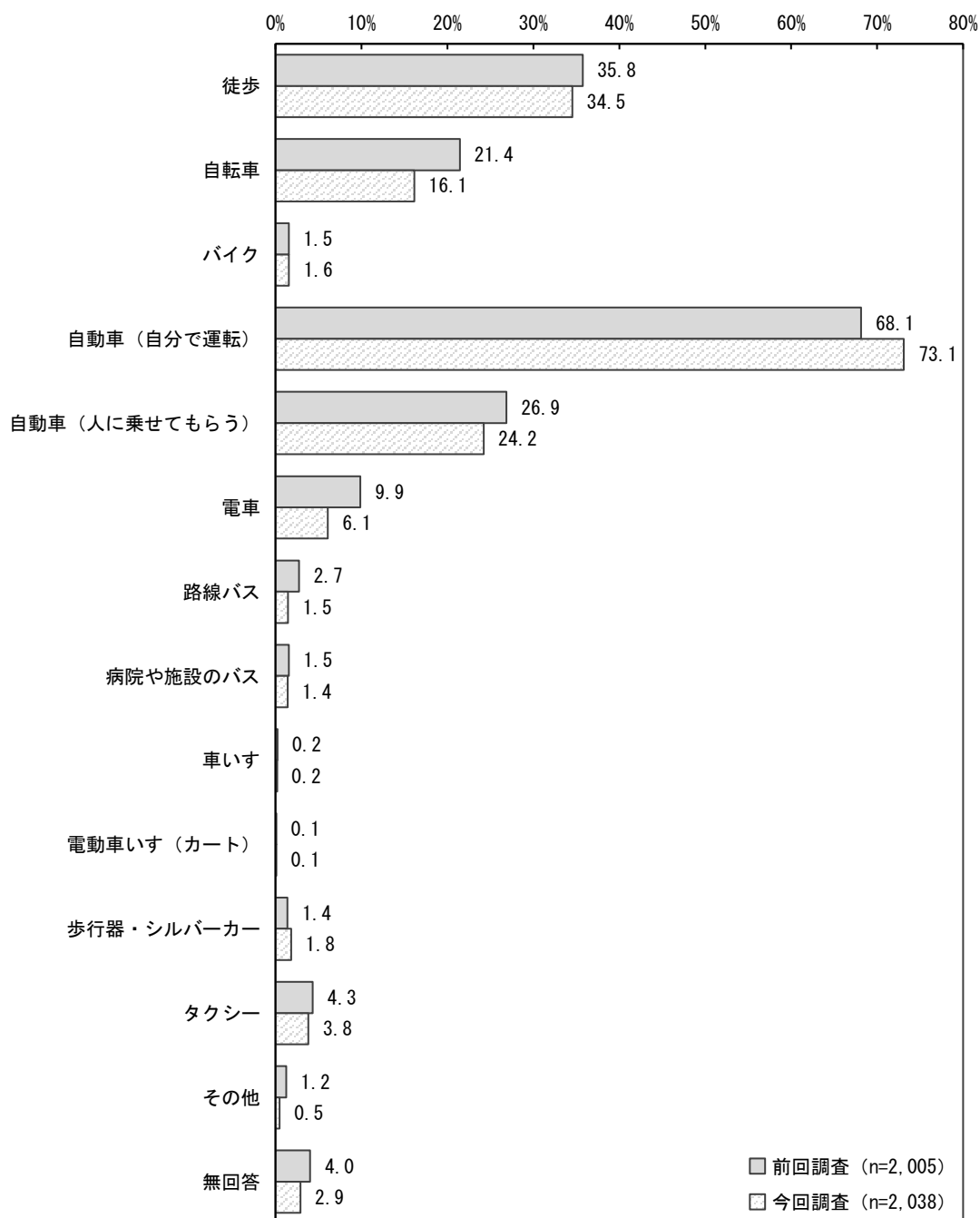


問9 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

外出する際の移動手段では、「自動車（自分で運転）」が73.1%と最も多く、次いで「徒歩」が34.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」が24.2%となっています。

前回調査と比べると、「自動車（自分で運転）」が5.0ポイント増加しています。

また、その他の意見では「乗合タクシー（デマンドタクシー）」や「ひまわりタクシー」が挙げられていました。



設問3 食べることについて

問1 身長・体重を教えてください（数字を記入）

回答いただいた身長と体重からBMI（体格指数）（※体重kg÷身長m÷身長m）を算出し、肥満や低体重の方の割合を算出しました。

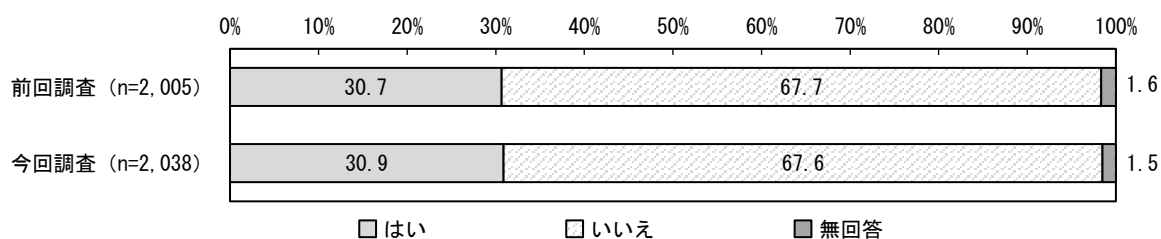
その結果、全体では『肥満（BMIが25.0以上）』が23.3%、「低体重（BMIが18.5未満）」が5.9%であり、男女別では、男性の『肥満（BMIが25.0以上）』が26.4%、女性の『肥満（BMIが25.0以上）』が20.8%、男性の「低体重（BMIが18.5未満）」が2.9%、女性の「低体重（BMIが18.5未満）」が8.4%となっています。

	合計	低体重 (18.5未満)	普通体重 (18.5以上 25.0未満)	肥満1度 (25.0以上 30.0未満)	肥満2度 (30.0以上 35.0未満)	肥満3度 (35.0以上 40.0未満)	肥満4度 (40.0以上)	無回答
全体	2,038	121	1,384	437	32	3	5	56
	100.0	5.9	67.9	21.4	1.6	0.1	0.2	2.7
				23.3				
男性	917	27	633	225	15	1	2	14
	100.0	2.9	69.0	24.5	1.6	0.1	0.2	1.5
				26.4				
女性	1,032	87	692	193	17	2	3	38
	100.0	8.4	67.1	18.7	1.6	0.2	0.3	3.7
				20.8				

問2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つのみ）

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい（食べにくくなった）」が30.9%、「いいえ（食べにくくなっていない）」が67.6%となっています。

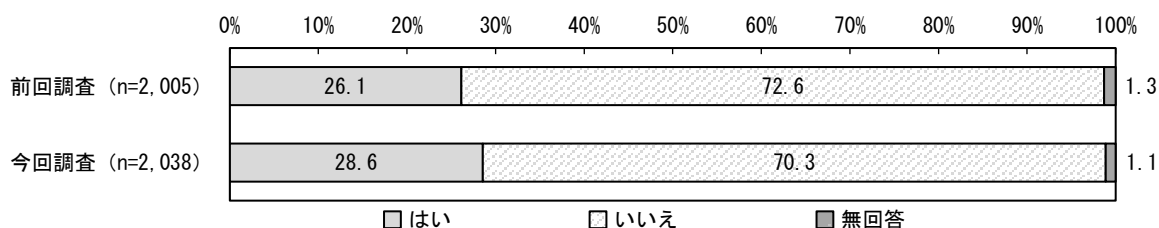
前回調査と比べると、「はい（食べにくくなった）」が0.2ポイント増加しています。



問3 お茶や汁物などでむせることがありますか（1つのみ）

お茶や汁物などでむせることがあるかでは、「はい（むせることがある）」が28.6%、「いいえ（むせることはない）」が70.3%となっています。

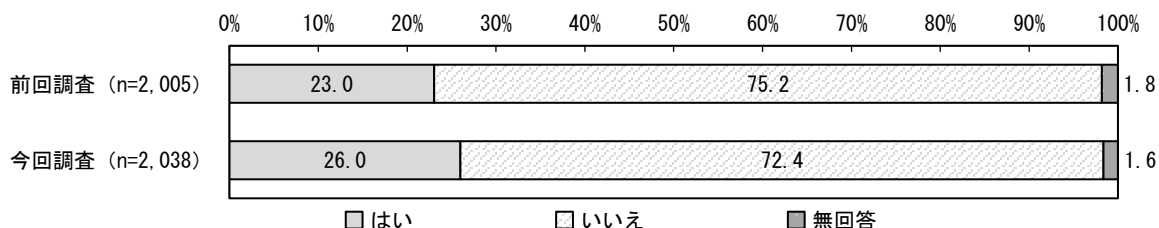
前回調査と比べると、「はい（むせることがある）」が2.5ポイント増加しています。



問4 口の渇きが気になりますか（1つのみ）

口の渇きが気になるかについては、「はい（気になる）」が26.0%、「いいえ（気にならない）」が72.4%となっています。

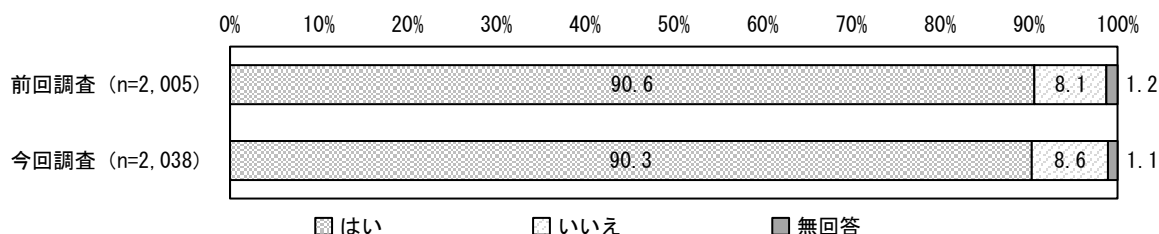
前回調査と比べると、「はい（気になる）」が3.0ポイント増加しています。



問5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つのみ）

毎日の歯磨きの実施では、「はい（毎日磨いている）」が90.3%、「いいえ（毎日は磨いていない）」が8.6%となっています。

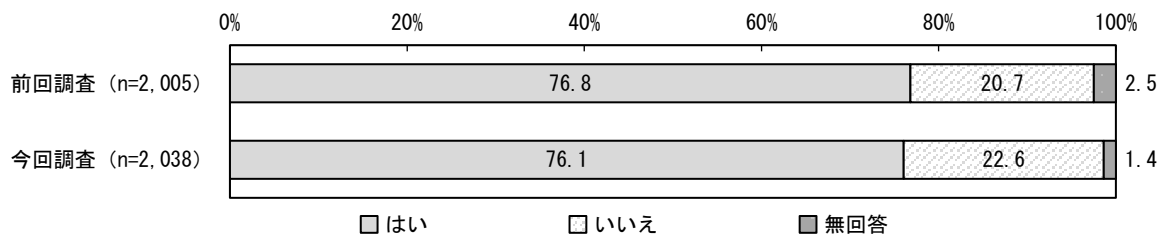
前回調査と比べると、「いいえ（毎日は磨いていない）」が0.5ポイント増加しています。



問6 噛み合わせは良いですか（1つのみ）

噛み合わせについては、「はい（噛み合わせはよい）」が76.1%、「いいえ（噛み合わせはよくない）」が22.6%となっています。

前回調査と比べると、「いいえ（噛み合わせはよくない）」が1.9ポイント増加しています。

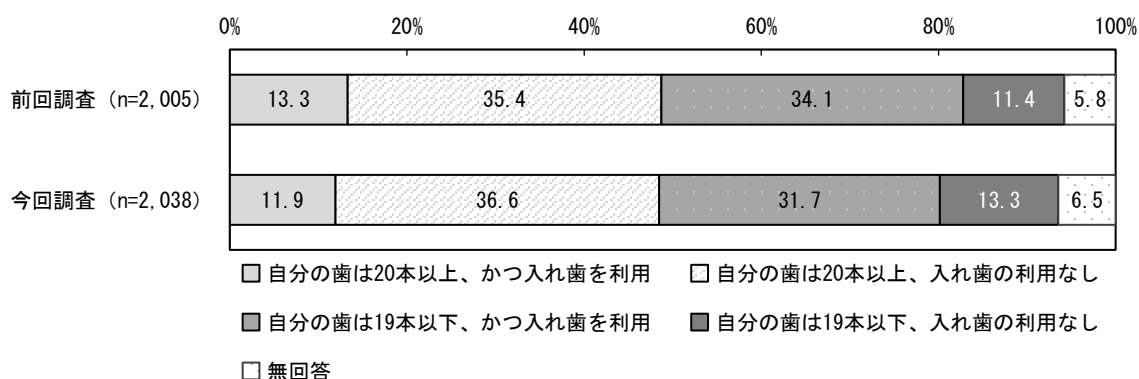


問7 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（1つのみ）

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

歯の数と入れ歯の利用状況では、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし」が36.6%と最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が31.7%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が13.3%となっています。

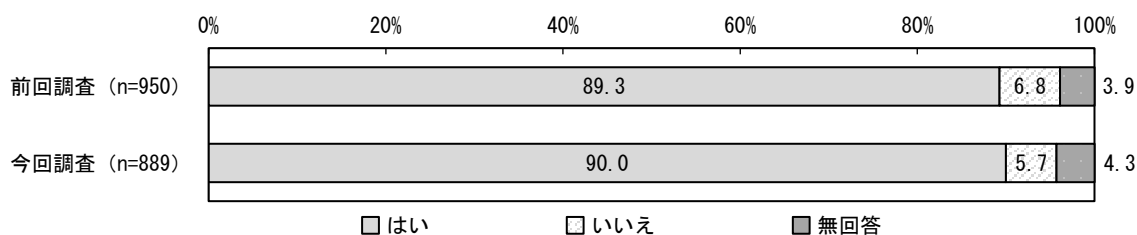
前回調査と比べると、『入れ歯の利用なし』が合計3.1ポイント増加しています。



問7-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つのみ）

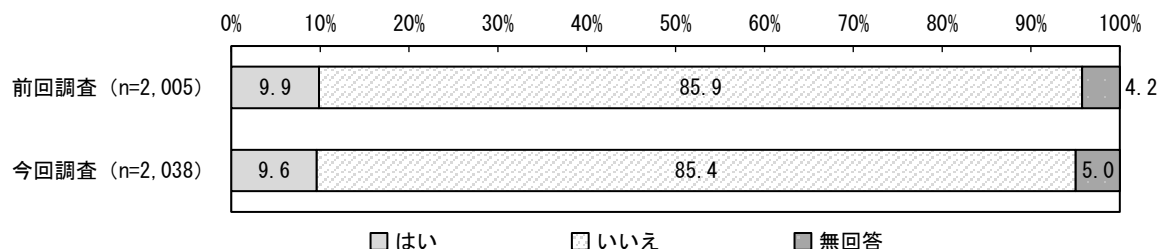
入れ歯の手入れについては、「はい」が90.0%、「いいえ」が5.7%となっています。

前回調査と比べると、「はい」が0.7ポイント増加し、「いいえ」が1.1ポイント減少しています。



問8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つのみ）

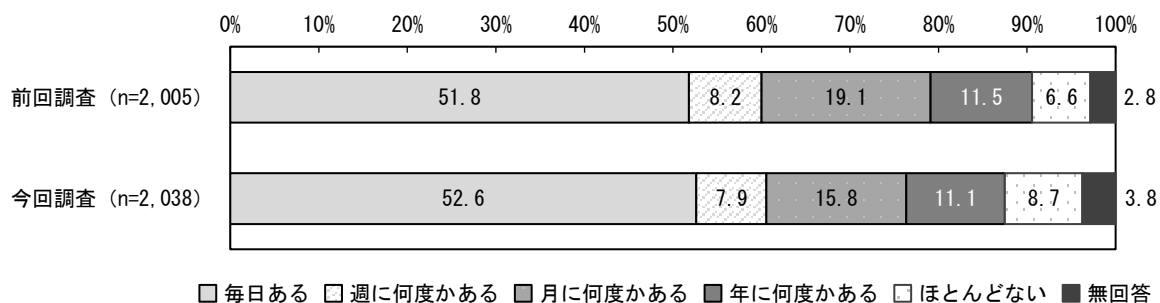
6か月間の体重減少については、「はい」が9.6%、「いいえ」が85.4%となっています。前回調査と比べると、「はい」「いいえ」とも減少し、「無回答」の割合が増加しています。



問9 どなたかと食事をとる機会がありますか（1つのみ）

どなたかとの食事の機会については、「毎日ある」が52.6%と最も多く、次いで「月に何度かある」が15.8%、「年に何度かある」が11.1%、「ほとんどない」が8.7%となっています。

前回調査と比べると、「ほとんどない」が2.1ポイント増加しています。

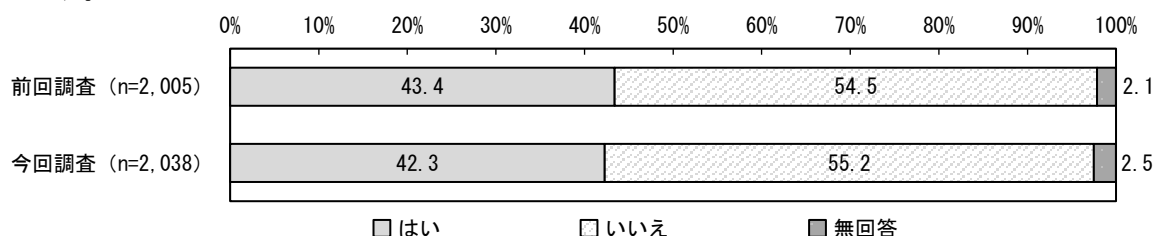


設問4 毎日の生活について

問1 物忘れが多いと感じますか（1つのみ）

物忘れが多いと感じるかでは、「はい」が42.3%、「いいえ」が55.2%となっています。

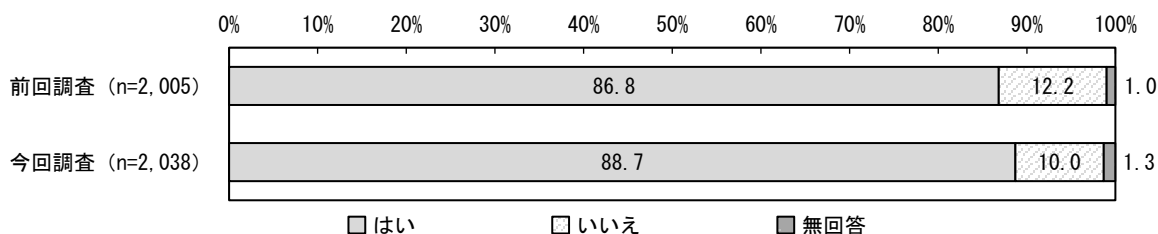
前回調査と比べると、「はい」が1.1ポイント減少し、「いいえ」が0.7ポイント増加しています。



問2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つのみ）

自分で電話番号を調べて、電話をかけることについては、「はい（できる）」が88.7%、「いいえ（できない）」が10.0%となっています。

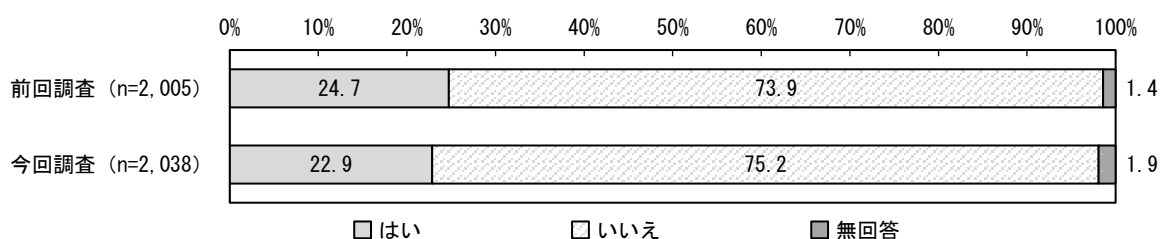
前回調査と比べると、「はい（できる）」が1.9ポイント増加し、「いいえ（できない）」が2.2ポイント減少しています。



問3 今日が何月何日かわからないときがありますか（1つのみ）

今日の日付がわかるか、わからないかについては、「はい（わからないときがある）」が22.9%、「いいえ（わかる）」が75.2%となっています。

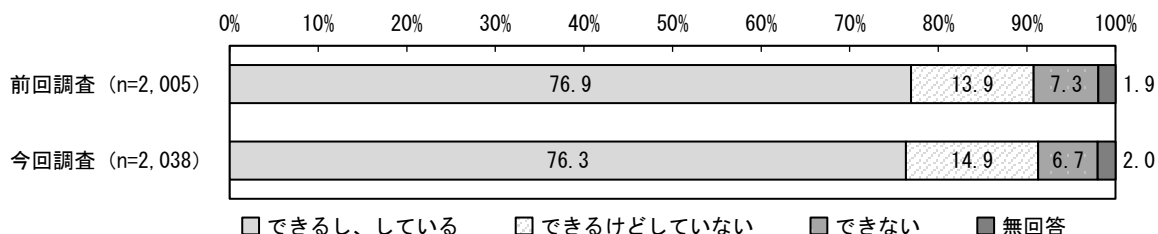
前回調査と比べると、「はい（わからないときがある）」が1.8ポイント減少し、「いいえ（わかる）」が1.3ポイント増加しています。



問4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つのみ）

バスや電車を使って1人で外出できるかについては、「できるし、している」が76.3%、「できるけどしていない」が14.9%、「できない」が6.7%となっています。

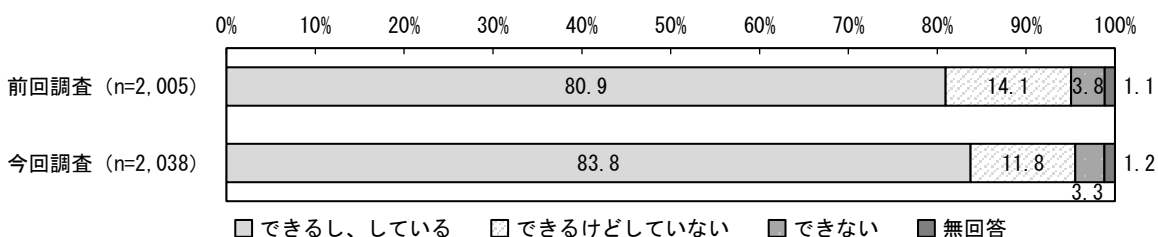
前回調査と比べると、「できない」は0.6ポイント減少しています。



問5 自分で食品・日用品の買い物をしていますか（1つのみ）

自分で食品・日用品の買い物ができるかについては、「できるし、している」が83.8%、「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が3.3%となっています。

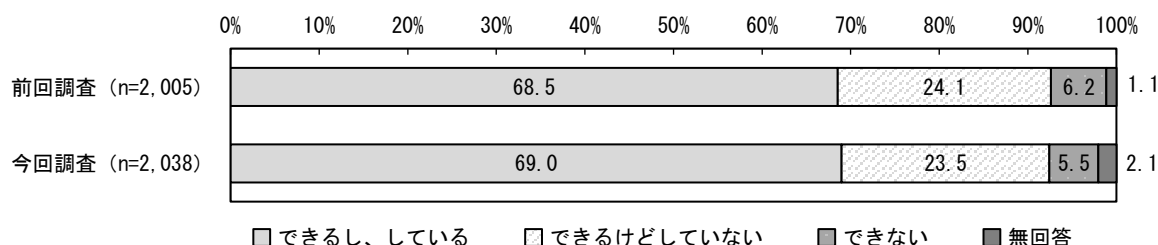
前回調査と比べると、「できない」は0.5ポイント減少しています。



問6 自分で食事の用意をしていますか（1つのみ）

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が69.0%、「できるけどしていない」が23.5%、「できない」が5.5%となっています。

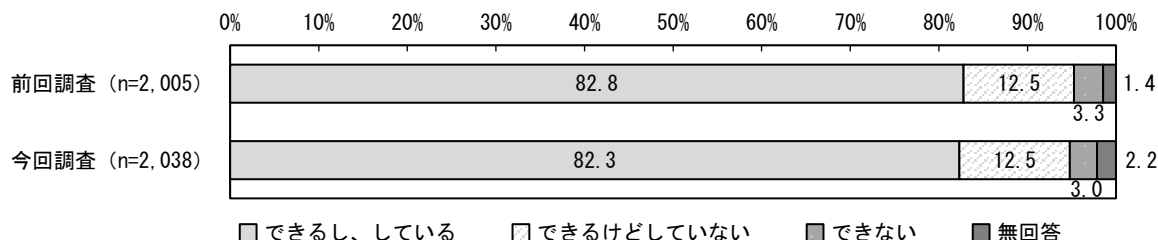
前回調査と比べると、「できない」は0.7ポイント減少しています。



問7 自分で請求書の支払いをしていますか（1つのみ）

自分で請求書の支払をしているかについては、「できるし、している」が82.3%、「できるけどしていない」が12.5%、「できない」が3.0%となっています。

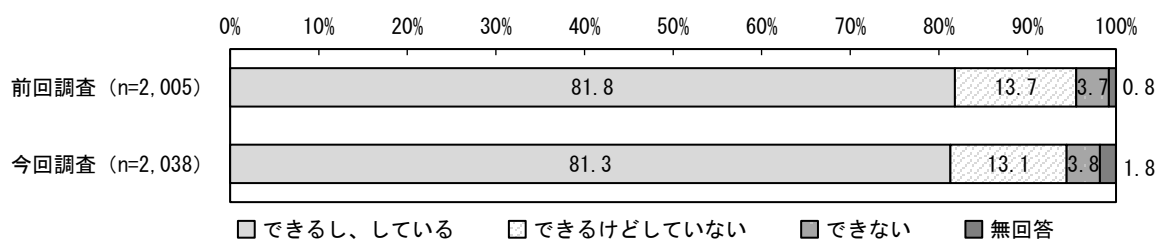
前回調査と比べると、「できない」は0.3ポイント減少しています。



問8 自分で預貯金の出し入れをしていますか（1つのみ）

自分で預貯金の出し入れができるかについては、「できるし、している」が81.3%、「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が3.8%となっています。

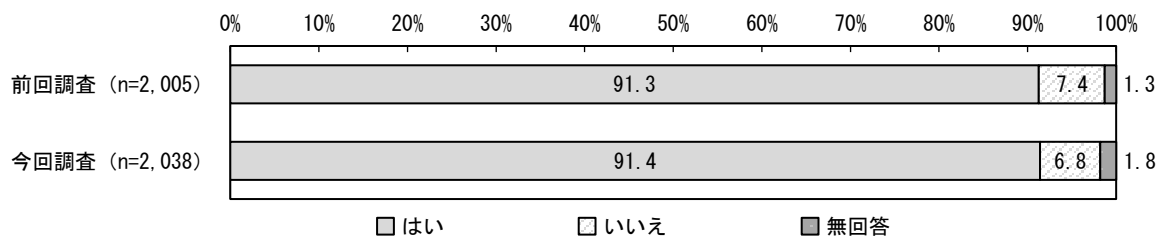
前回調査と比べると、「できない」は0.1ポイント増加しています。



問9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（1つのみ）

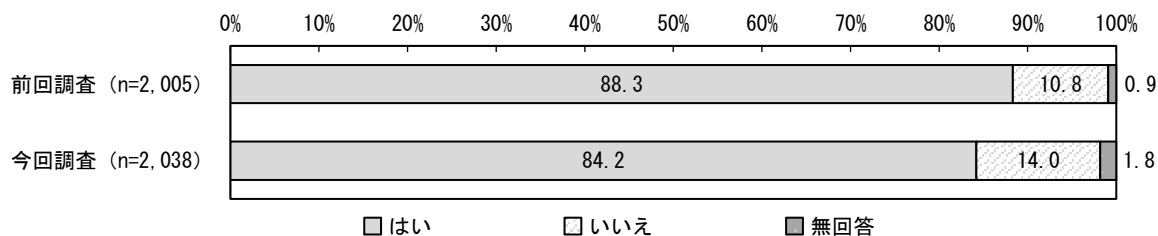
自分で年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかについては、「はい（書ける）」が91.4%、「いいえ（書けない）」が6.8%となっています。

前回調査と比べると、「はい（書ける）」が0.1ポイント増加し、「いいえ（書けない）」が0.6ポイント減少しています。



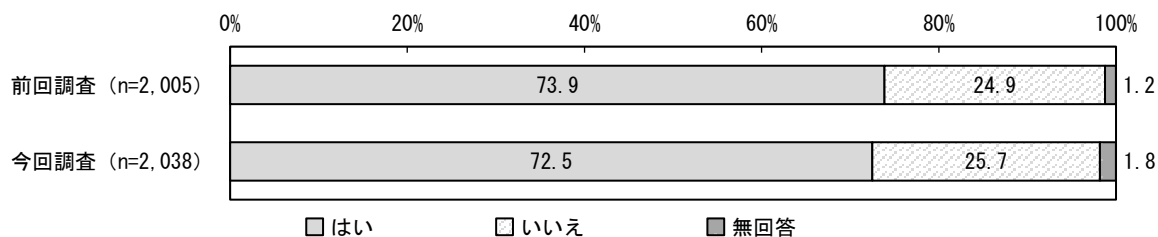
問 10 新聞を読んでいますか（1つのみ）

新聞を読んでいるかについては、「はい」が84.2%、「いいえ」が14.0%となっています。
 前回調査と比べると、「はい」が4.1ポイント減少し、「いいえ」が3.2ポイント増加しています。



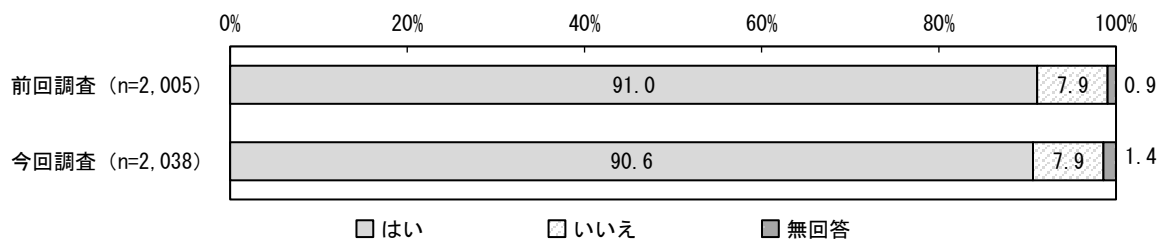
問 11 本や雑誌を読んでいますか（1つのみ）

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が72.5%、「いいえ」が25.7%となっています。
 前回調査と比べると、「はい」が1.4ポイント減少し、「いいえ」が0.8ポイント増加しています。



問 12 健康についての記事や番組に関心がありますか（1つのみ）

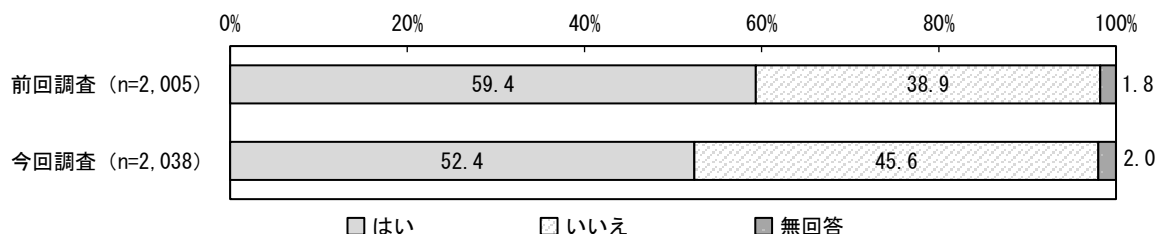
健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい（ある）」が90.6%、「いいえ（ない）」が7.9%となっています。
 前回調査と比べると、「はい（ある）」が0.4ポイント減少しています。



問 13 友人の家を訪ねていますか（1つのみ）

友人の家を訪ねているかについては、「はい（訪ねている）」が52.4%、「いいえ（訪ねていない）」が45.6%となっています。

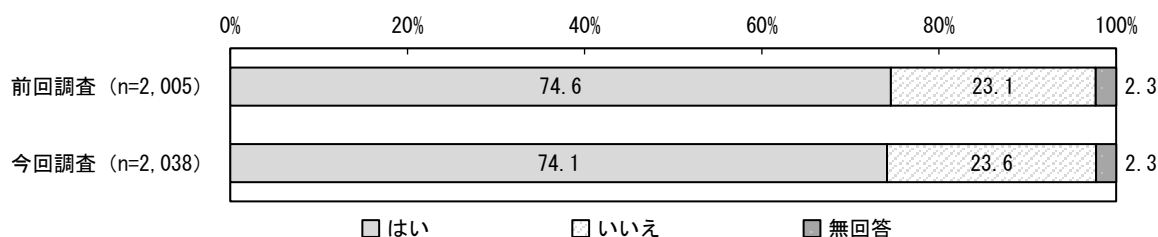
前回調査と比べると、「はい（訪ねている）」が7.0ポイント減少し、「いいえ（訪ねていない）」が6.7ポイント増加しています。



問 14 家族や友人の相談にのっていますか（1つのみ）

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい（相談にのっている）」が74.1%、「いいえ（相談にのっていない）」が23.6%となっています。

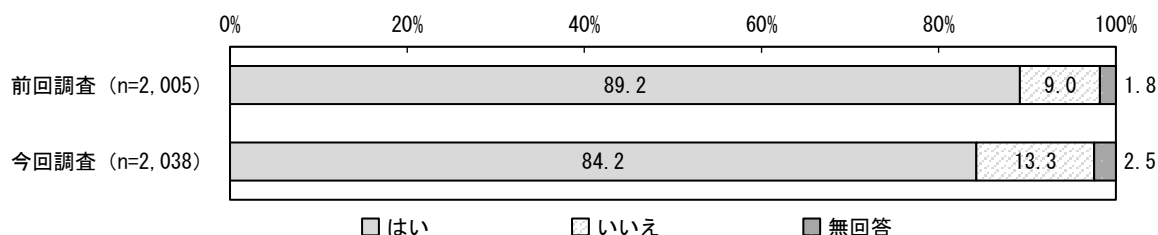
前回調査と比べると、「はい（相談にのっている）」が0.5ポイント減少し、「いいえ（相談にのっていない）」が0.5ポイント増加しています。



問 15 病人を見舞うことができますか（1つのみ）

病人を見舞うことができるかについては、「はい（できる）」が84.2%、「いいえ（できない）」が13.3%となっています。

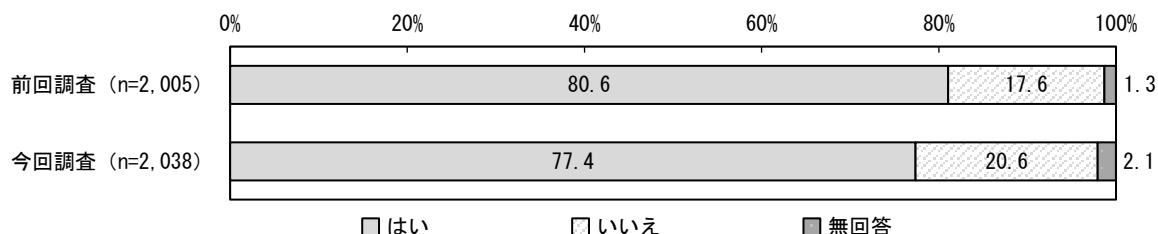
前回調査と比べると、「はい（できる）」が5.0ポイント減少し、「いいえ（できない）」が4.3ポイント増加しています。



問 16 若い人に自分から話しかけることがありますか（1つのみ）

若い人に自分から話しかけられるかについては、「はい」が 77.4%、「いいえ」が 20.6% となっています。

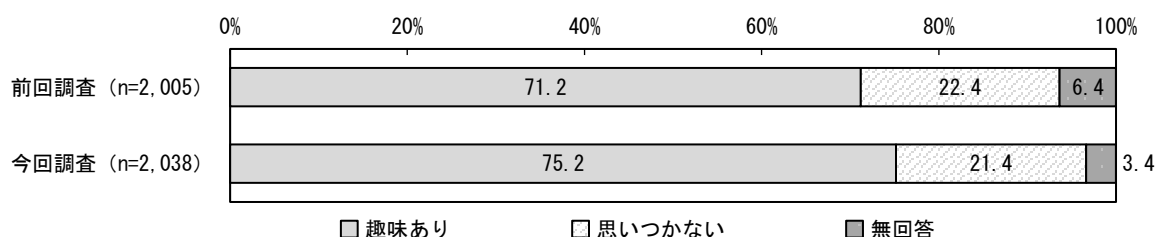
前回調査と比べると、「いいえ」が 3.0 ポイント増加しています。



問 17 趣味はありますか（1つのみ）

趣味の有無では、「趣味あり」が 75.2%、「思いつかない」が 21.4%となっており、趣味の内容では、園芸・ガーデニング等、ゴルフなどが上位を占めています。

前回調査と比べると、「趣味あり」が 4.0 ポイント増加し、「思いつかない」が 1.0 ポイント減少しています。



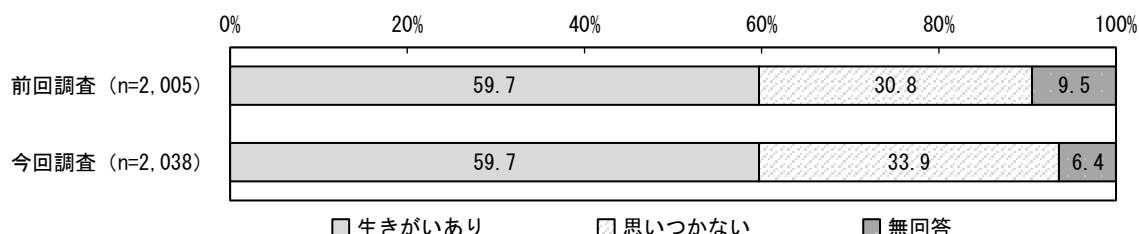
また、趣味の記載内容で多かったものは、以下のものです。

回答（上位 10 件）		※【 】内は票数		
1	園芸、ガーデニング等	【320】	6 旅行、温泉	【55】
2	ゴルフ	【210】	7 歌（コーラス、カラオケ含む）	【53】
3	手芸（編み物等含む）	【139】	8 釣り	【51】
3	読書	【139】	9 ドライブ、ツーリング	【39】
5	ウォーキング、散歩	【71】	10 楽器をする、バンド	【36】

問 18 生きがいがありますか（1つのみ）

生きがいの有無では、「生きがいあり」が 59.7%、「思いつかない」が 33.9%となっており、生きがいの内容では、孫や庭・ガーデニングなどが上位を占めています。

前回調査と比べると、「生きがいあり」は同割合ですが、「思いつかない」は 3.1 ポイント増加しています。

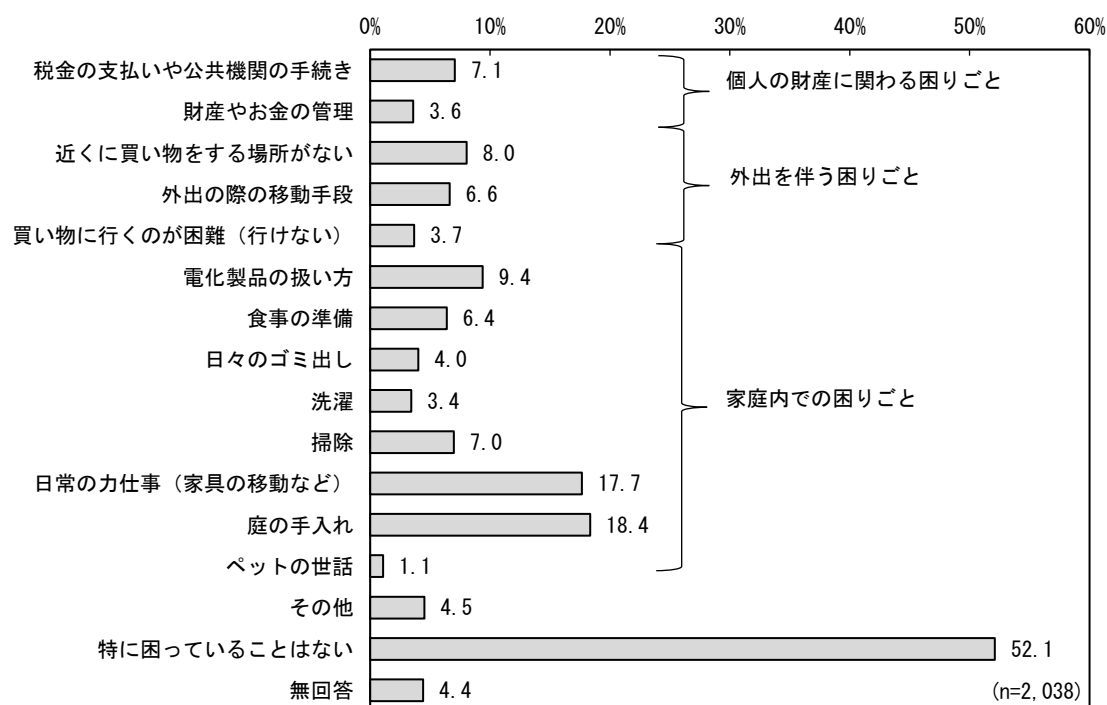


また、生きがいの記載内容で多かったものは、以下のものです。

回答（上位 10 件）		※【 】内は票数	
1	孫と遊ぶ、孫の成長	【310】	6 趣味
2	庭、ガーデニング	【116】	7 健康
3	家族との団らん、子ども	【66】	8 ゴルフ
4	仕事	【63】	9 友人
5	旅行・温泉	【59】	10 長生き

問 19 日常生活の中で困ったことがありますか（いくつでも）

日常生活の中での困り事では、「特に困っていることはない」を除き、「庭の手入れ」や「日常の力仕事（家具の移動など）」が多く挙げられています。



4. 地域とのつながり等について

設問5 地域での活動について

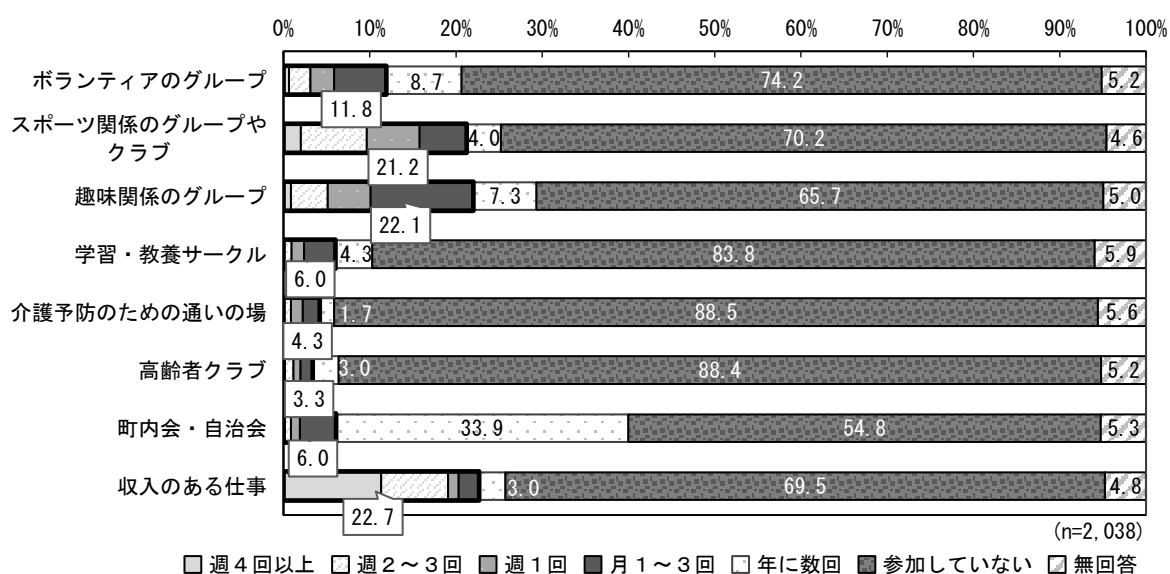
問1 地域における会やグループにどのくらいの頻度で参加していますか

地域における会やグループなどの参加頻度では、いずれも「参加していない」が半数以上となっています。『参加している』（「週4回以上」～「月1～3回」の合計）割合では、《収入のある仕事》22.7%、《趣味関係のグループ》22.1%、《スポーツ関係のグループやクラブ》21.2%の割合が高くなっています。一方、《高齢者クラブ》、《介護予防のための通いの場》《学習・教養サークル》、《町内会・自治会》への参加割合は低い状況となっています。

＜地域における会やグループへの参加割合＞

(単位：%)

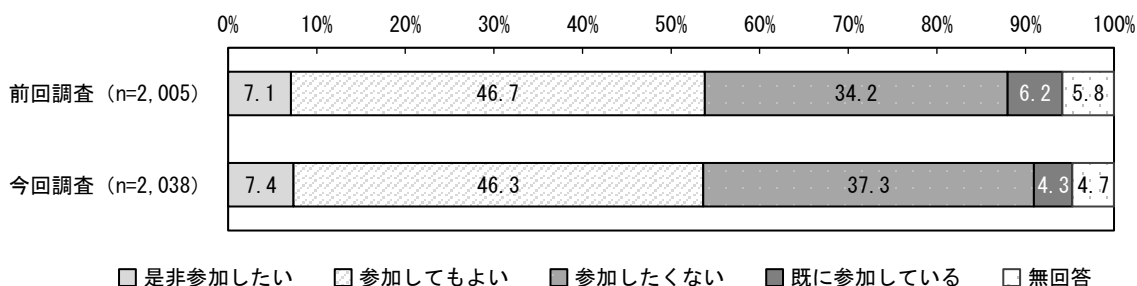
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
ボランティアのグループ	0.6	2.5	2.7	6.0	8.7	74.2	5.2
	11.8						
スポーツ関係のグループやクラブ	2.0	7.7	6.1	5.4	4.0	70.2	4.6
	21.2						
趣味関係のグループ	0.9	4.3	5.0	11.9	7.3	65.7	5.0
	22.1						
学習・教養サークル	0.0	0.9	1.5	3.6	4.3	83.8	5.9
	6.0						
介護予防のための通いの場	0.0	0.9	1.4	2.0	1.7	88.5	5.6
	4.3						
高齢者クラブ	0.1	1.0	0.8	1.4	3.0	88.4	5.2
	3.3						
町内会・自治会	0.1	0.7	1.0	4.2	33.9	54.8	5.3
	6.0						
収入のある仕事	11.3	7.8	1.2	2.4	3.0	69.5	4.8
	22.7						



問2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

地域住民の有志による地域づくりへの参加者としての参加希望では、「参加してもよい」が46.3%と最も多く、次いで「参加したくない」が37.3%となっています。

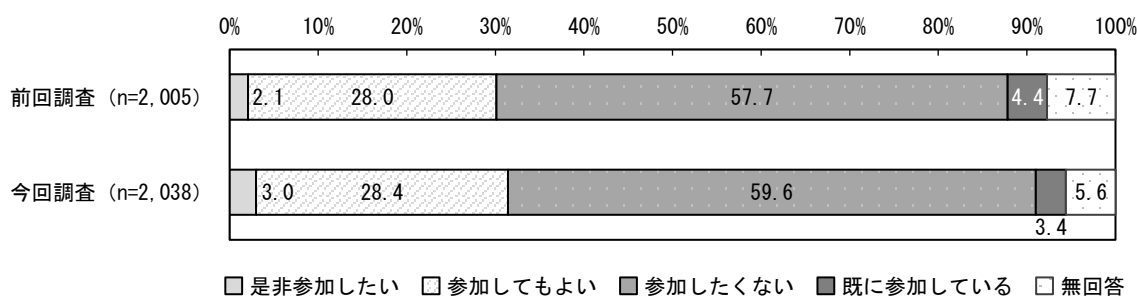
前回調査と比べると、「参加したくない」が3.1ポイント増加しています。



問3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加希望では、「参加したくない」が59.6%と最も多く、次いで「参加してもよい」が28.4%となっています。

前回調査と比べると、「参加したくない」が1.9ポイント増加しています。

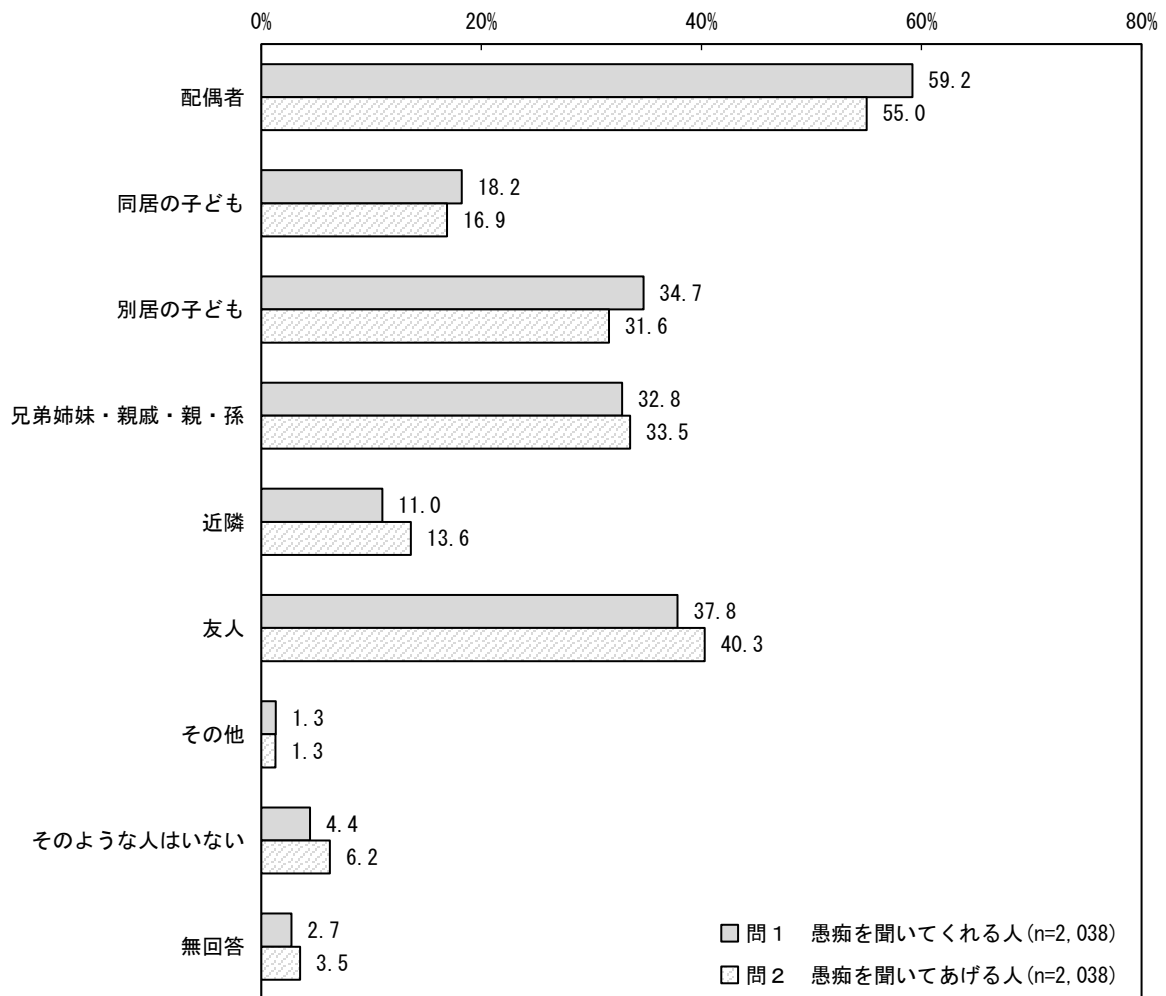


設問6 たすけあいについて

問1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

問2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

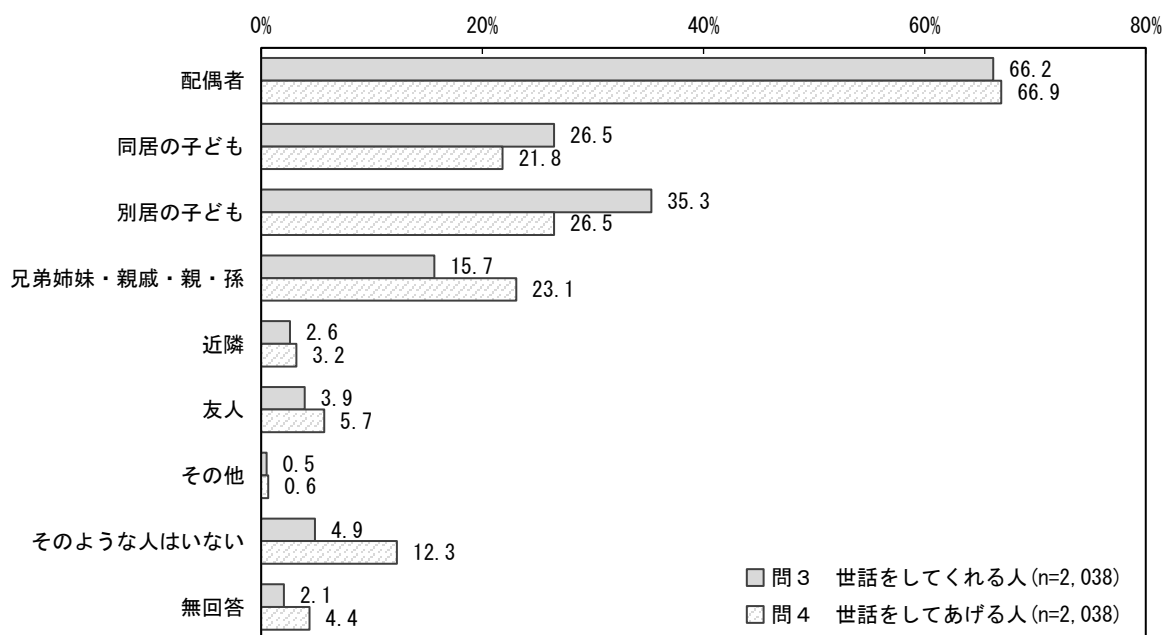
心配事や愚痴を聞いてくれる人では、「配偶者」が59.2%と最も多く、次いで「友人」が37.8%となっています。また、心配事や愚痴を聞いてあげる人でも、「配偶者」や「友人」の割合が高くなっています。



問3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

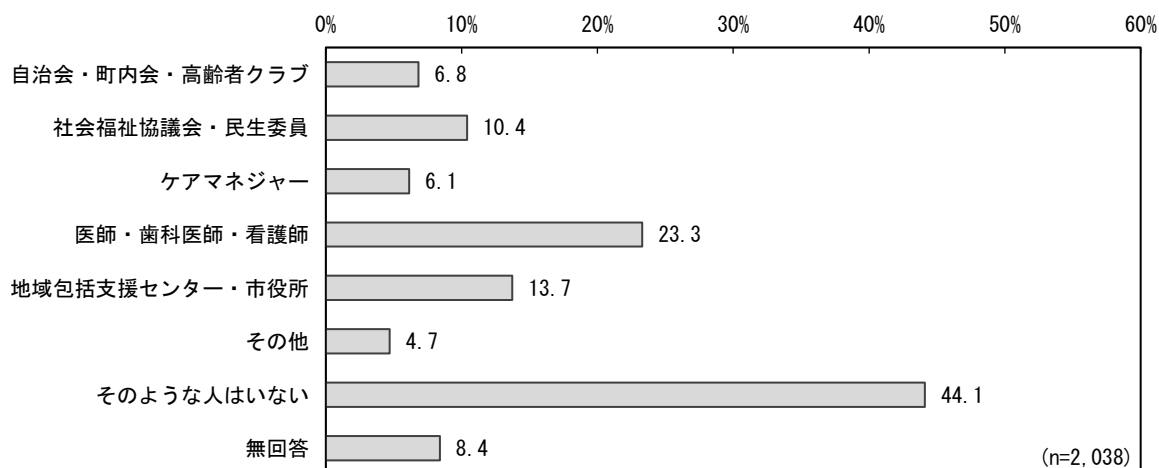
問4 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」が66.2%と最も多く、次いで「別居の子ども」が35.3%となっています。また、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてあげる人でも、「配偶者」や「別居の子ども」の割合が高くなっています。



問5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

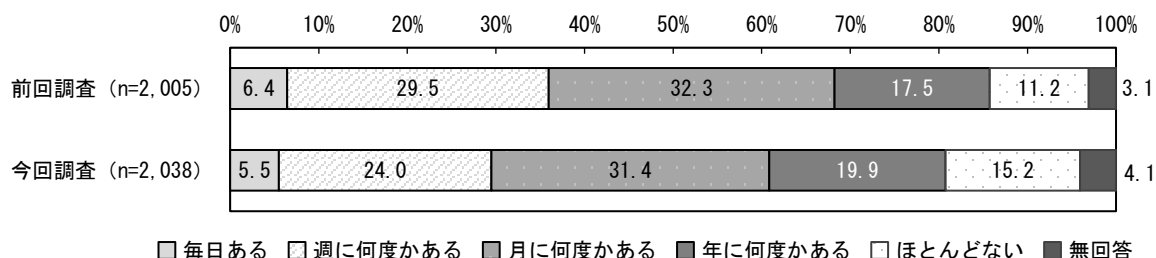
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手では、「そのような人はいない」が44.1%と多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が23.3%となっています。



問6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が31.4%と最も多く、次いで「週に何度かある」が24.0%となっています。一方、「ほとんどない」は15.2%となっています。

前回調査と比べると、「ほとんどない」が4.0ポイント増加しています。

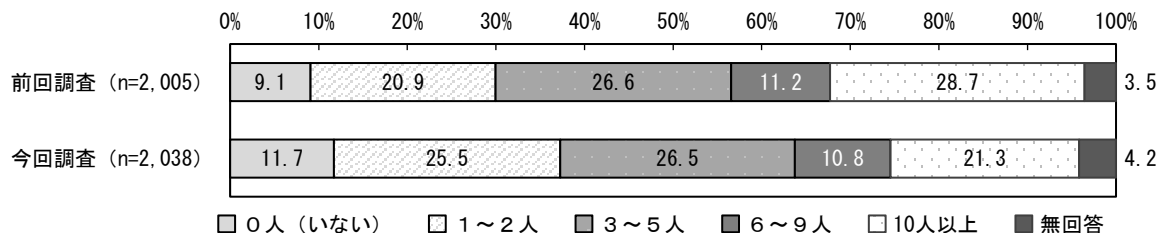


問7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つのみ）

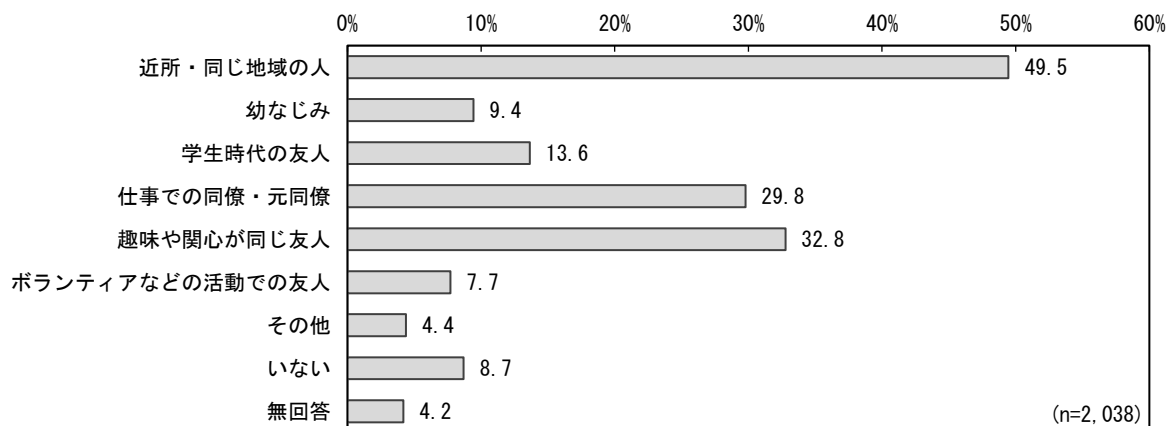
1か月の間に友人・知人と会った人数については、「3～5人」が26.5%と最も多く、次いで「1～2人」が25.5%となっています。

前回調査と比べると、「0人（いない）」が2.6ポイント増加しています。



問8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

よく会う友人・知人との関係性では、「近所・同じ地域の人」が49.5%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.8%、「仕事での同僚・元同僚」が29.8%となっています。



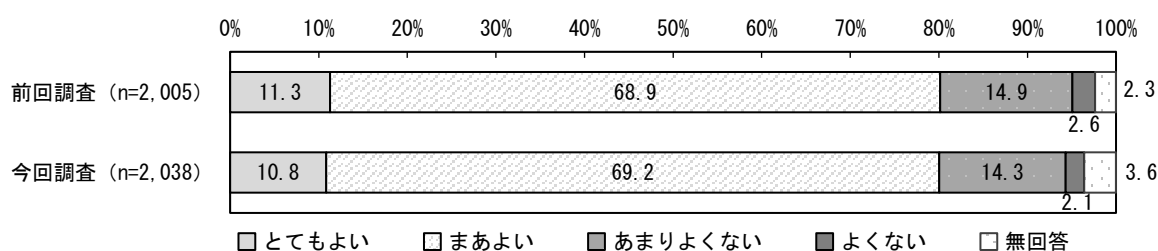
5. 健康等について

設問7 健康について

問1 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つのみ）

現在の健康状態では、「まあよい」が69.2%と最も多く、「とてもよい」の10.8%と合わせた『よい』は80.0%となっています。

前回調査と比べると、『よい』の割合は8割と変化がありませんが、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は、17.5%から16.4%と1.1ポイント減少しています。

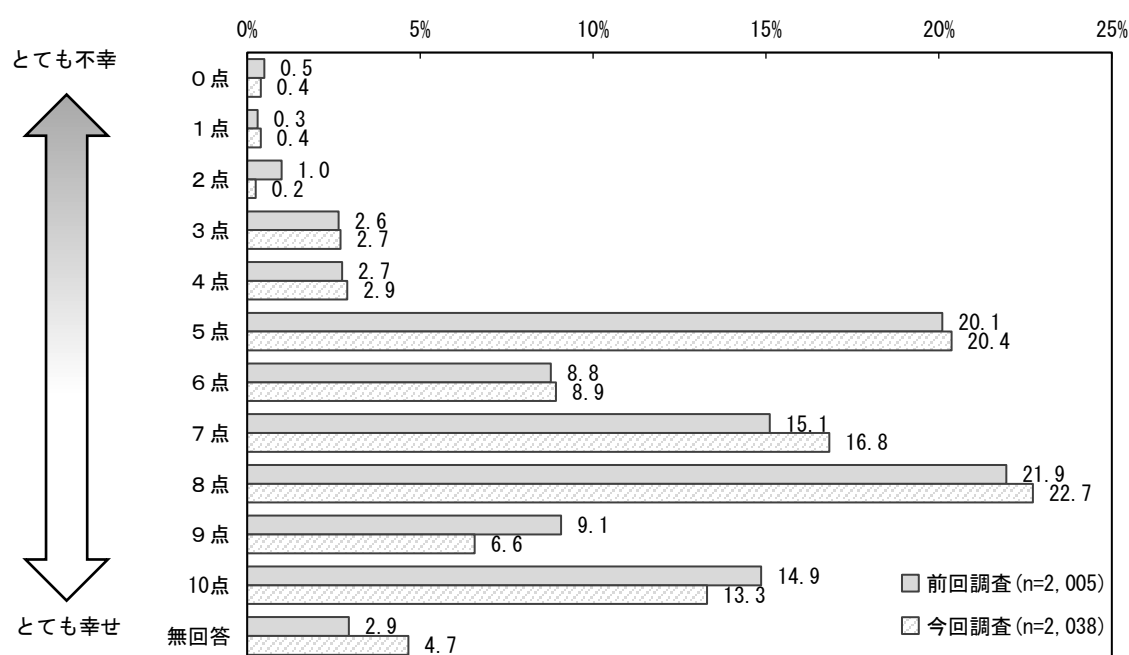


問2 あなたは、現在どの程度幸せですか（1つのみ）

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください）

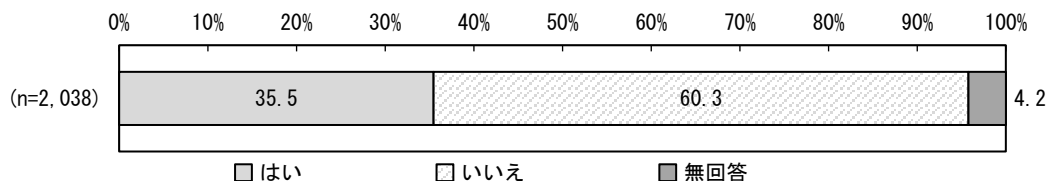
現在の幸福度では、「8点」が22.7%と最も多く、次いで「5点」が20.4%、「7点」が16.8%となっています。

前回調査と比べると、「3点」から「8点」までの割合は増加していますが、「9点」、「10点」の割合が減少しています。



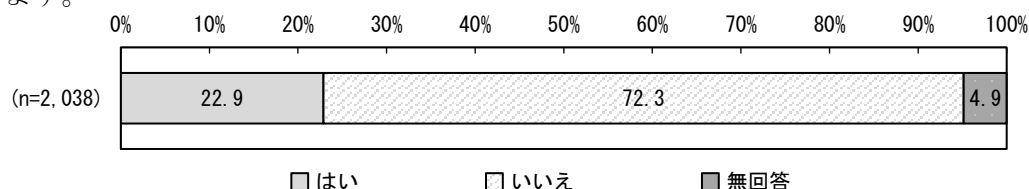
問3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（1つのみ）

この1か月の間に、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりするかでは、「はい（気分が沈むことがある）」が35.5%、「いいえ（気分が沈むことはない）」が60.3%となっています。



問4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（1つのみ）

この1か月の間に、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じでは、「はい（心から楽しめない）」が22.9%、「いいえ（心から楽しめる）」が72.3%となっています。

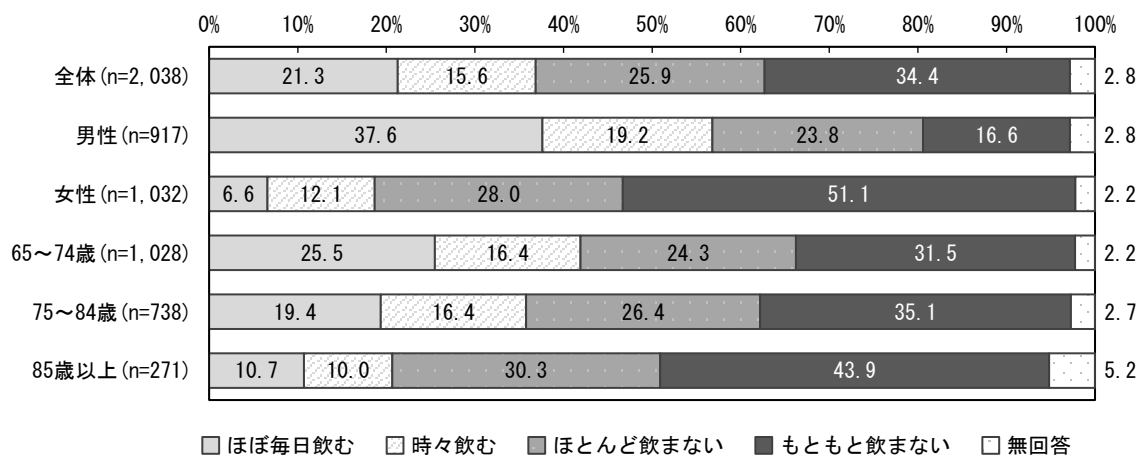


問5 お酒は飲みますか（1つのみ）

飲酒の習慣では、「もともと飲まない」が34.4%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が25.9%、「ほぼ毎日飲む」が21.3%となっており、「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」を合わせた『飲酒習慣がある』の割合は36.9%となっています。

男女別では、『飲酒習慣がある』割合は男性が56.8%に対し、女性は18.7%で男性のほぼ1/3となっています。

また、年齢別では、『飲酒習慣がある』の割合をみると、『65～74歳』で41.9%、『75～84歳』で35.8%、『85歳以上』で20.7%と年齢が上がるほど少なくなっています。

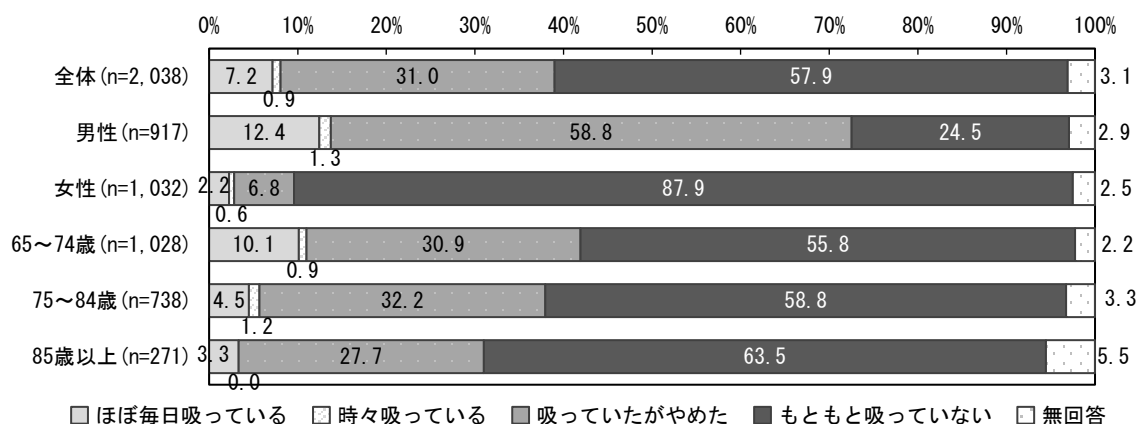


問6 タバコは吸っていますか（1つのみ）

喫煙の習慣では、「もともと吸っていない」が57.9%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が31.0%となっており、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『喫煙習慣がある』割合は8.1%となっています。

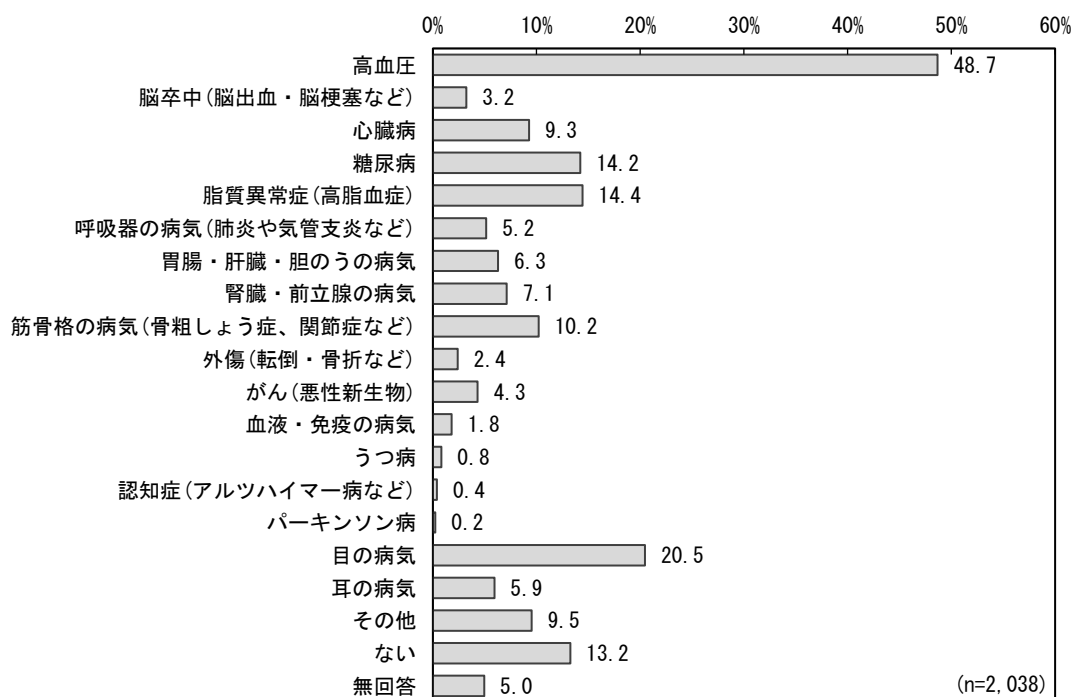
男女別では、男性は「吸っていたがやめた」が58.9%で、『喫煙習慣がある』は13.7%であるのに対し、女性は「もともと吸っていない」が87.9%、「吸っていたがやめた」が6.8%とほとんどが『喫煙習慣がない』となっています。

年齢別で『喫煙習慣がある』の割合をみると、《65～74歳》で11.0%、《75～84歳》で5.7%、《85歳以上》で3.3%と年齢が上がるほど喫煙習慣は少なくなっています。



問7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

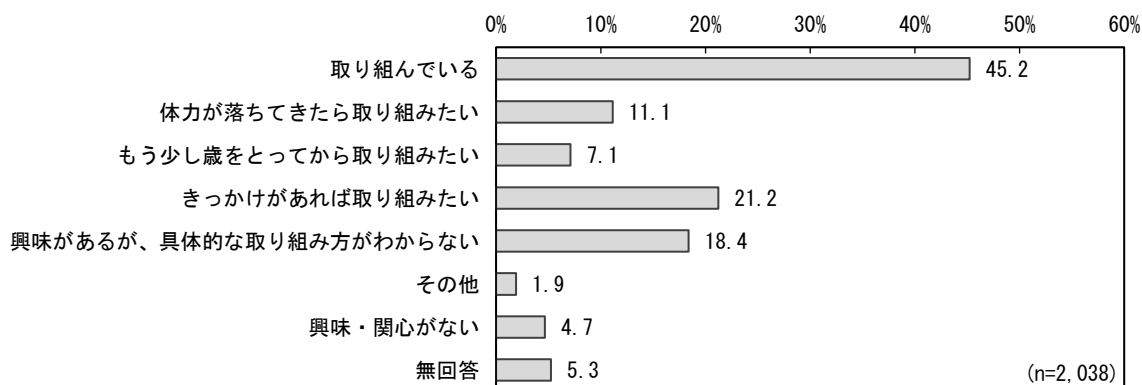
治療中または後遺症のある病気の状態では、「高血圧」が48.7%と最も多く、次いで「目の病気」が20.5%、「脂質異常症（高脂血症）」が14.4%、「糖尿病」が14.2%となっています。一方、「ない」と回答した割合は13.2%となっています。



設問8 介護予防、将来のことについて

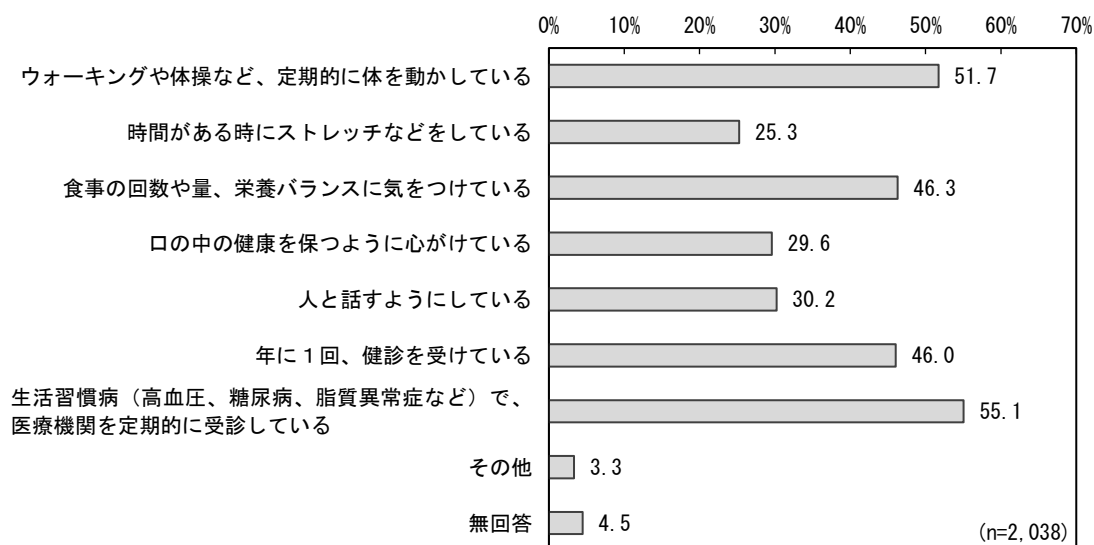
問1 寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいますか（いくつでも）

介護予防の取り組み状況では、「取り組んでいる」が45.2%と最も多く、次いで「きっかけがあれば取り組みたい」が21.2%となっています。一方、「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」が18.4%となっています。



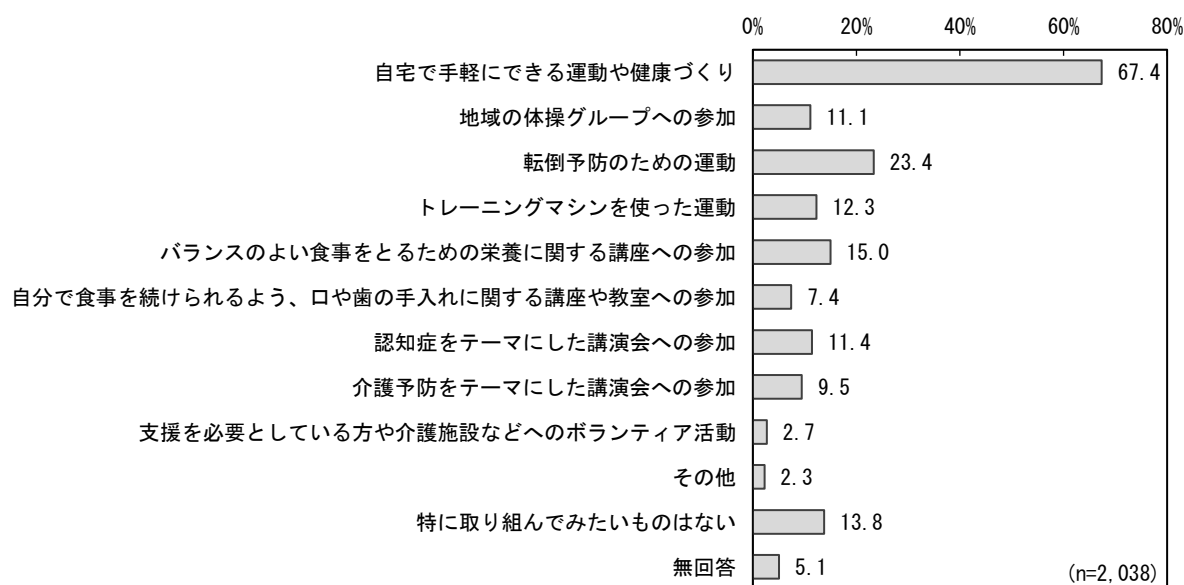
問2 介護予防として、どのようなことに取り組んでいますか（いくつでも）

介護予防として取り組んでいる内容では、「生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症など）で、医療機関を定期的を受診している」が55.1%と最も多く、次いで「ウォーキングや体操など、定期的に体を動かしている」が51.7%、「食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている」が46.3%、「年に1回、健診を受けている」が46.0%となっています。



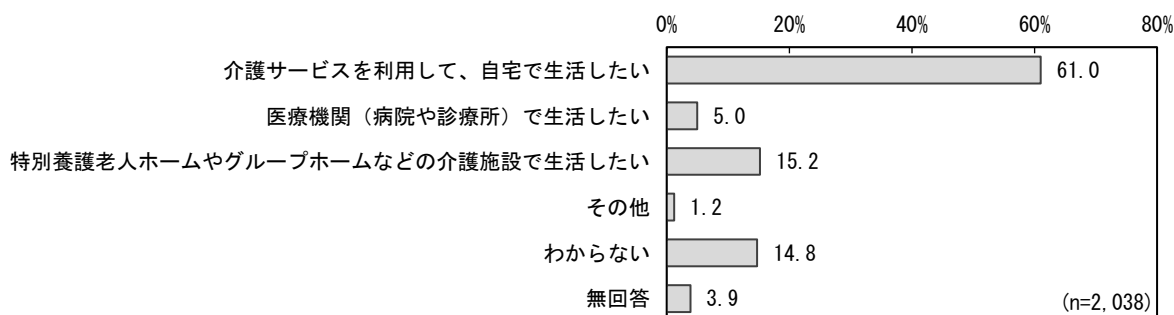
問3 介護予防や健康づくりに取り組むとしたら、どのようなことに興味がありますか。
 また、すでに取り組んでいる方については、今後取り組みたい事項を教えてください。
 (いくつでも)

介護予防や健康づくりに興味のある取組では、「自宅で手軽にできる運動や健康づくり」が67.4%と最も多く、次いで「転倒予防のための運動」が23.4%、「バランスのよい食事をとるための栄養に関する講座への参加」が15.0%となっています。



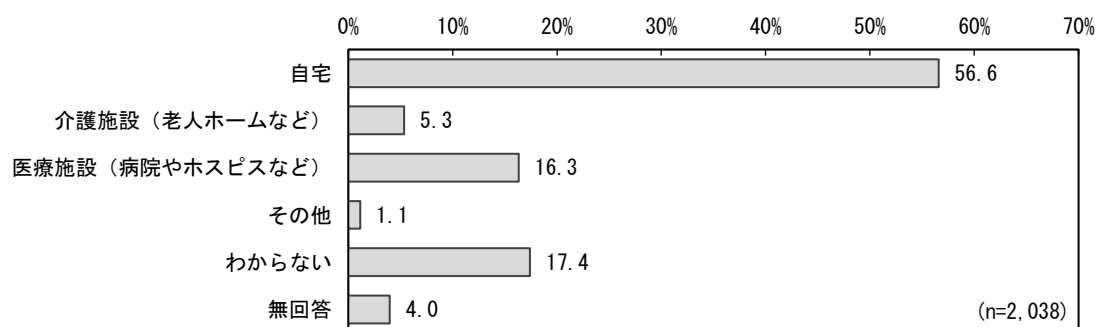
問4 あなたが、もし介護が必要な状態となった場合、どこで生活したいと思いますか
 (1つのみ)

介護が必要になった場合の生活場所では、「介護サービスを利用して、自宅で生活したい」が61.0%と最も多く、次いで「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設で生活したい」が15.2%となっています。



問5 あなたが、人生の最期を迎えるとき、どこで迎えたいですか（1つのみ）

人生の最期を迎えたい場所では、「自宅」が56.6%と最も多く、「医療施設（病院やホスピスなど）」や「介護施設（老人ホームなど）」は、低い割合となっています。



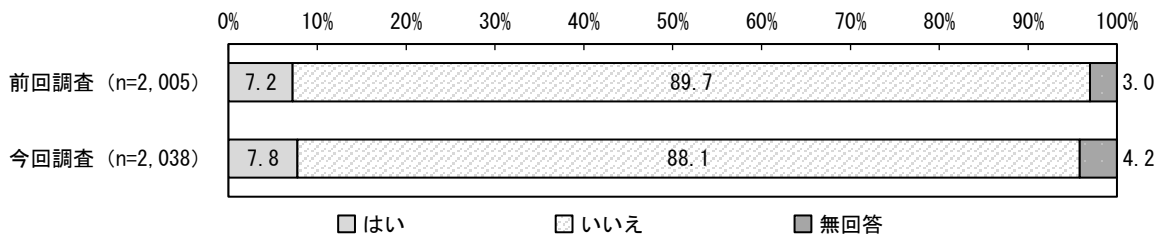
6. 認知症対策について

設問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

問1 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか（1つのみ）

本人または家族に認知症の症状がある人の有無では、「はい（いる）」が7.8%、「いいえ（いない）」が88.1%となっています。

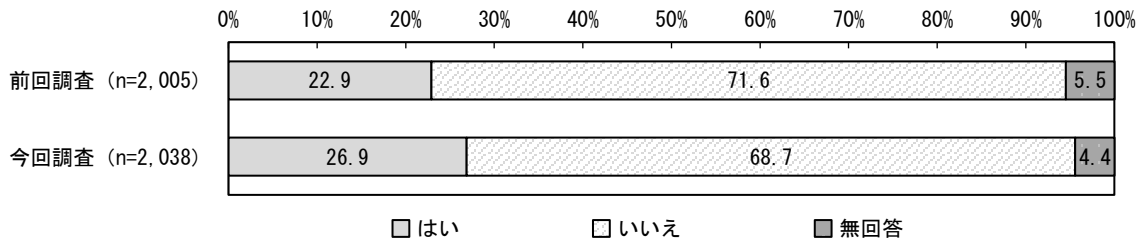
前回調査と比べると、「はい（いる）」が0.6ポイント増加し、「いいえ（いない）」が1.6ポイント減少しています。



問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つのみ）

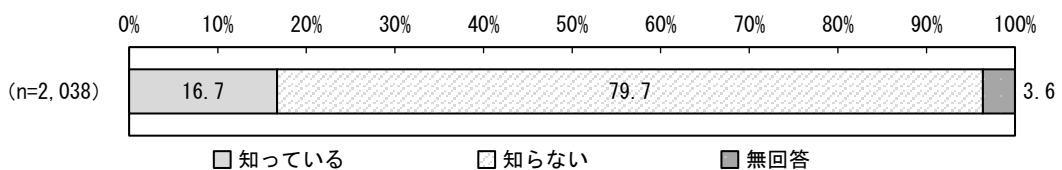
認知症に関する相談窓口の認知度では、「はい（知っている）」が26.9%、「いいえ（知らない）」が68.7%となっています。

前回調査と比べると、「はい（知っている）」の割合は4.0ポイントの増加し、「いいえ（知らない）」が2.9ポイント減少しています。



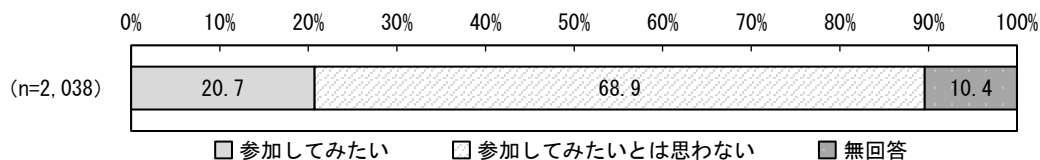
問3 那珂市では、認知症に関する理解と見守りのため、「認知症サポーター」の養成を行っています。このことを知っていますか（1つのみ）

「認知症サポーターの養成」では、「知っている」が16.7%、「知らない」が79.7%となっています。



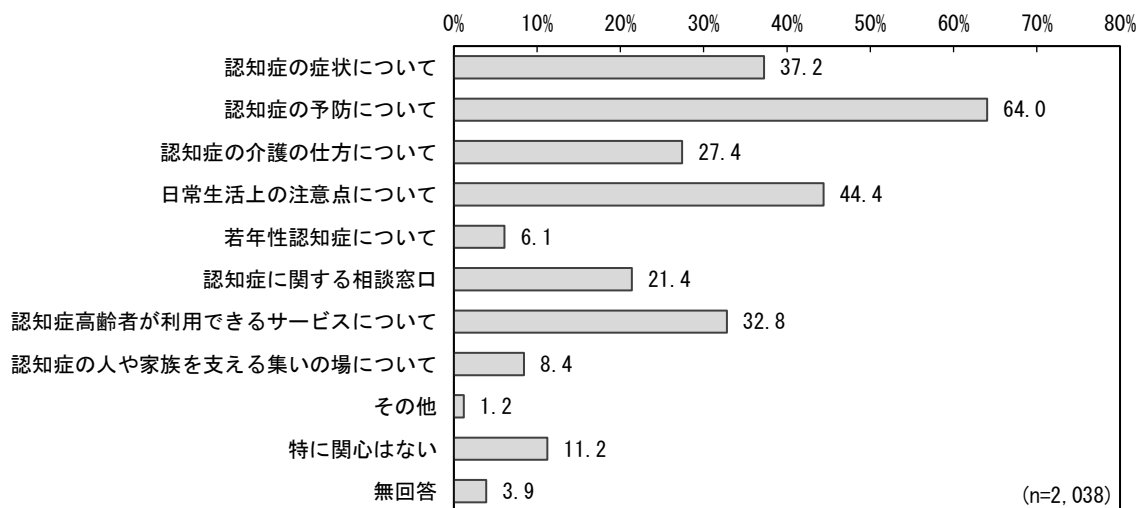
問4 那珂市では、認知症の人や家族に対する取組として、チームオレンジの設立を目指しています。チームオレンジに参加してみたいと思いますか（1つのみ）

チームオレンジの参加希望では、「参加してみたい」が20.7%、「参加してみたいとは思わない」が68.9%となっています。



問5 認知症についてどのようなことに関心がありますか（いくつでも）

認知症に対する関心事では、「認知症の予防について」が64.0%と最も多く、次いで「日常生活上の注意点について」が44.4%、「認知症の症状について」が37.2%、「認知症高齢者が利用できるサービスについて」が32.8%、「認知症の介護の仕方について」が27.4%などとなっています。



7. リスク判定について

基本チェックリストを用いた生活機能評価

基本チェックリストとは、介護保険法施行規則第140条の62の4第2号の規定に基づき、厚生労働大臣が定める基準であり、65歳以上の方を対象に、要介護状態の原因となる生活機能の低下を簡易な質問票を基にチェックするものです。基本チェックリストに定められている25項目のうち、本調査では20項目について調査を実施しています。

なお、回答欄の「はい」及び「いいえ」の頭に記載された「0」及び「1」は、次ページ以下で行う評価の点数を示しています。

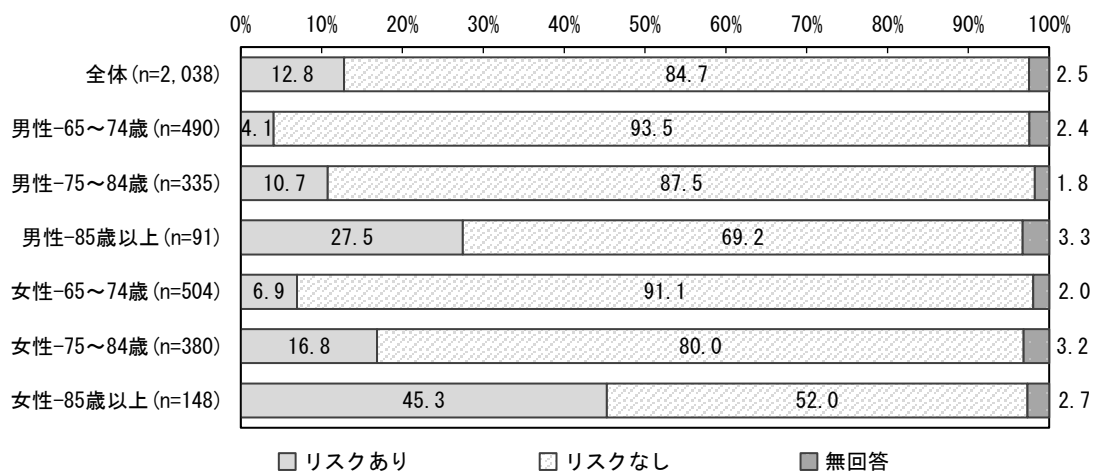
■ 基本チェックリストの項目

No.	質問事項	回答		対応設問
1	バスや電車を使って1人で外出していますか	0. はい	1. いいえ	設問4問4
2	日用品の買い物をしていますか	0. はい	1. いいえ	設問4問5
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ	設問4問8
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ	設問4問13
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ	設問4問14
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ	設問2問1
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ	設問2問2
8	15分位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ	設問2問3
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ	設問2問4
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ	設問2問5
11	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	0. いいえ	設問3問8
12	身長(cm) 体重(kg)⇒BMI:18.5未満の場合該当 BMI = 体重kg ÷ (身長m × 身長m)	1. はい	0. いいえ	設問3問1
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ	設問3問2
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ	設問3問3
15	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ	設問3問4
16	週に1回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ	設問2問6
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ	設問2問7
18	周り人からいつも同じ事聞くななどの物忘れがあると 言われますか	1. はい	0. いいえ	設問4問1
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをして いますか	0. はい	1. いいえ	設問4問2
20	今日が何月何日か分からない時がありますか	1. はい	0. いいえ	設問4問3
21	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ	—
22	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽 しめなくなった	1. はい	0. いいえ	—
23	(ここ2週間)以前は楽にできていたことがおっくう に感じられる	1. はい	0. いいえ	—
24	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ	—
25	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ	—

ア 運動器機能の低下 (No. 6~10 の回答による合計点数が3点以上)

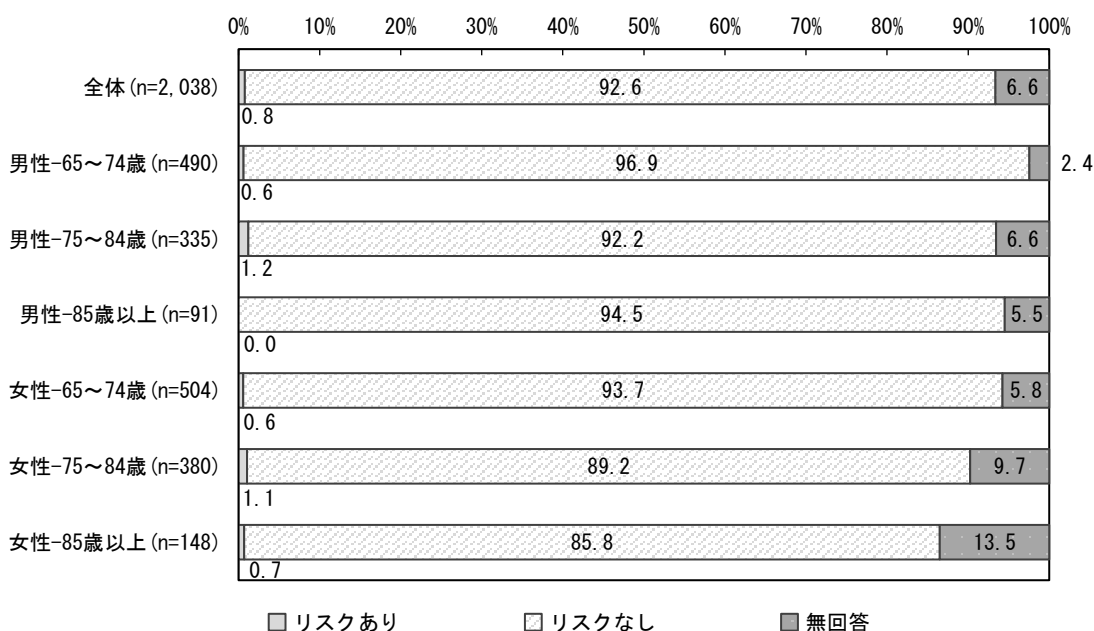
運動器機能の低下リスクのある割合は、市全体で 12.8% となっています。

年齢別では、男女とも年齢が高くなるほど「リスクあり」の割合が高くなっており、《男性-85歳以上》では 27.5%、《女性-85歳以上》では 45.3% となっています。



イ 低栄養の傾向 (No. 11~12 の回答による合計点数が2点以上)

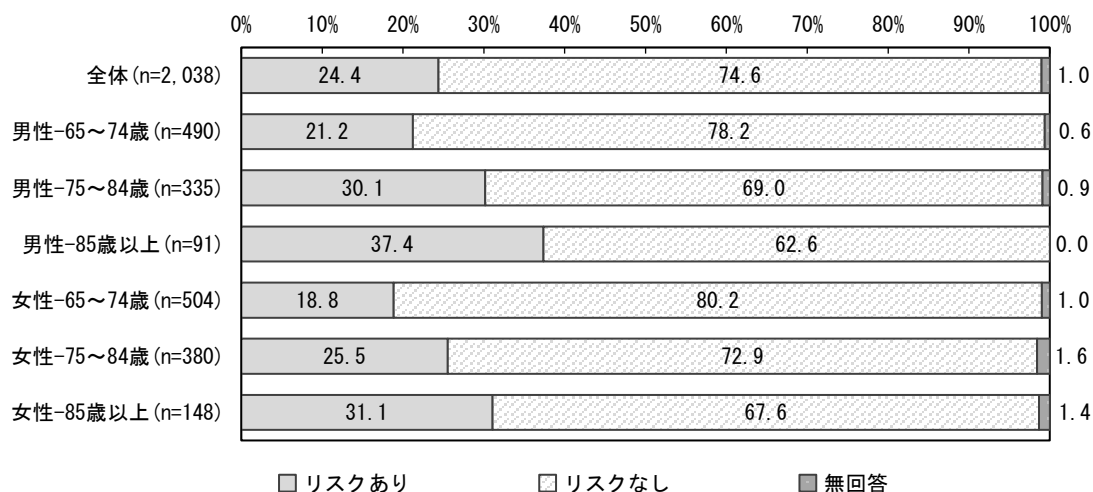
低栄養の傾向がみられる割合は、市全体で 0.8% と低い割合となっており、性別・年齢別でも、リスク該当者の割合は低くなっています。



ウ 口腔機能の低下 (No. 13~15 の回答による合計点数が2点以上)

口腔機能の低下リスクのある割合は、市全体で24.4%となっています。

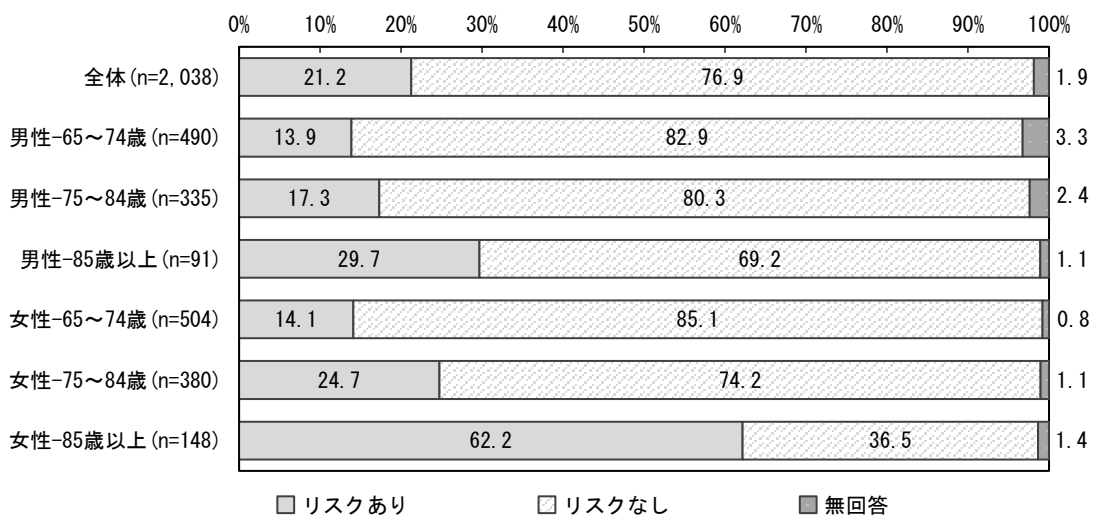
年齢別でみると、男女とも年齢が高くなるほど「リスクあり」の割合が高くなっており、特に《男性-85歳以上》では37.4%、《女性-85歳以上》では31.1%となっています。



エ 閉じこもり (No. 16 の回答による点数が1点)

閉じこもりの傾向がある (リスクがある) 割合は、市全体で21.2%となっています。

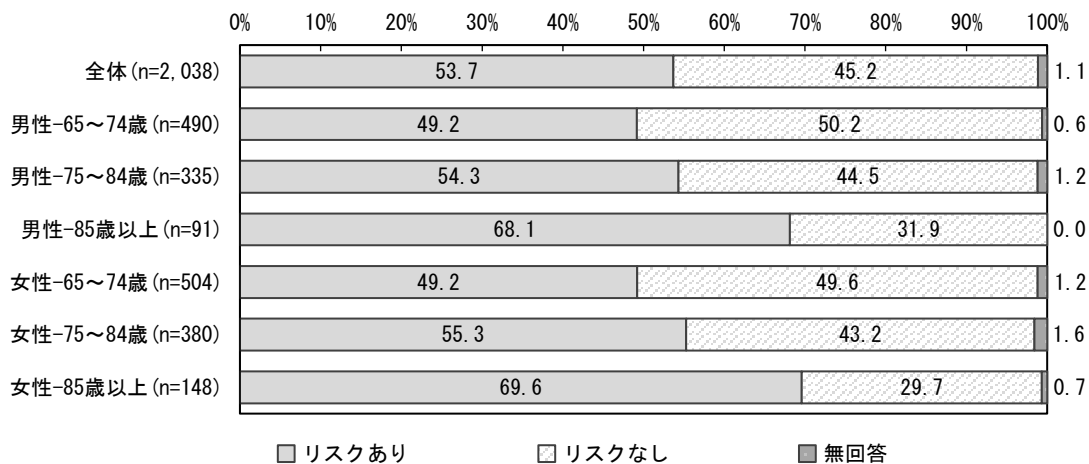
年齢別・男女別でみると、男女とも年齢が高くなるほど「リスクあり」の割合が高くなっており、《男性-85歳以上》は《男性-65~74歳》の約2倍、《女性-85歳以上》は《女性-65~74歳》の約4.4倍となっています。また、《男性-85歳以上》と《女性-85歳以上》では、女性の割合が男性の割合の約2倍となっています。



オ 認知機能の低下 (No. 18 の回答による点数が1点以上)

認知機能の低下リスクのある割合は、市全体で 53.7% となっています。

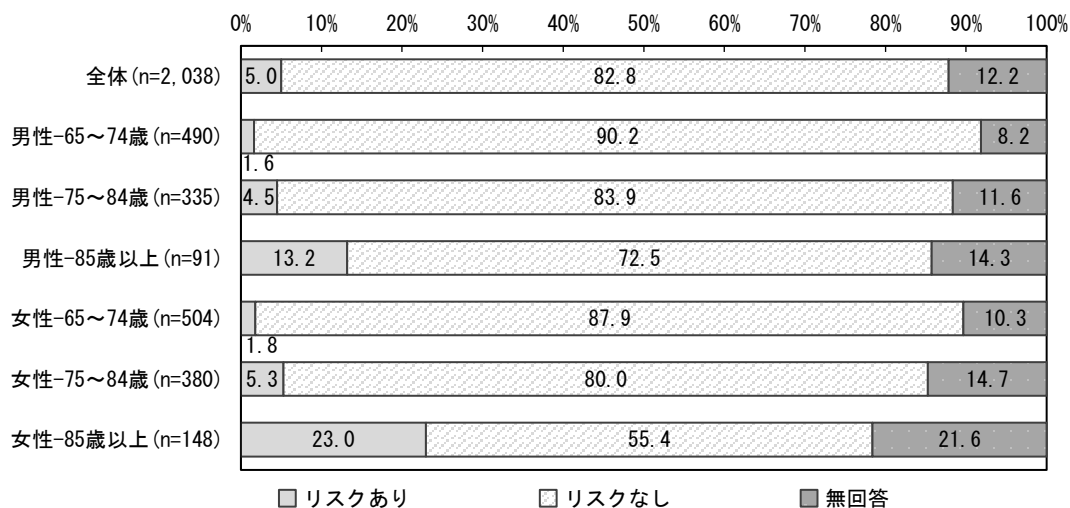
年齢別で見ると、男女とも年齢が高くなるほど「リスクあり」の割合が高くなっており、《男性-85歳以上》では 68.1%、《女性-85歳以上》では 69.6% となっています。



カ 総合判定：生活機能の低下 (No. 1~20 の回答による合計点数が10点以上)

生活機能の低下状況にある割合は、市全体で 5.0% となっています。

年齢別で見ると、男女とも年齢が高くなるほど「リスクあり」の割合が高くなっており、《男性-85歳以上》では 13.2%、《女性-85歳以上》では 23.0% となっています。

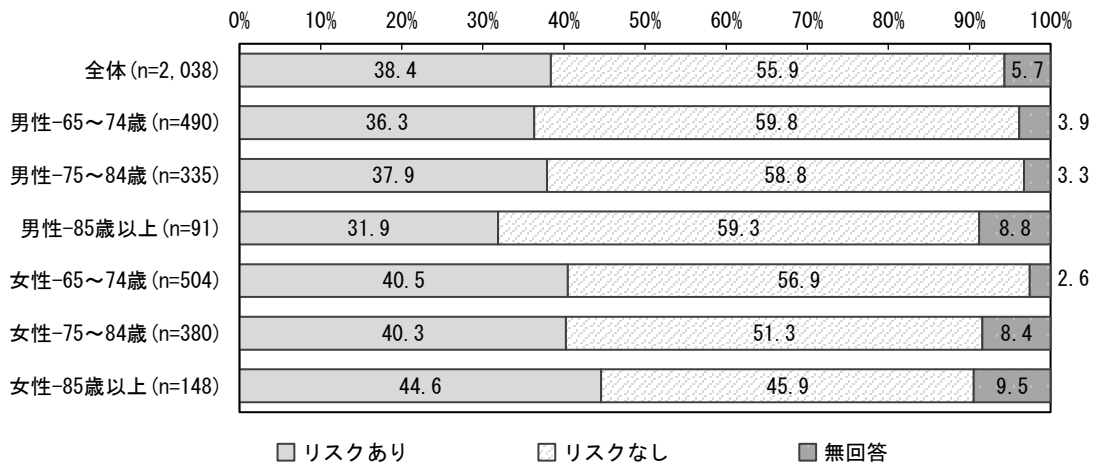


その他のリスク判定

キ うつ傾向（設問7の問3、問4の回答でともに「はい」と回答）

設問7の問3（気分が沈む）及び設問7の問4（物事に興味がわからない）の回答状況から、うつの傾向を判定しています。うつの傾向がみられる割合は、市域全体で38.4%となっています。

性別で見ると、男性よりも女性においてうつ傾向のリスクが高く、年齢別では、男性は《男性-75～84歳》が37.9%と《男性-85歳以上》の31.9%より高く、女性は《女性-85歳以上》が44.6%と最も高くなっています。



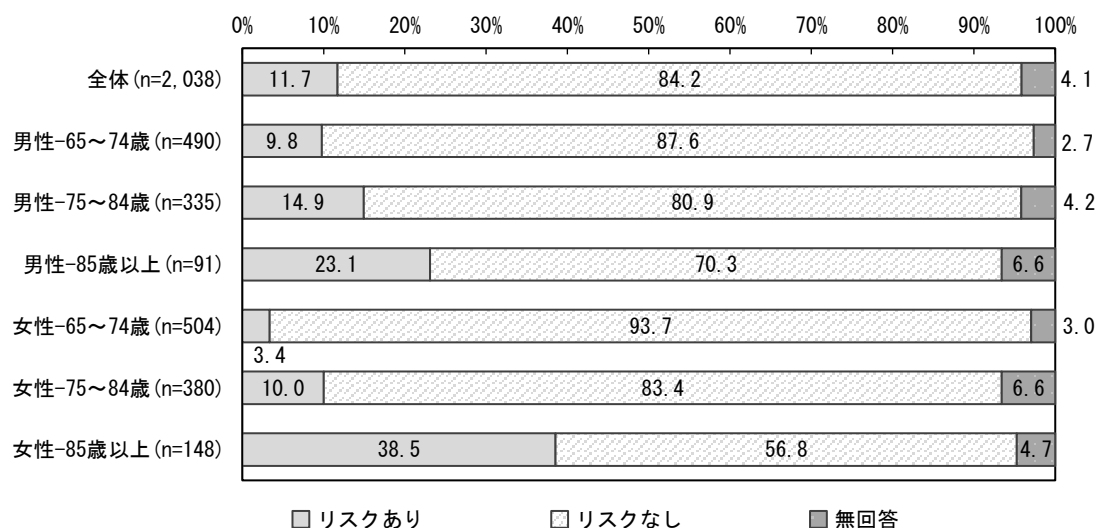
ク IADL（手段的日常生活動作）の低下

IADL（手段的日常生活動作：活動的な日常生活をおくるための動作能力）の低下が先に起こってから、ADL（日常生活動作）の低下が起こるといわれています。介護予防においては、まずIADLが低下しないように維持することが重要となります。

本報告書では、設問4問4から問8の5つの質問（移動・買い物・食事の準備・金銭管理等）で、「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答された場合に1点を与えて5点満点で算出し、4点以下をIADLに関するリスク該当者として判定しています。

リスク該当者の割合は、市全体では11.7%となっています。

年代別でみると男女とも年齢が高くなるにつれリスク該当者の割合が高くなり、《男性-85歳以上》で23.1%、《女性-85歳以上》で38.5%となっています。

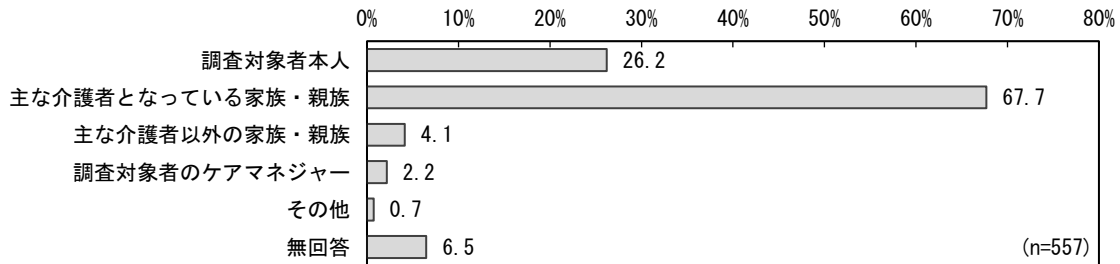


第3章 在宅介護実態調査

1. 回答者の基本属性

問 この調査票を記入していただいている方はどなたですか（複数選択可）

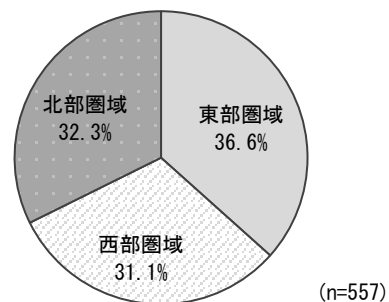
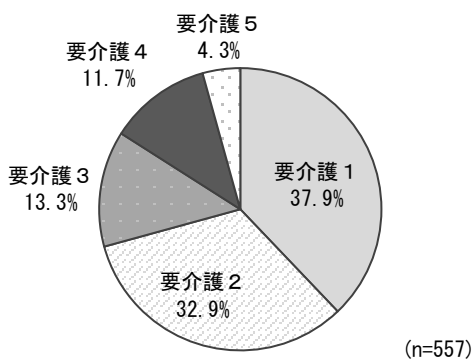
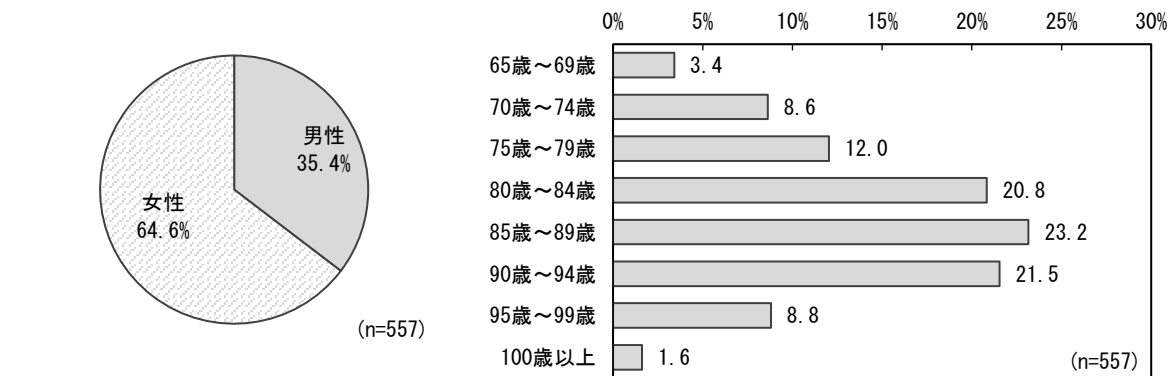
記入していただいた方は、「主な介護者となっている家族・親族」が67.7%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が26.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.1%となっています。



□ 回答者の属性

在宅介護実態調査の回答者の属性は、性別では「男性」が35.4%、「女性」が64.6%と男性より女性が多く、年齢別では、「85歳～89歳」が23.2%と最も多く、次いで「90歳～94歳」が21.5%、「80歳～84歳」が20.8%となっています。また、要介護度別では、「要介護1」が37.9%と最も多く、次いで「要介護2」が32.9%となっています。

圏域別では「東部圏域」が36.6%、「西部圏域」が31.1%、「北部圏域」が32.3%となっています。



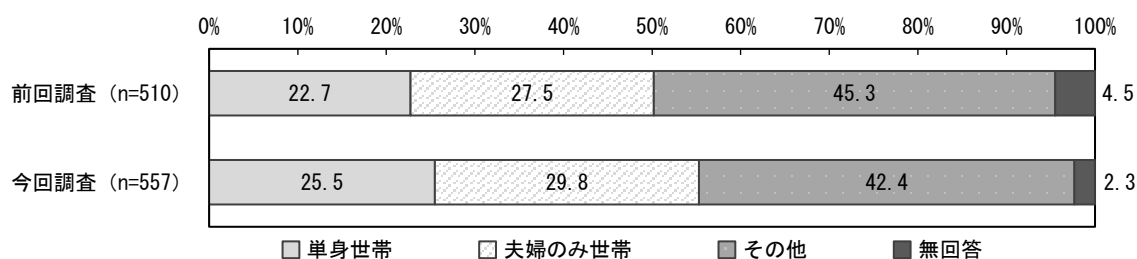
2. 在宅サービスと日常生活について

A票 調査対象者ご本人について、お伺いします

A票 問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

世帯類型では、「単身世帯」が25.5%、「夫婦のみ世帯」が29.8%、「その他」が42.4%となっています。

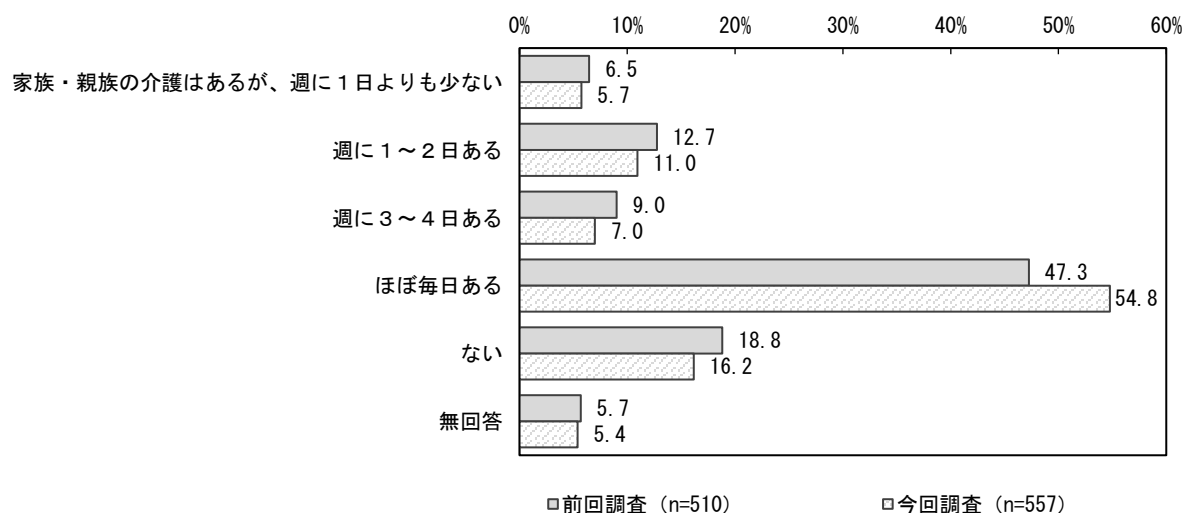
前回調査と比べると「単身世帯」の割合が2.8ポイント、「夫婦のみ世帯」の割合が2.3ポイント増えています。



A票 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

介護頻度は、「ほぼ毎日ある」が54.8%と最も多く、次いで「ない」が16.2%、「週に1～2日ある」が11.0%となっています。

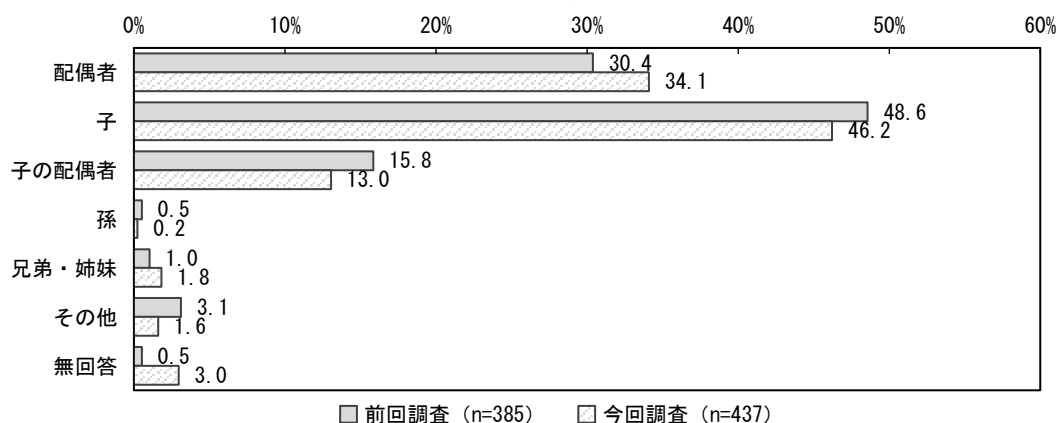
前回調査と比べると、「ほぼ毎日ある」の割合が7.5ポイントの増加となっています。



A票 問3 主な介護者の方はどなたですか（1つを選択）

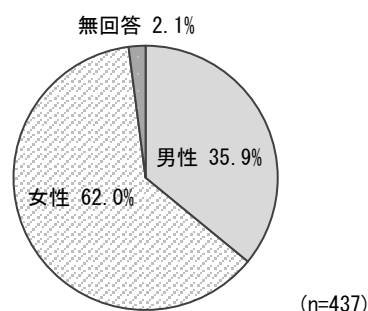
主な介護者の続柄では、「子」が46.2%と最も多く、次いで「配偶者」が34.1%、「子の配偶者」が13.0%となっています。

前回調査と比べると、「子」の割合が2.4ポイントの減少、「子の配偶者」の割合が2.8ポイントの減少、「配偶者」の割合が3.7ポイントの増加となっています



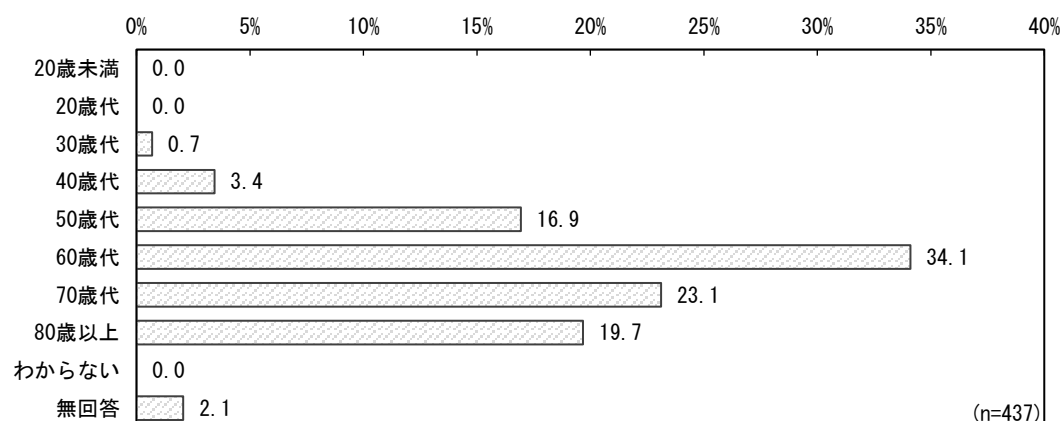
A票 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の性別は、「男性」35.9%、「女性」が62.0%となっています。



A票 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

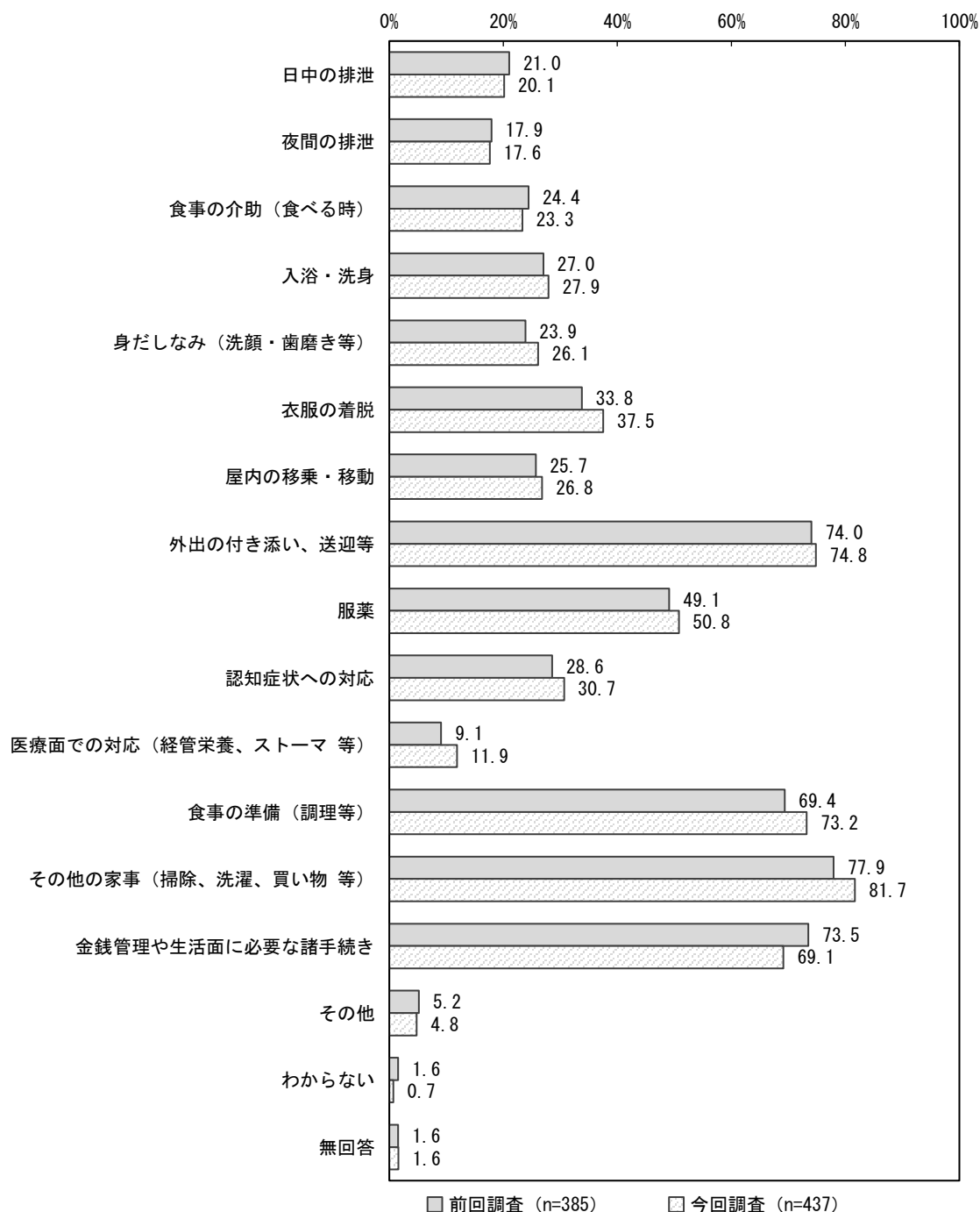
主な介護者の年齢では、「60代」が34.1%と最も多く、次いで「70代」が23.1%、「80代以上」が19.7%となっています。



A票 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(複数選択可)

主な介護者が行っている介護等では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が81.7%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が74.8%、「食事の準備（調理等）」が73.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.1%となっています。

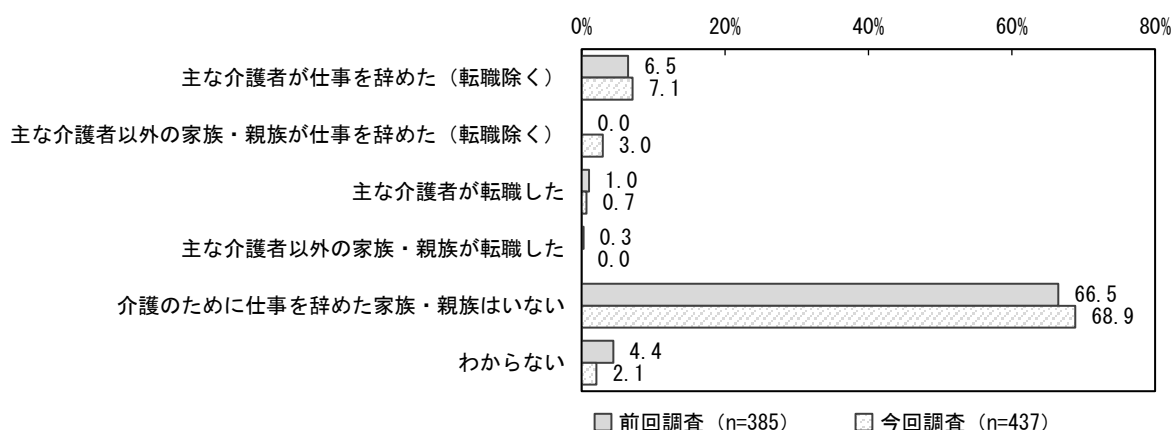
前回調査と比べても、概ね同様の傾向となっています。



A票 問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

過去1年間に仕事を辞めた方では、「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」が7.1%となっています。

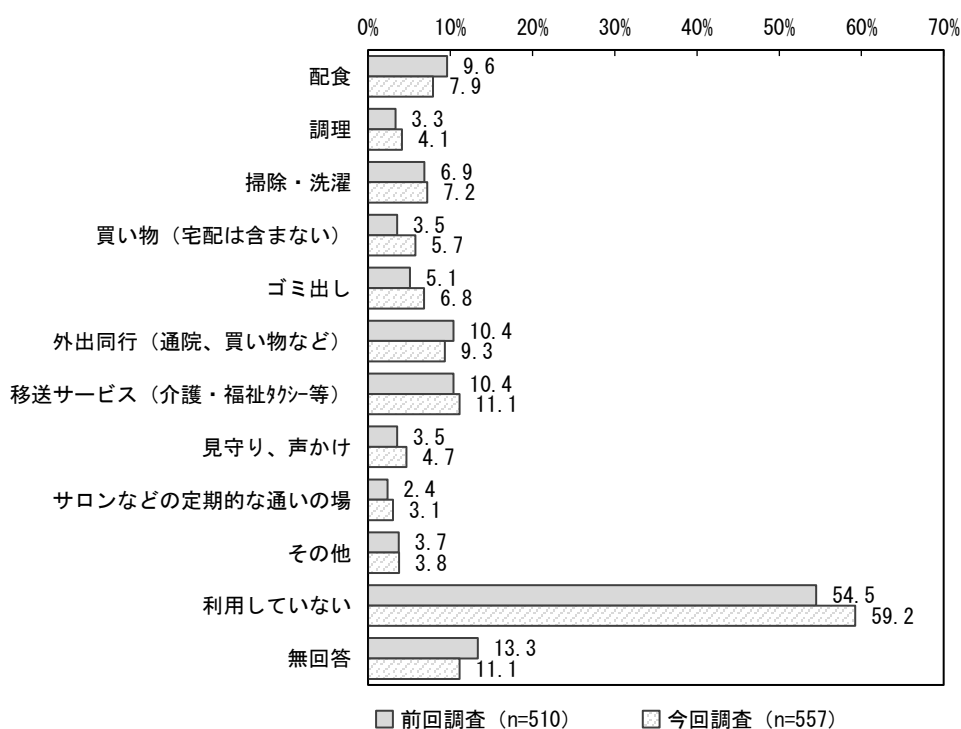
前回調査と比べて『仕事を辞めた』方の割合は、3.6ポイント増加しています。



A票 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

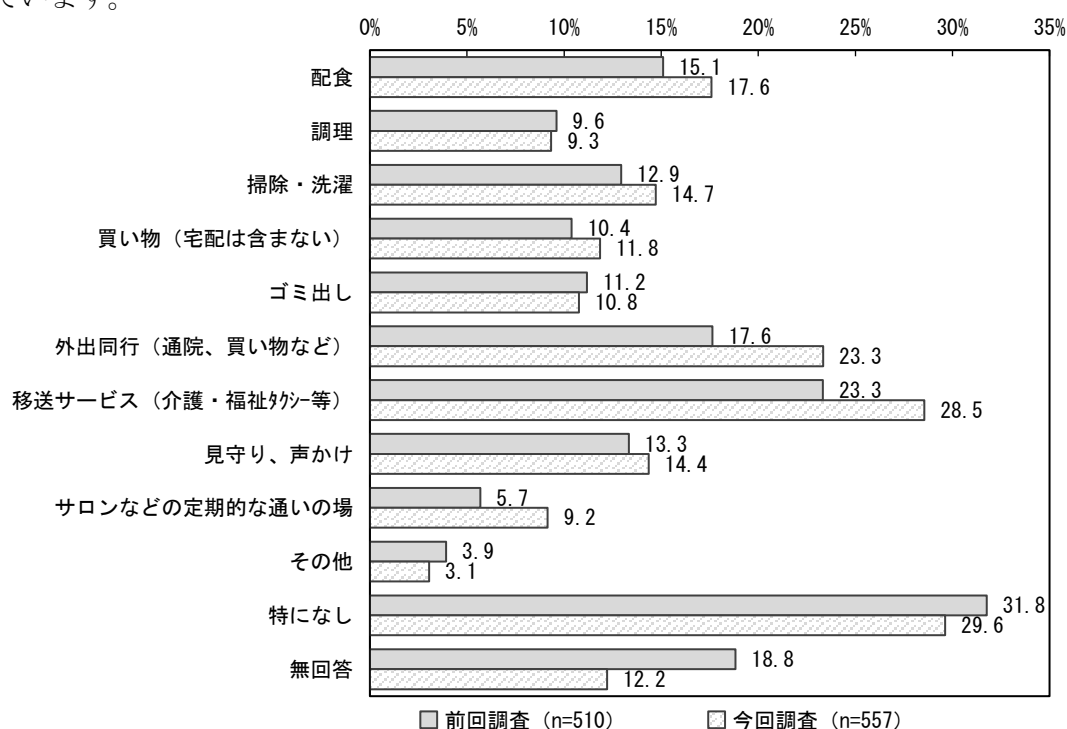
「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況では、「利用していない」が59.2%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が9.3%となっています。

前回調査と比べると、「利用していない」の割合が4.7ポイント増加しています。



A票 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

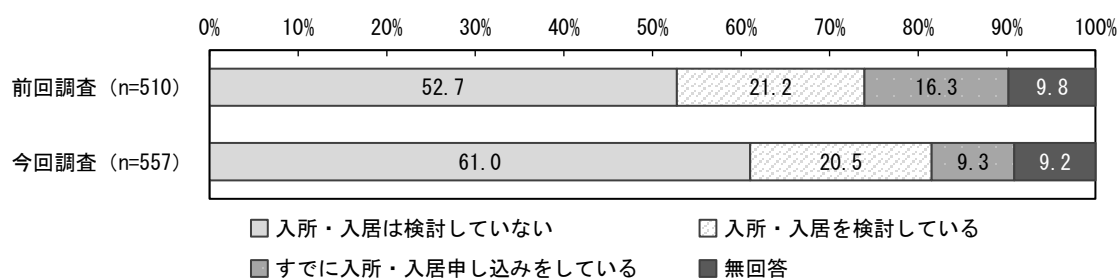
今後の在宅介護の継続に必要と感じる支援・サービスでは、「特になし」を除き、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が23.3%、「配食」が17.6%、「掃除・洗濯」が14.7%、「見守り、声かけ」が14.4%となっています。前回調査と比べると、「外出同行」や「移送サービス」の割合が5.0ポイント以上の増加となっています。



A票 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

施設等への入所・入居の検討状況では、「入所・入居は検討していない」が61.0%、「入所・入居を検討している」が20.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が9.3%となっています。

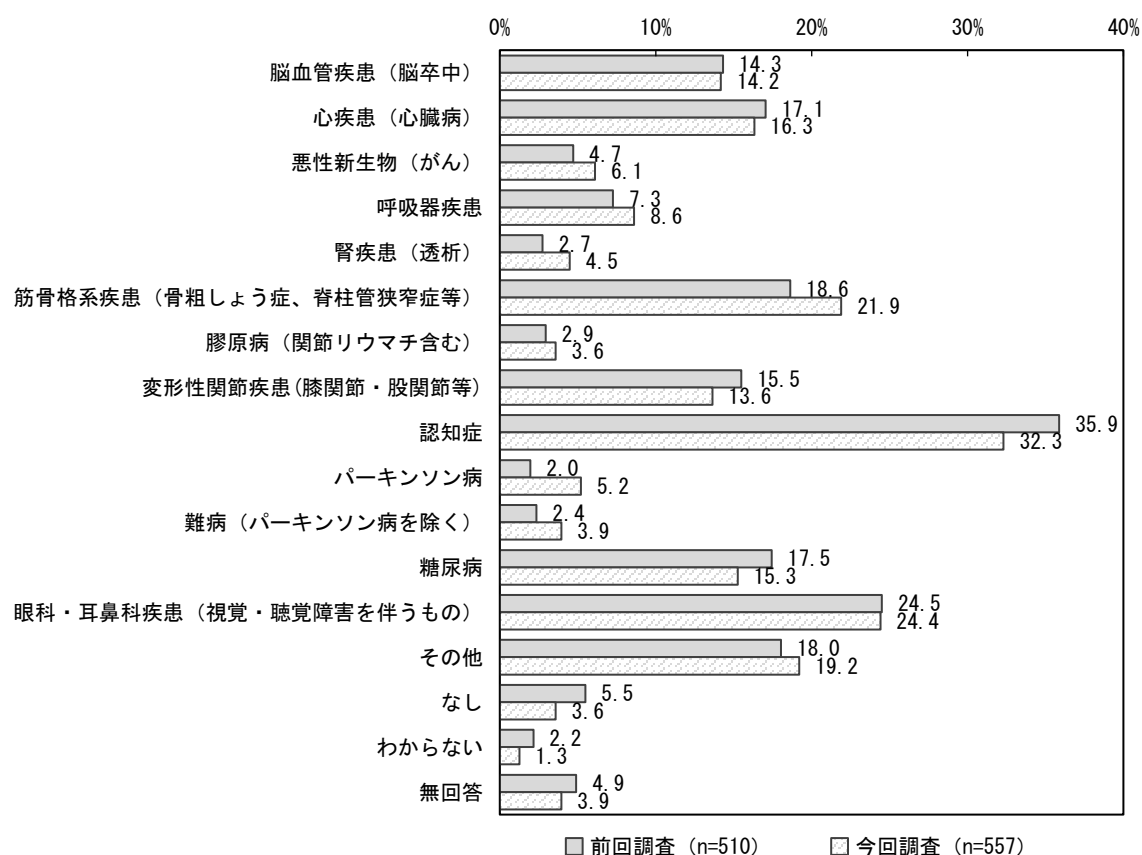
前回調査と比べると、「入所・入居は検討していない」の割合が8.3ポイントの増加となっています。



A票 問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（複数選択可）

現在抱えている傷病では、「認知症」が32.3%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が24.4%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.9%となっています。

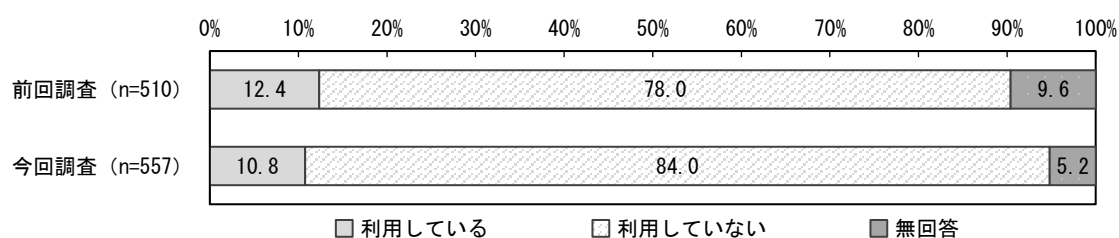
前回調査と比べると、「認知症」の割合が3.6ポイント減少しており、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が3.3ポイント増加しています。「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合は、ほとんど変わりません。



A票 問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

訪問診療の利用では、「利用している」が10.8%、「利用していない」が84.0%となっています。

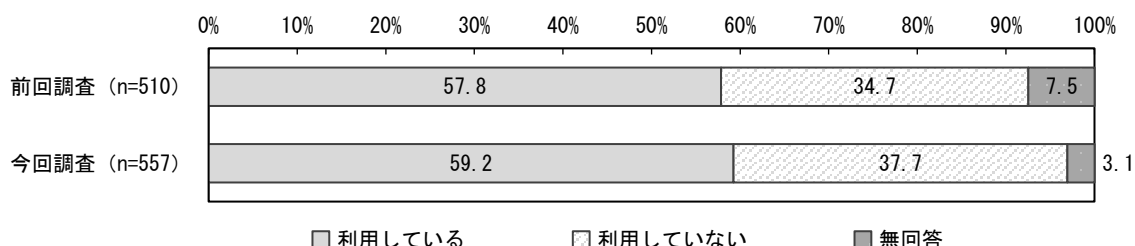
前回調査と比べると、「利用している」の割合が1.6ポイント減少し、「利用していない」の割合が6.0ポイント増加しています。



A票 問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

介護保険サービスの利用状況では、「利用している」が59.2%、「利用していない」が37.7%となっています。

前回調査と比べると、「利用している」の割合が1.4ポイント増加し、「利用していない」の割合も3.0ポイント増加しています。

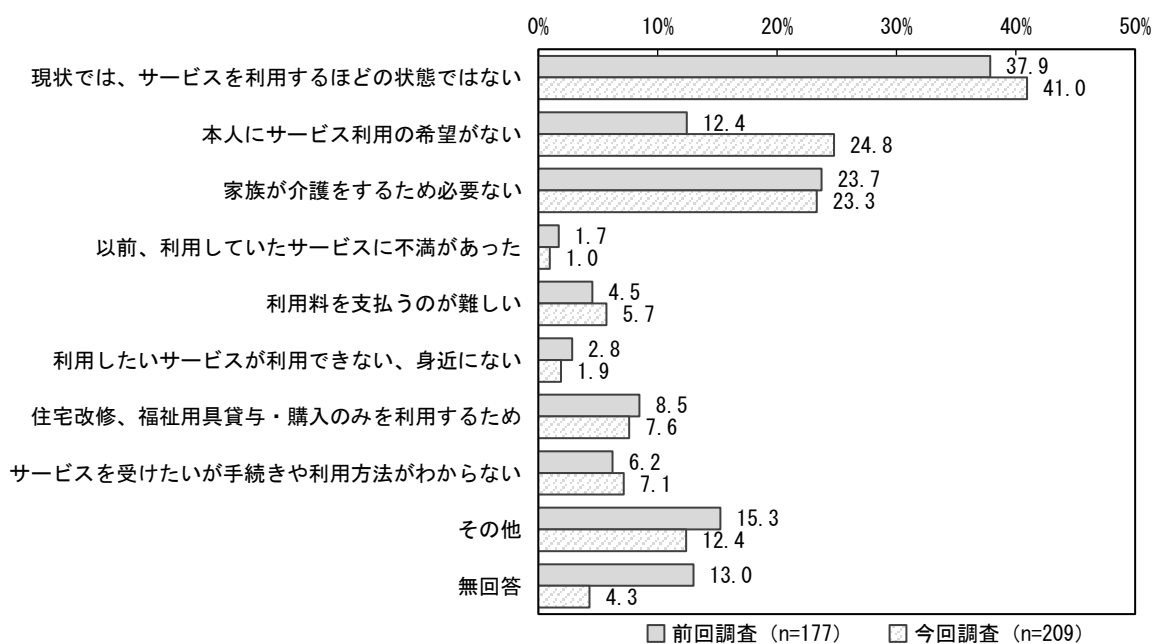


問 13 で「利用していない」を回答した方のみ

A票 問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が24.8%、「家族が介護をするため必要ない」が23.3%となっています。

前回調査と比べると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が3.1ポイントの増加、「本人にサービス利用の希望がない」の割合は12.4ポイントの増加となっており、「家族が介護をするため必要ない」の割合は0.4ポイントの減少と大きな変化は有りません。



3. 介護者の状況について

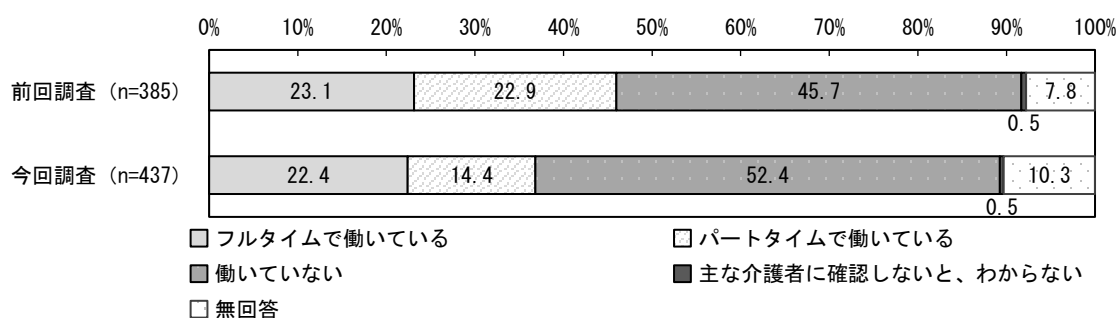
B票 主な介護者の方について、お伺いします

B票 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の勤務形態では、「働いていない」が52.4%、「フルタイムで働いている」が22.4%、「パートタイムで働いている」が14.4%となっています。

前回調査と比べると、「働いていない」の割合が6.7ポイントの増加となっています。

主な介護者の年齢別で見ると、50歳代以下では「フルタイムで働いている」の割合が、60歳代以上では「働いていない」の割合が最も大きくなっています。

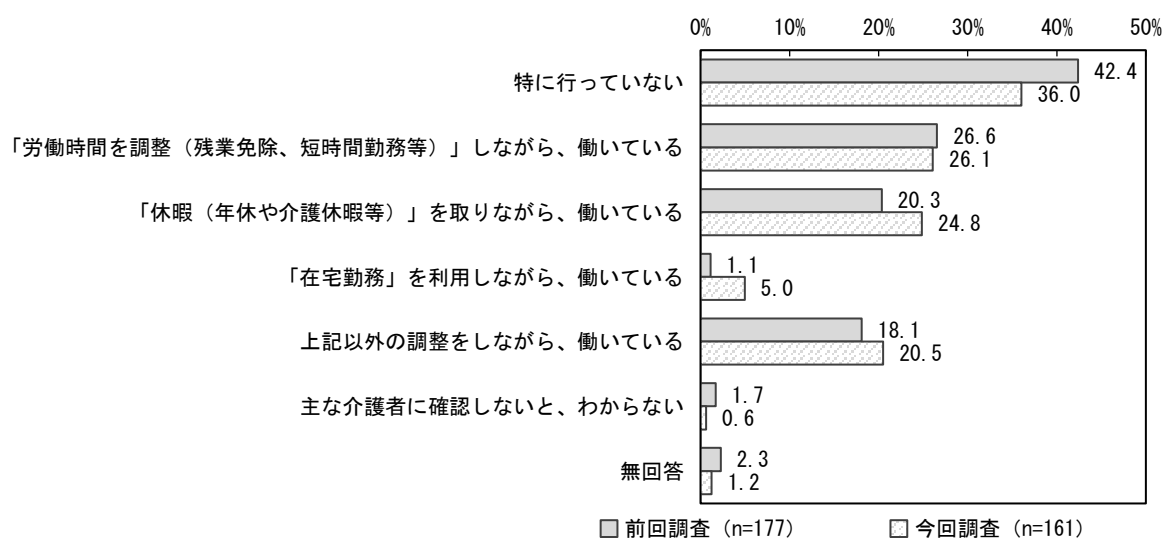


	合計	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	437	98	63	229	2	45
	100.0	22.4	14.4	52.4	0.5	10.3
20歳未満	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30歳代	3	2	0	0	0	1
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
40歳代	15	9	2	4	0	0
	100.0	60.0	13.3	26.7	0.0	0.0
50歳代	74	33	14	17	2	8
	100.0	44.6	18.9	23.0	2.7	10.8
60歳代	149	37	28	75	0	9
	100.0	24.8	18.8	50.3	0.0	6.0
70歳代	101	6	10	74	0	11
	100.0	5.9	9.9	73.3	0.0	10.9
80歳以上	86	9	7	56	0	14
	100.0	10.5	8.1	65.1	0.0	16.3

B票 問2 問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

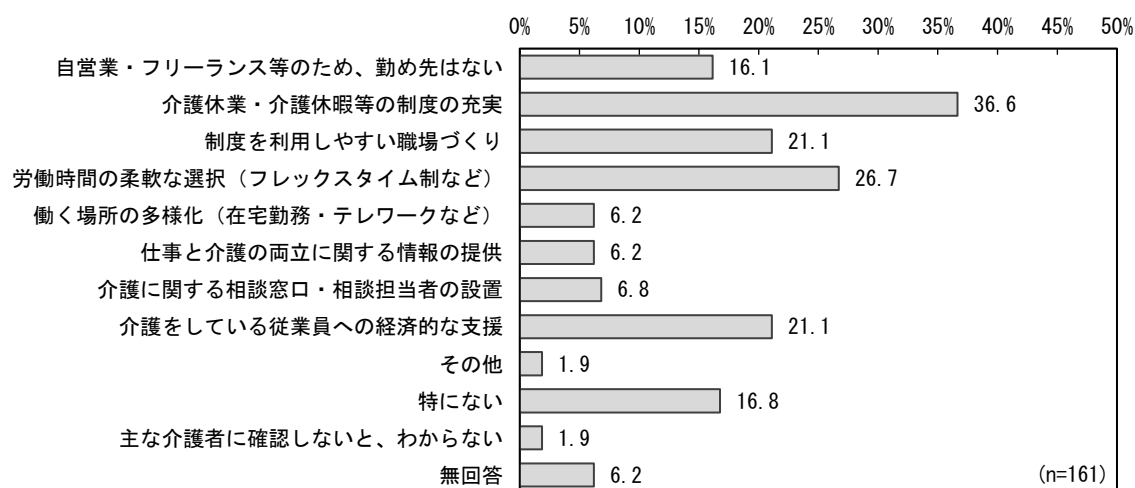
介護をするにあたっての働き方の調整等の状況では、「特に行っていない」が36.0%、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務等）しながら、働いている」が26.1%、「休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」が24.8%となっています。

前回調査と比べると、「休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」割合が4.5ポイントの増加となっています。



B票 問3 問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

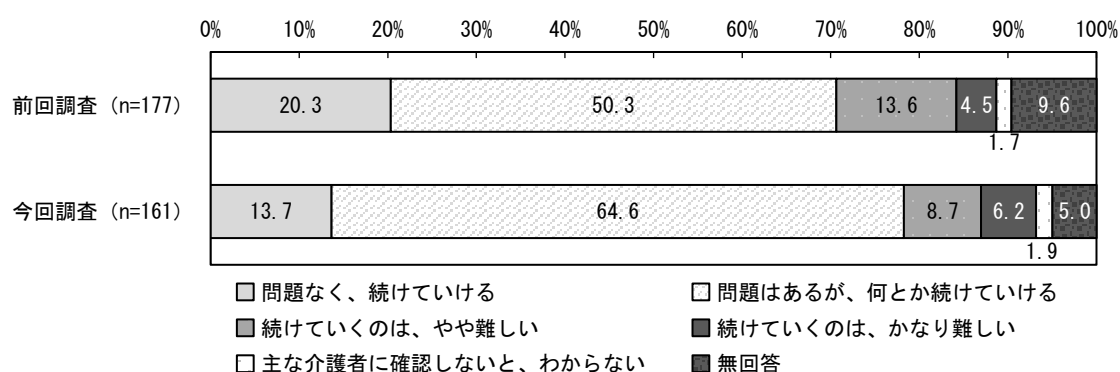
仕事と介護の両立に効果があると思われる勤め先からの支援では、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が36.6%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が26.7%、「制度を利用しやすい職場づくり」及び「介護をしている従業員への経済的な支援」が21.1%となっています。



B票 問4 問1で「フルタイムで働いている」、「パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

今後も働きながら介護を続けていけそうかでは、「問題はあるが、何とか続けていける」が64.6%、「問題なく、続けていける」が13.7%となっており、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『難しい』の割合は、14.9%となっています。

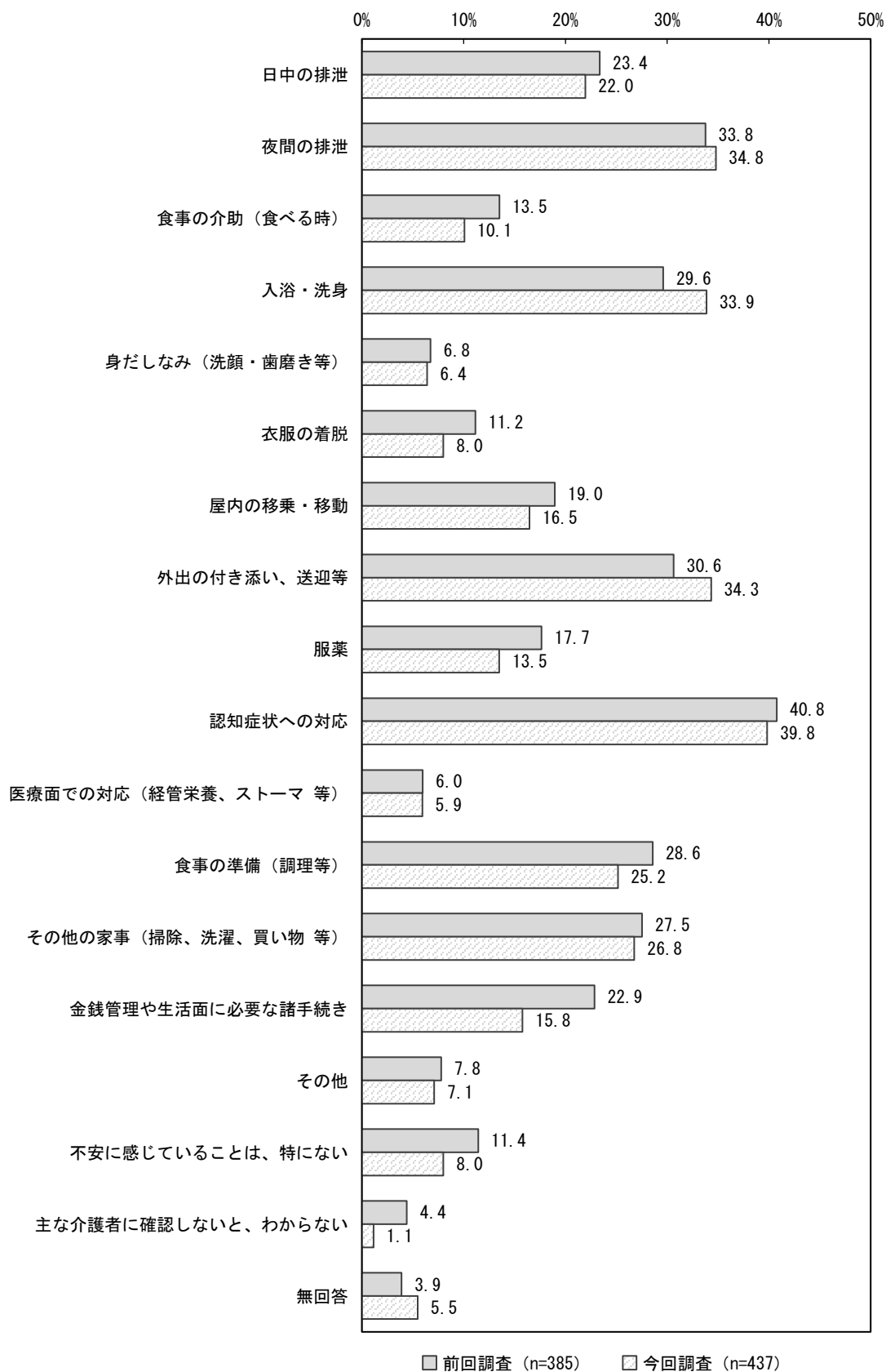
前回調査と比べると、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた『続けていける』の割合は7.7ポイント増加しています。



B票 問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

主な介護者が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が39.8%、「夜間の排泄」が34.8%、「外出の付き添い、送迎等」が34.3%、「入浴・洗身」が33.9%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が26.8%、「食事の準備（調理等）」が25.2%となっています。

前回調査と比べると、「認知症状への対応」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「食事の準備（調理等）」の割合が減少し、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」、「入浴・洗身」の割合が増加しています。



第4章 在宅生活改善調査

1. 事業所のサービス状況について

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

市内を拠点とする居宅介護支援サービスを展開する 19 事業所の状況を確認したところ、65 人のケアマネジャーが活躍しています。また、居宅介護支援サービスの利用者は 1,750 人で、そのうち、「自宅等」にお住いの利用者が 93.0%、「サービス付き高齢者向け住宅」（サ高住）、「住宅型有料老人ホーム」（住宅型有料）及び「軽費老人ホーム」にお住まいの方が 7.0%となっています。

ケアマネジャーについて		総数	割合等
1) 所属するケアマネジャーの人数		65	ケアマネ 1 人当たり 担当人数 26.9 人 (無回答を考慮：35.7 人)
利用者について		総数	割合等
2) 「自宅等(下記を除く)」にお住いの利用者数		1,628	93.0%
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住いの利用者数		122	7.0%
利用者総数（無回答 3）		1,750	100.0%

問2 貴事業所において、過去 1 年の間（令和 3 年 12 月 1 日～令和 4 年 11 月 30 日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護度別）」をご記入ください。

過去 1 年間に居所変更した利用者は 147 人で、利用者総数の 8.4%を占めています。

居所変更した利用者を要介護度別でみると、「要介護 4」の方が 33.3%、「要介護 3」の方が 23.1%となっており、「要介護 3」と「要介護 4」を合わせると全体の半分以上となっています。

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
全体	5	2	19	28	34	49	10	147
	3.4%	1.4%	12.9%	19.0%	23.1%	33.3%	6.8%	100.0%

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。

過去1年間に居所変更された利用者の行先では、「特別養護老人ホーム」が53人と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が38人、「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」が12人となっており、これらを合わせると103人で総移転者数の7割を占めています。

また、搬送先や行き先で亡くなられた方は96人となっています。

	市内	市外	合計	
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	1	6	7	(4.8%)
2) 住宅型有料老人ホーム	0	8	8	(5.4%)
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	5	1	6	(4.1%)
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	7	5	12	(8.2%)
5) グループホーム	5	0	5	(3.4%)
6) 特定施設	1	0	1	(0.7%)
7) 地域密着型特定施設	1	1	2	(1.4%)
8) 介護老人保健施設	23	15	38	(25.9%)
9) 療養型・介護医療院	0	3	3	(2.0%)
10) 特別養護老人ホーム	39	14	53	(36.1%)
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	1	0	1	(0.7%)
12) その他	1	2	3	(2.0%)
13) 行先を把握していない	-	-	8	(5.4%)
利用者の移転先合計	84	55	147	(100.0%) 60.5%
14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	-	-	96	39.5%
合計	84	55	243	100.0%

2. 在宅生活に改善が必要な利用者の状況について

1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。

問1-1 世帯類型

問1-2 現在の居所

問1-3 要支援・要介護度

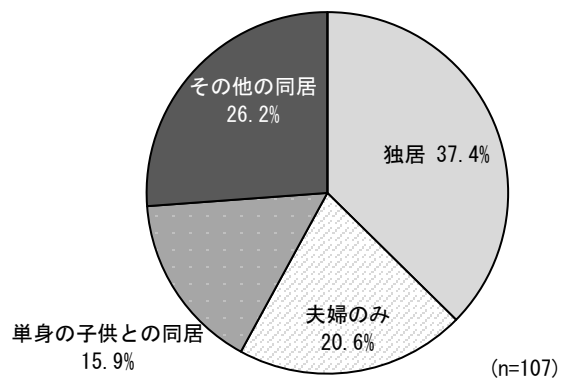
各事業所に所属しているケアマネジャーの担当の利用者のうち、現在のサービスの利用では、生活の維持が難しくなっている利用者（在宅生活に改善が必要な利用者）について、伺ったところ、利用者1,750人のうち、生活の維持が難しくなっていると思われる方は、全体の6.1%（107人）との回答をいただきました。

この107人の各属性データをみますと、世帯類型では、「独居」が37.4%と最も多く、次いで「その他の同居」が26.2%、「夫婦のみ」が20.6%、「単身の子供との同居」が15.9%となっています。

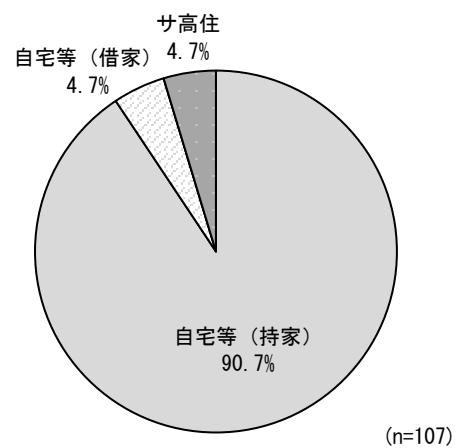
居住形態別では、「自宅等（持家）」が90.7%、「自宅等（借家）」と「サービス付き高齢者向け住宅」がともに4.7%となっています。

要介護度別でみると、「要介護2」が29.0%、「要介護3」が21.5%、「要介護1」が20.6%となっています。

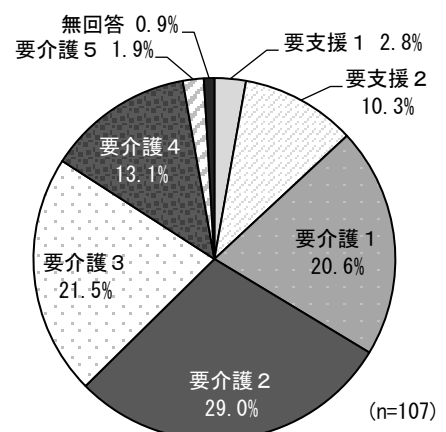
【世帯類型別在宅生活に改善が必要な利用者の状況】



【居住形態別在宅生活に改善が必要な利用者の状況】



【要介護度別在宅生活に改善が必要な利用者の状況】



2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお伺いします。

問2-1 本人の状態等に属する理由について、お答えください

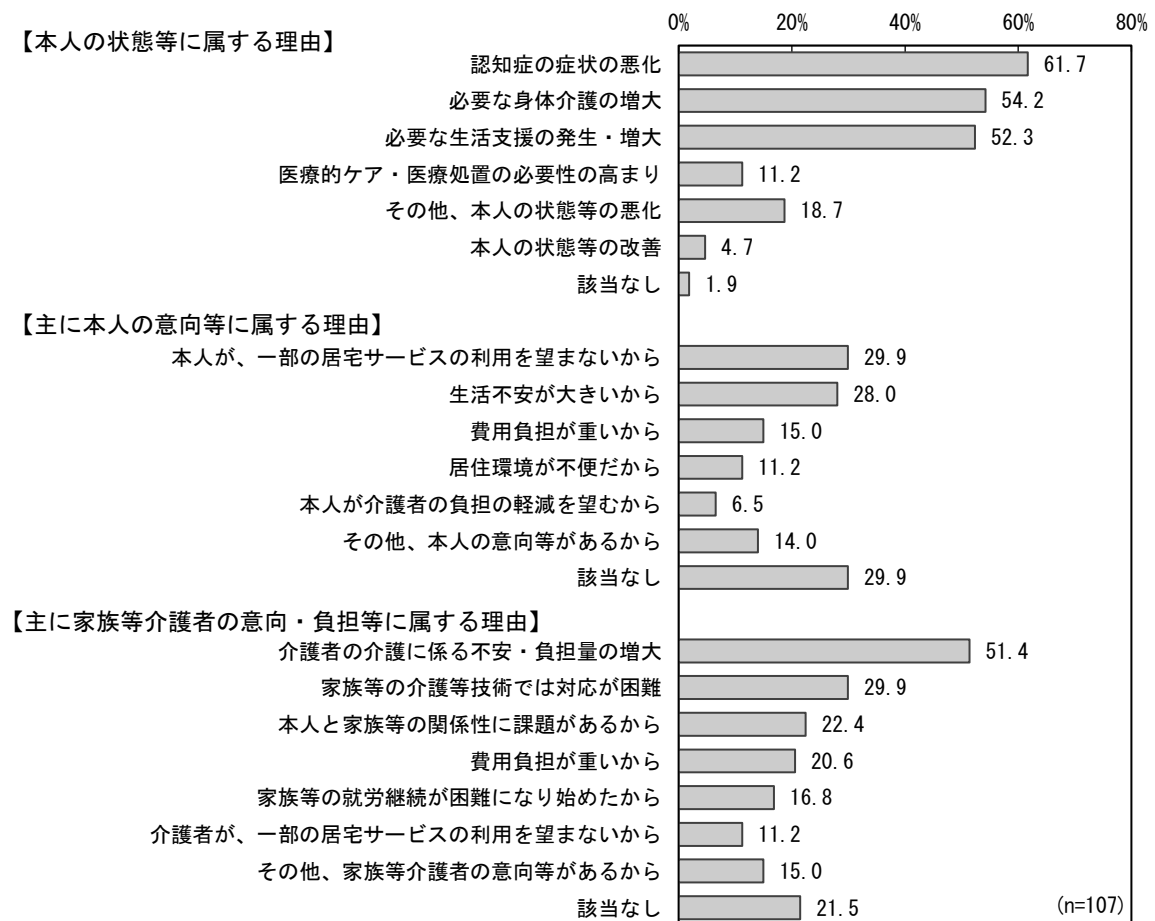
問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください

問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください

現在のサービス利用で生活の維持が難しくなっている理由として、【本人の状態等に属する理由】では、「認知症の症状の悪化」、「必要な身体介護の増大」、「必要な生活支援の発生・増大」が多く挙げられています。

【主に本人の意向等に属する理由】では、「本人が一部の居宅サービスの利用を望まないから」、「生活不安が大きいから」が多く挙げられています。

【主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由】では、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」、「家族等の介護等技術では対応が困難」が多く挙げられています。



問2-4 【問2-1で「必要な身体介護の増大」を選択の場合】理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください

問2-5 【問2-1で「認知症の症状の悪化」を選択の場合】理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください

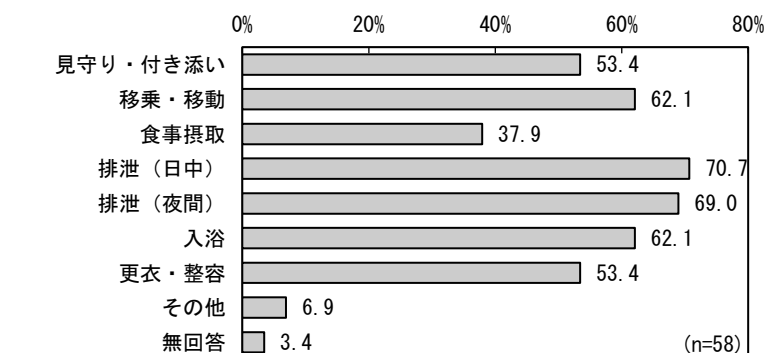
問2-6 【問2-1で「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選択の場合】理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください

【必要な身体介護の増大】となる理由では、「排泄（日中）」が70.7%と最も多く、次いで「排泄（夜間）」が69.0%となっています。

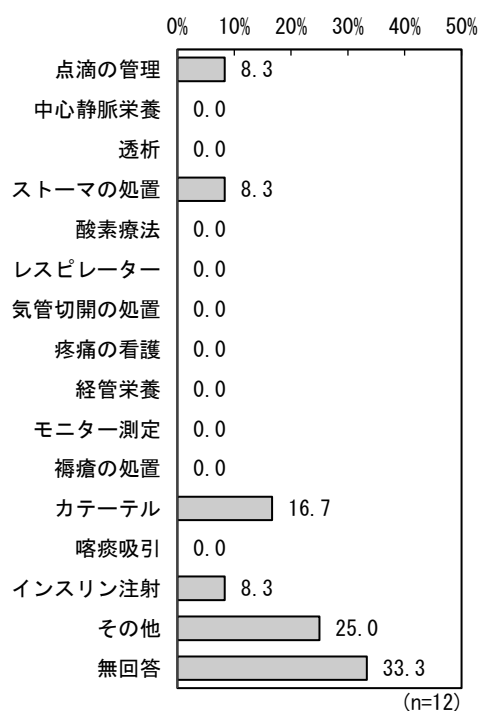
【認知症の症状の悪化】の理由では、「一人での外出が困難」が66.7%と最も多く、次いで「金銭管理が困難」、「薬の飲み忘れ」、「家事に支障がある」といった回答理由が多くなっています。

【必要となる医療的ケア・医療処置】では、「カテーテル」が16.7%と最も多くなっています。

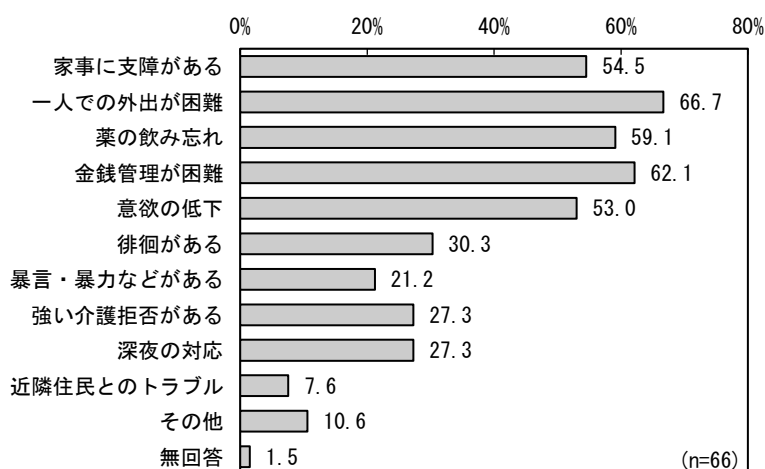
【必要な身体介護の増大】



【必要となる医療的ケア・医療処置】



【認知症の症状の悪化】



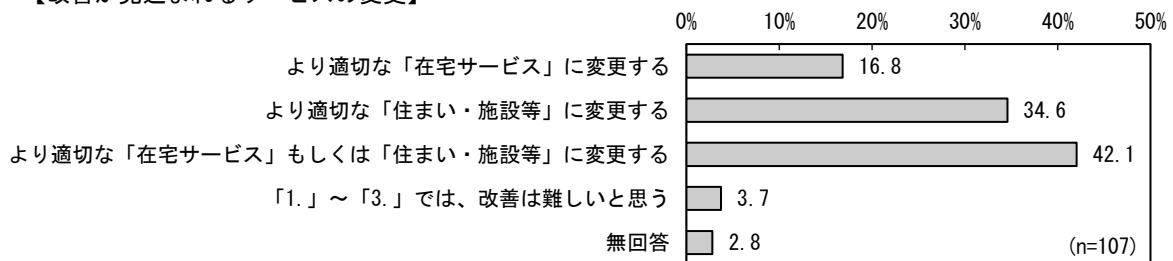
3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。

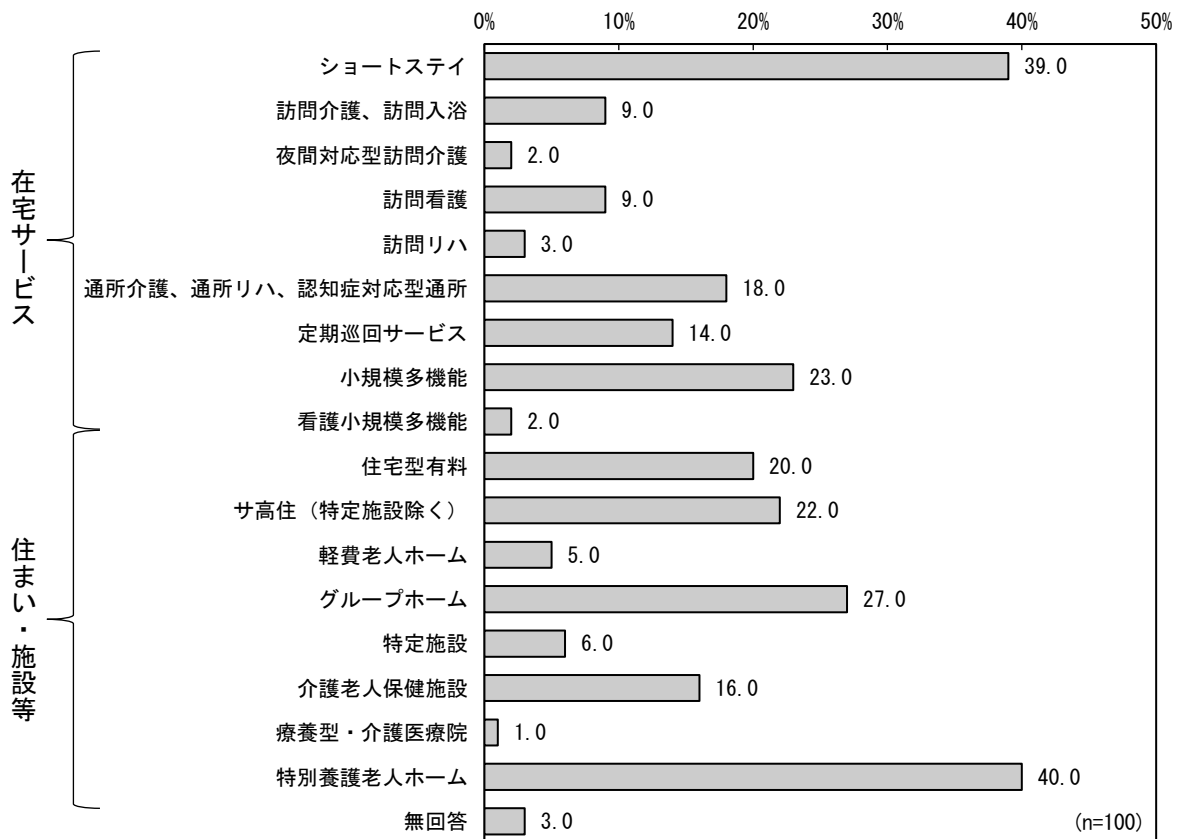
問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください

【改善が見込まれる具体的なサービスの変更】では、「より適切な在宅サービスもしくは住まい・施設等に変更する」と回答された方が42.1%と最も多く、【改善が見込まれる具体的なサービス】では、「特別養護老人ホーム」と「ショートステイ」の割合が高くなっています。

【改善が見込まれるサービスの変更】

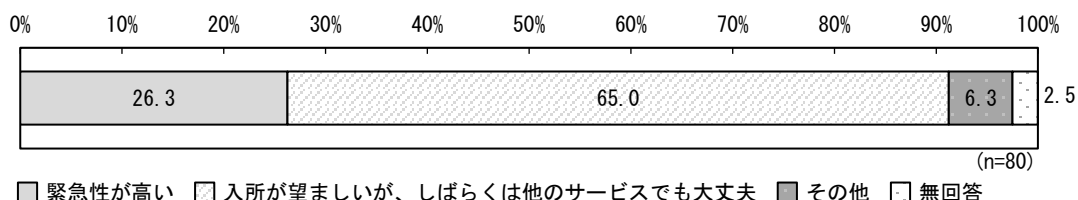


【改善が見込まれる具体的なサービス】



問3-3 【問3-2で住まい・施設等を選択の場合】利用者の入所・入居の緊急度をお答えください

「住まい・施設等」へのサービス変更の緊急度では、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」が65.0%、「緊急性が高い」が26.3%となっています。



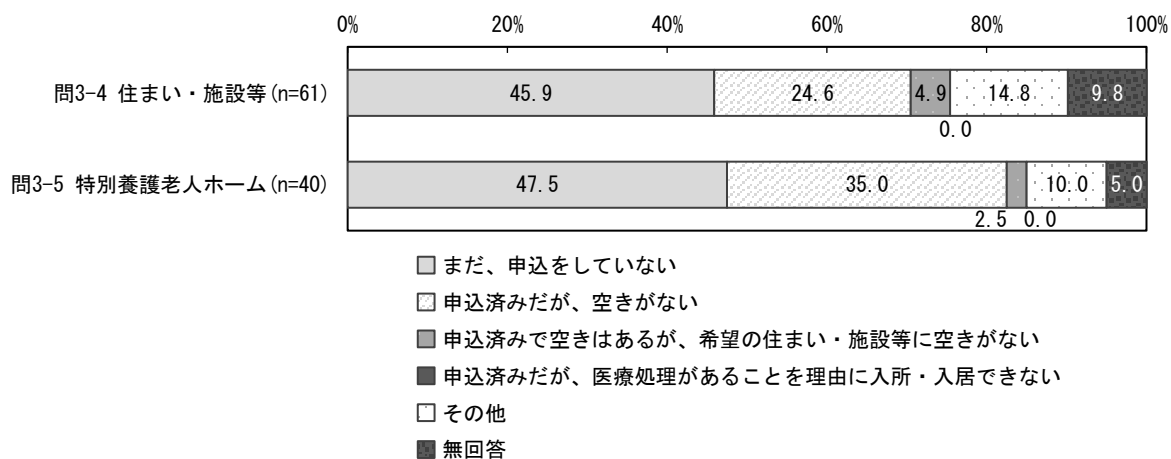
問3-4 【問3-2で「住まい・施設等」(※特養以外)を選択の場合】入所・入居できていない理由をお答えください。

問3-5 【問3-2で「住まい・施設等」(※特養)を選択の場合】特養に入所できていない理由をお答えください

特養を除く「住まい・施設等」へ入所・入居できていない理由では、「まだ申込をしていない」が45.9%、「申込済みだが、空きがない」が24.6%となっています。

また、特養へ入所できていない理由では、「まだ申込をしていない」が47.5%、「申込済みだが、空きがない」が35.0%となっています。

このことから、特に、特養での空き状況が少ないことがうかがえます。



第 5 章 居所変更実態調査

1. 事業所のサービス状況について

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください（1つに○）

回答された事業所のサービス種別は、「グループホーム」が8事業所（33.3%）と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が5事業所（20.8%）、「介護老人保健施設」が3施設（12.5%）等となっています。

	回答事業所 （数・%）	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム （特定施設除く）	サービス付き高齢者向け住宅 （特定施設除く）	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設・介護医療院	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他（養護老人ホーム等）
全体	24	1	1	2	8	1	0	3	1	5	0	2
	100.0	4.2	4.2	8.3	33.3	4.2	0.0	12.5	4.2	20.8	0.0	8.3

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください

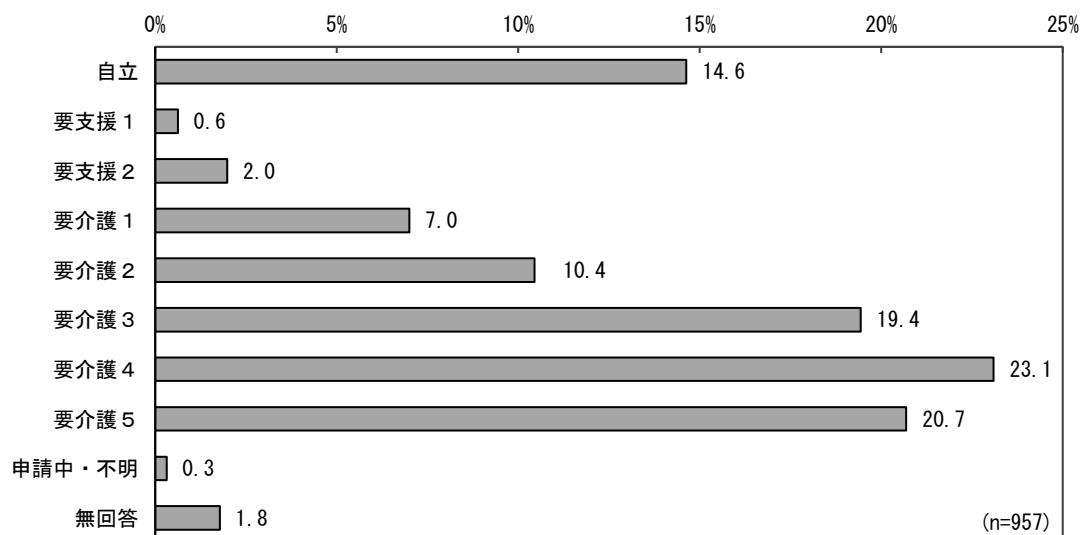
回答された事業所には、全957人が入所・入居しており、24事業所の定員数に対する入居率は、83.4%となっています。また、全施設の待機者数は386人であり、特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）は25人となっています。

定員数等	サービス付き高齢者向け住宅：居室数	77室	1,148人 （※）
	住宅型有料老人ホーム・経費老人ホーム：住宅戸数	58戸	
	上記以外の定員数	1,013人	
入所・入居者数	回答入居・入居者数	957人	
	入居率（※）	83.4%	
（貴施設等の）待機者数		386人	
特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）		25人	

※定員数等のうち、居室については1人/室、住宅戸数については1人/戸として算定

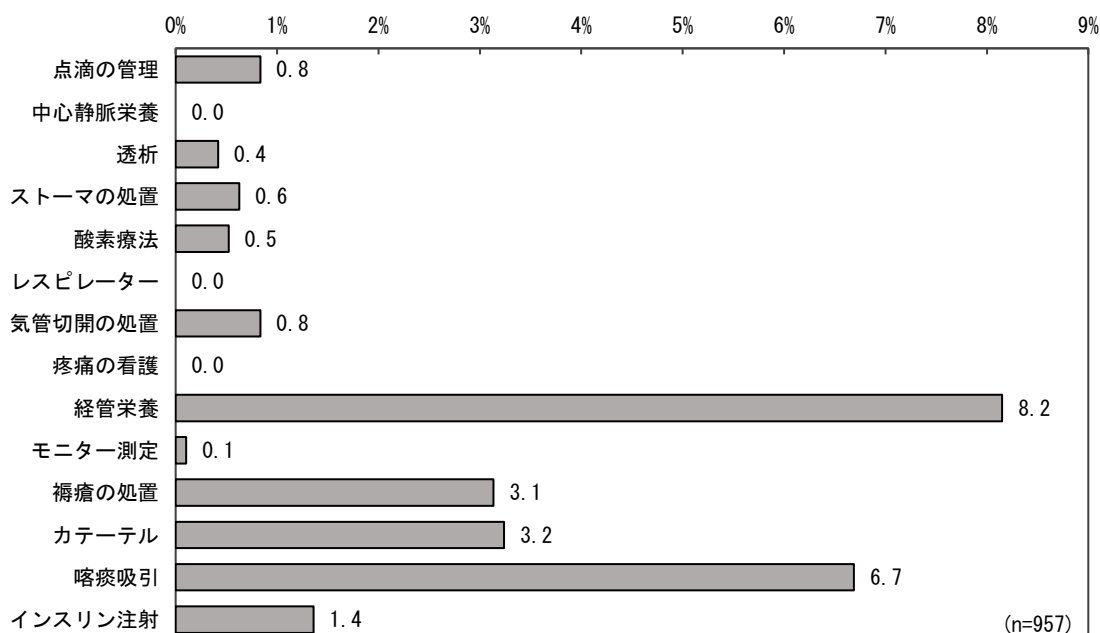
問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください（数値を記入）

施設の入所・入居者の要介護度は、「要介護4」が23.1%と最も多く、次いで「要介護5」が20.7%、「要介護3」が19.4%となっています。



問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください（数値を記入）

施設の入所・入居者の受けている医療処置ごとの人数は、「経管栄養」が8.2%と最も多く、次いで「喀痰吸引」が6.7%、「カテーテル」が3.2%、「褥瘡の処置」が3.1%となっています。



2. 居所変更された利用者の状況について

過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします

問5 過去1年間に、貴施設等に新規で入所・入居した人数をご記入ください。

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

各施設への新規入所・入居者数は、合計で277人となっています。

入所・入居する前の居場所別の傾向をみると、「市内」が57.0%、「市外」が41.6%となっており、市内・市外とも「自宅（兄弟・子ども、親戚等の家を含む）」からの入所・入居が多くなっています。

入所・入居する方の居場所	市内	市外
自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）	80(28.9%)	38(13.7%)
住宅型有料老人ホーム	0(0.0%)	0(0.0%)
軽費老人ホーム（特定施設除く）	1(0.4%)	3(1.1%)
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	5(1.8%)	1(0.4%)
グループホーム	1(0.4%)	1(0.4%)
特定施設	1(0.4%)	0(0.0%)
地域密着型特定施設	2(0.7%)	0(0.0%)
介護老人保健施設	10(3.6%)	8(2.9%)
療養型・介護医療院	24(8.7%)	9(3.2%)
特別養護老人ホーム	0(0.0%)	0(0.0%)
地域密着型特別養護老人ホーム	0(0.0%)	0(0.0%)
その他	34(12.3%)	55(19.9%)
小計	158(57.0%)	115(41.6%)
入居・入所する前の居場所を把握していない	4(1.4%)	
合計	277(100.0%)	

過去1年間の退居者についてお伺いします

問7 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に、貴施設等を退居した人の人数をご記入ください。

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、要介護度別の人数をご記入ください。

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退居先別の人数をご記入ください。

過去1年間に各施設から退居・退所した人数は、合計で302人であり、要介護度別では、「死亡」を除き、「要介護4」が16.6%、「要介護5」が13.6%となっています。

退居先別でみると、「死亡」を除き、市内の「自宅（兄弟・子ども、親戚等の家を含む）」が6.6%と最も多く、次いで市内の「療養型・介護医療院」が6.3%、市外の「療養型・介護医療院を除く病院・診療所」及び市外の「特別養護老人ホーム」がそれぞれ5.6%となっています。

	退所・退去者 (人・%)	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	死亡
全体	302	4	0	3	13	17	24	50	41	0	150
	100.0	1.3	0.0	1.0	4.3	5.6	7.9	16.6	13.6	0.0	49.7

退去先	市内	市外
自宅（兄弟・子ども、親戚等の家含む）	20（6.6%）	9（3.0%）
住宅型有料老人ホーム	0（0.0%）	0（0.0%）
軽費老人ホーム（特定施設除く）	1（0.3%）	0（0.0%）
サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	2（0.7%）	2（0.7%）
グループホーム	1（0.3%）	1（0.3%）
特定施設	0（0.0%）	0（0.0%）
地域密着型特定施設	0（0.0%）	0（0.0%）
介護老人保健施設	0（0.0%）	1（0.3%）
療養型・介護医療院	19（6.3%）	2（0.7%）
療養型・介護医療院を除く病院・診療所	15（5.0%）	17（5.6%）
特別養護老人ホーム	14（4.6%）	17（5.6%）
地域密着型特別養護老人ホーム	0（0.0%）	0（0.0%）
その他	6（2.0%）	1（0.3%）
行先を把握していない	24（7.9%）	
死亡	150（49.7%）	
合計	302（100.0%）	

問10 貴施設等の入居・入所者が、退居する理由は何ですか。退居理由として多いものを上位3つまで選んでください。

退居する理由では、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が70.8%、「その他」が66.7%、「1)～4)以外の状態像が悪化したから」が29.2%となっています。

	回答	割合(%)
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	3	12.5%
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	6	25.0%
3) 認知症の症状が悪化したから	6	25.0%
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	17	70.8%
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	7	29.2%
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	4	16.7%
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	1	4.2%
8) 費用負担が重くなったから	5	20.8%
9) その他	16	66.7%
無回答	1	4.2%
回答事業所数合計	24	100.0%

第6章 介護人材実態調査

1. 基本属性

【訪問系、施設・通所系共通】

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）をご回答ください。

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。

問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。

回答された事業所のサービスの種類別は、「訪問系」が21事業所、「施設系」が28事業所、「通所系」が30事業所となっています。

また、回答された全事業所の職員総数は946人で、サービス種別の職員数は訪問系が20.4%、施設系が52.0%、通所系が23.0%となっています。正規・非正規職員の割合をみると、正規職員が66.8%、非正規職員が33.2%となっており、施設系、通所系の正規職員がいずれも70%程度であるのに対し、訪問系は50%程度となっています。

サービスの種類		事業所数	職員数	
			正規	非正規
訪問系	訪問系サービス	19 (23.5%)	89 (54.6%)	74 (45.4%)
	小規模多機能型居宅介護	1 (1.2%)	5 (27.8%)	13 (72.2%)
	看護小規模多機能型居宅介護	0 (0.0%)	-	-
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 (1.2%)	8 (66.7%)	4 (33.3%)
	小計	21 (25.9%)	102 (52.8%)	91 (47.2%)
			193 (20.4%)	
施設系	施設・居住系サービス	28 (34.6%)	350 (71.1%)	142 (28.9%)
			492 (52.0%)	
通所系	通所系サービス	30 (37.0%)	154 (71.0%)	63 (29.0%)
			217 (23.0%)	
—	無回答	2 (2.5%)	26 (59.1%)	18 (40.9%)
			44 (4.7%)	
全体		81 (100.0%)	632 (66.8%)	314 (33.2%)
			946 (100.0%)	

問 2 - 3 令和 4 年 12 月 1 日時点で、開設から 1 年以上を経過している施設等にお伺いします。過去 1 年間（令和 3 年 12 月 1 日～令和 4 年 11 月 30 日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

問 2 - 4 問 2 - 3 の採用者・離職者について、正規・非正規別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

介護職員の過去 1 年間の採用者・離職者の状況を見ると、採用者数・離職者数がほぼ同数であり、正規・非正規別では、正規職員は採用者数より離職者数が上回り、非正規社員では採用者数より離職者数が下回っています。

年齢別では、40 歳代までは採用者数が離職者数を上回っており、50 歳代、60 歳代では採用者数より離職者数が大きく上回っています。

	採用者数		離職者数		合計	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員	採用者数	離職者数
20 歳未満	1	0	0	0	1	0
20～29 歳	9	12	8	6	21	14
30～39 歳	17	15	17	7	32	24
40～49 歳	19	13	16	9	32	25
50～59 歳	12	6	17	9	18	26
60～69 歳	8	8	11	17	16	28
70～79 歳	0	2	0	2	2	2
80 歳以上・年齢不明	0	0	0	0	0	0
小計	66	56	69	50	122	119
合計	122		119		+3	

2. 介護職員の現状について

【訪問系、施設・通所系共通】

問3 貴事業所等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアのかたを除く）について、お答えください。

（1）性別

訪問系、施設・通所系とも女性の比率が高く、訪問系より施設・通所系の方が男性の比率が高くなっています。

性別	訪問系	施設・通所系
男性	29 (15.3%)	173 (24.5%)
女性	158 (83.6%)	534 (75.5%)
無回答	2 (1.1%)	0 (0.0%)
合計	189 (100.0%)	707 (100.0%)

（2）年齢

40歳代までの職員数の割合は、訪問系より施設・通所系の方が高く、50歳代～70歳代の職員数の割合は、訪問系より施設・通所系の方が高くなっており、訪問系は40歳代以下が38.1%で50歳代以上が61.4%であるのに対して、施設・通所系は40歳代以下が58.1%で50歳代以上が41.9%となっています。

年齢	訪問系		施設・通所系		
	人数	割合	人数	割合	割合
20歳未満	0	0.0%	3	0.4%	58.1%
20～29歳	4	2.1%	55	7.8%	
30～39歳	27	14.3%	171	24.2%	
40～49歳	41	21.7%	182	25.7%	
50～59歳	53	28.0%	167	23.6%	41.9%
60～69歳	45	23.8%	105	14.9%	
70～79歳	18	9.5%	24	3.4%	
年齢不明	0	0.0%	0	0.0%	
無回答	1	0.5%	0	0.0%	
合計	189	100.0%	707	100.0%	

(3) 雇用形態

訪問系より施設・通所系の方が正規職員数の比率が高くなっています。

雇用形態	訪問系	施設・通所系
正規職員	98 (51.9%)	485 (68.6%)
非正規職員	89 (47.1%)	222 (31.4%)
無回答	2 (1.1%)	0 (0.0%)
合計	189 (100.0%)	707 (100.0%)

(4) 資格の取得、研修の終了の状況

訪問系より施設・通所系の職員の方がより高位の資格を取得している割合が高くなっています。

資格の取得、研修の終了の状況	訪問系	施設・通所系
介護福祉士（認定介護福祉士含む）	85 (45.0%)	426 (60.3%)
介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級	10 (5.3%)	63 (8.9%)
介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級	48 (25.4%)	122 (17.3%)
上記のいずれにも該当しない	43 (22.8%)	96 (13.6%)
無回答	3 (1.6%)	0 (0.0%)
合計	189 (100.0%)	707 (100.0%)

(5) 現在の施設等での勤務年数

訪問系、施設・通所系とも勤務年数1年以上の職員の割合がほぼ85%となっています。

勤務年数	訪問系	施設・通所系
1年以上	162 (85.7%)	603 (85.3%)
1年未満	19 (10.1%)	103 (14.6%)
無回答	8 (4.2%)	1 (0.1%)
合計	189 (100.0%)	707 (100.0%)

(6) 現在の施設等に勤務する直前の職場（勤務年数が1年未満の方のみ）

訪問系では、「介護以外の職場」からの転職者が42.1%で、「訪問介護・入浴、夜間対応型」及び「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」からの転職者を合わせた、これら上位3職場からの転職者の割合が89.5%を占めています。

施設・通所型では、「現在の職場が初めての勤務先」とする割合が16.5%あり、訪問系の0.0%と大きく異なっています。「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」からの転職者が35.0%で、「介護以外の職場」からの転職者の割合は訪問系のほぼ半分の24.3%となっており、これら上位3職場からの転職者の割合が75.8%を占めています。

前職(勤務年数が1年未満の方のみ)	訪問系	施設・通所系
現在の職場が初めての勤務先	0 (0.0%)	17 (16.5%)
介護以外の職場	8 (42.1%)	25 (24.3%)
特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	4 (21.1%)	36 (35.0%)
訪問介護・入浴、夜間対応型	5 (26.3%)	5 (4.9%)
小多機、看多機、定期巡回サービス	0 (0.0%)	0 (0.0%)
通所介護、通所リハ、認知症デイ	2 (10.5%)	12 (11.7%)
住宅型有料、サ高住（特定施設以外）	0 (0.0%)	4 (3.9%)
その他の介護サービス	0 (0.0%)	2 (1.9%)
無回答	0 (0.0%)	2 (1.9%)
合計	19 (100.0%)	103 (100.0%)

注) 現在の事業所での勤務年数が1年未満の方のみ対象

(7) 前職の勤務場所

訪問系は「同一の市町村内」が72.7%に対し、施設・通所系は「別の市町村内」が59.3%となっています。

前職の勤務場所	訪問系	施設・通所系
同一の市区町村内	8 (72.7%)	18 (30.5%)
別の市区町村内	2 (18.2%)	35 (59.3%)
無回答	1 (9.1%)	6 (10.2%)
合計	11 (100.0%)	59 (100.0%)

注) 現在の事業所での勤務年数が1年未満で、現職場が初めて及び介護以外の職場からの転職者を除いた職員のみ対象

(8) 前職の法人

訪問系、施設・通所系とも「別の法人・グループ」が64%前後とほぼ同じ割合となっています。

前職の法人	訪問系	施設・通所系
同一の法人・グループ	3 (27.3%)	15 (25.4%)
別の法人・グループ	7 (63.6%)	38 (64.4%)
無回答	1 (9.1%)	6 (10.2%)
合計	11 (100.0%)	59 (100.0%)

注) 現在の事業所での勤務年数が1年未満で、現職場が初めて及び介護以外の職場からの転職者を除いた職員のみ対象

(9) 過去1週間の勤務時間

訪問系では、勤務時間30時間以上の職員の割合は58.2%、20時間未満の職員の割合は28.6%に対し、施設・通所系では、勤務時間30時間以上の職員の割合が81.9%となっています。

1週間の勤務時間	訪問系	施設・通所系
10時間未満	28 (14.8%)	24 (3.4%)
10時間以上20時間未満	26 (13.8%)	37 (5.2%)
20時間以上30時間未満	13 (6.9%)	67 (9.5%)
30時間以上40時間未満	40 (21.2%)	102 (14.4%)
40時間以上	70 (37.0%)	477 (67.5%)
無回答	12 (6.3%)	0 (0.0%)
合計	189 (100.0%)	707 (100.0%)

【訪問系】

問4 直近の1週間（7日間）について、提供した時間（分）を記入してください

訪問系介護職員が直近の1週間に行っているサービス提供時間を内容別でみると、介護給付の内容別内訳では「身体介護」を行っている時間が70.8%と最も多くなっており、介護予防給付・総合事業の内容別内訳では、「その他の生活援助」が58.0%と最も多くなっています。

		身体介護	買い物	調理・配膳	その他生活援助	計
介護給付	分	28,265	1,170	3,000	7,500	39,935
	%	70.8	2.9	7.5	18.8	100.0
介護予防給付・総合事業	分	1,685	1,075	180	4,060	7,000
	%	24.1	15.4	2.6	58.0	100.0
計	分	29,950	2,245	3,180	11,560	46,935
	%	63.8	4.8	6.8	24.6	100.0

第7章 介護サービス事業所意向調査

1. 介護サービス事業所の状況について

◆サービスの種類

本市内で現在提供されている介護保険サービスでは、「居宅介護支援」が19事業所と最も多く、次いで「訪問介護」が11事業所、「短期入所生活介護」、「地域密着型通所介護」がそれぞれ10事業所となっています。また、総合事業である通所型サービス（独自）も13事業所で展開されています。

	介護保険サービス	事業所数:所	登録者数:人	定員数:人
居宅	訪問介護	11	341	—
	訪問入浴介護	1	100	—
	訪問看護	8	244	—
	訪問リハビリテーション	3	7	—
	居宅療養管理指導	0	—	—
	通所介護	8	359	—
	通所リハビリテーション	8	411	—
	短期入所生活介護	10	201	—
	短期入所療養介護（老健）	1	3	—
	短期入所療養介護（病院等）	1	14	—
	短期入所療養介護（介護医療院）	0	—	—
	特定施設入居者生活介護	1	13	—
	居宅介護支援	19	2,210	—
地域密着型	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	24	—
	夜間対応型訪問介護	0	—	—
	地域密着型通所介護	10	191	—
	認知症対応型通所介護	1	36	—
	小規模多機能型居宅介護	3	73	—
	認知症対応型共同生活介護	7	62	—
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	—	—
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	—	—
	看護小規模多機能型居宅介護	0	—	—
施設	介護老人福祉施設	7	—	387
	介護老人保健施設	3	—	260
	介護医療院	2	—	31
	介護療養型医療施設	0	—	—
	介護保険以外の施設	6	—	305
総合事業	訪問型サービス（独自）	9	—	82
	訪問型サービス（独自/定率）	3	—	6
	通所型サービス（独自）	13	—	218
	通所型サービス（独自/定率）	3	—	57
	合計	139	4,289	1,346

注）令和5年度開設予定の認知症対応型共同生活介護1事業所を含む。（※登録者数は現時点で不明のため計上せず。）

2. 今後の事業展開について

◆令和6年度から令和8年度までの事業展開意向

◆令和9年度から令和11年度までの事業展開意向

各事業所の今後の事業展開として、令和6年度から令和8年度までの3年間では、地域密着型サービスで2事業の新規参入が検討されている他、引き続き、介護医療院への転換が検討されている状況です。また、令和9年度から令和11年度までの3年間では、訪問介護で事業の縮小が検討されています。

事業拡大の背景には、利用者の増加に伴う受け入れ態勢の強化や、将来的な老年人口の増加によるニーズの拡大などが挙げられている一方、事業縮小の背景として、利用者の減少傾向に加え、今後、自己負担割合の増加により、更に利用者が減少することなどが挙げられています。

その他、現状維持と回答された事業所では、主に、利用スペースの確保や定員の増員が難しいことや、人材の確保が困難であるなどの意見が挙げられており、今回計画では、こうした現状を踏まえたうえで、展開施策の充実化等について検討していくことが重要となります。

	介護保険サービス	令和6年度～令和8年度				令和9年度～令和11年度			
		維持	拡大	縮小	新規	維持	拡大	縮小	新規
居宅	訪問介護	9	1	—	—	6	2	1	—
	訪問入浴介護	1	—	—	—	1	—	—	—
	訪問看護	5	2	—	—	4	3	—	—
	訪問リハビリテーション	1	1	—	—	1	1	—	—
	通所介護	8	—	—	—	6	—	—	—
	通所リハビリテーション	8	—	—	—	6	1	—	—
	短期入所生活介護	8	1	—	—	8	—	—	—
	短期入所療養介護（老健）	1	—	—	—	1	—	—	—
	短期入所療養介護（病院等）	1	—	—	—	—	—	—	—
	特定施設入居者生活介護	1	—	—	—	1	—	—	—
	居宅介護支援	16	2	—	—	11	1	—	—
地域密着型	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	1	—	—	1	—	—	—
	地域密着型通所介護	7	2	—	—	7	1	—	—
	認知症対応型通所介護	1	—	—	1	1	—	—	—
	小規模多機能型居宅介護	3	—	—	1	2	—	—	—
	認知症対応型共同生活介護	5	2	—	—	4	—	—	—
施設	介護老人福祉施設	7	—	—	—	6	—	—	—
	介護老人保健施設	3	—	—	—	2	—	—	—
	介護医療院	1	—	—	1	2	—	—	—
	介護保険以外の施設	6	—	—	—	6	—	—	—
総合事業	訪問型サービス（独自）	9	—	—	—	7	1	—	—
	訪問型サービス（独自/定率）	3	—	—	—	3	—	—	—
	通所型サービス（独自）	12	—	—	—	10	—	—	—
	通所型サービス（独自/定率）	2	1	—	—	2	—	—	—
合計		118	13	0	3	97	10	1	1

◇ 令和6年度から令和8年度までの事業展開意向に係る意見

【事業拡大】

- ・施設・設備・人員を充実させ、利用者数・登録者数の増加を目指す。
- ・利用者の増加に伴い、受け入れ態勢を整えるべく、人材確保の予定。

【現状維持】

- ・人材確保が困難なため、現状を維持する。
- ・現状がベストな状態である。
- ・現状の施設規模では、利用スペースの確保や定員の増員が難しい。

【新規参入】

- ・既存敷地内にサービスの新設を検討中。

◇ 令和9年度から令和11年度までの事業展開意向に係る意見

【事業拡大】

- ・老年人口の増加により、ニーズが高まることが予想される。
- ・人材の確保ができれば、事業拡大を検討する。
- ・サービスの規模拡大を計画している。

【事業縮小】

- ・利用者が減少傾向である。今後、厚生労働省からの自己負担割合が増えることにより、ますます利用者数の減少が考えられる。

【現状維持】

- ・人材確保が困難なため、現状を維持する。
- ・ニーズの収束の見通しががないため、現状を維持する。
- ・現状の施設規模では、利用スペースの確保や定員の増員が難しい。

【新規参入】

- ・既存敷地内に介護医療院の転換を検討している。(時期は未定)

【未定】

- ・人員の確保次第。

◆事業展開に向けた課題等

事業展開に向けた課題として、以下の意見がありました。

- ・人手不足の解消が必要。
- ・若い人材だけでなく、経験豊富な人材の確保も必要。
- ・職員の高齢化により、体力的な課題がある。
- ・ケアマネジャーが不足。離職防止に努める。
- ・人材の育成。教育体制も課題である。質の高いサービスの提供が課題になる。

◆自由記述（経営上の課題や介護保険制度に関する意見など）

経営上の課題や介護保険制度に関する意見など、以下の記述がありました。

- ・人材の確保と育成が必要。
- ・ケアマネ不足。ケアマネの複数人確保が必要。
- ・職員の高齢化による身体負担軽減。
- ・送迎ドライバーの人材育成。
- ・質の高いサービスを提供するための研修参加、実施していく。
- ・若い方への資格取得推進。
- ・教育体制の充実。
- ・働きやすい職場環境。
- ・福利厚生等も課題。
- ・介護職員の確保・教育・定着。
- ・看護師やリハビリ職（PT、OT、ST）それぞれが研修等を行い、統一した質の高いサービスの提供。
- ・ICT活用のためのノートパソコン・タブレットなどの資金確保。
- ・利用者の確保。
- ・利用者様が望む活動内容について。
- ・利用者様へ、サービスについての周知を包括でも積極的に行う。
- ・新規参入に伴う資金確保。
- ・ケアプラン料金が安く、利用登録と相談支援が多くてもサービスにつながらないケースが多く、常に赤字状態。
- ・固定費の増大が予測され、経費の現状維持も難しくなっている為、管理費等の諸経費の見直しの検討。
- ・福祉用具の活用と他職種との連携と協力。
- ・ベースアップ。

- ・ 3包括による「対象者チェックシート」を知らない方もいると思います。包括から積極的なアプローチをお願いしたい。
- ・ 幅広い分野でのサービス提供に努める。
- ・ 適正な支援の結果、在宅から施設等に入ったり、見取りのケースも多く、期間が短い。
- ・ 災害に強い施設づくり。

資料編

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票

はじめに

皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から、那珂市の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

那珂市では、地域の高齢者の皆様の課題を的確に把握し、今後の高齢者福祉行政に反映させるため、本調査「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施いたします。

また、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「那珂市高齢者保健福祉計画」を策定するときに、この調査の結果は、福祉サービスの種類や量を計画するための基礎資料となります。質問項目が多く、ご面倒をおかけしますが、福祉サービスの充実を図るため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年1月

那珂市長 先崎 光

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、令和5年1月31日（火）までに投函（切手不要）してください。

那珂市保健福祉部介護長寿課

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただけたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- ◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、那珂市高齢者保健福祉計画の策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、那珂市役所内で適切に管理いたします。
- ◆ただし、那珂市高齢者保健福祉計画の策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に集計結果を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和4年12月1日現在、那珂市にお住まいの要介護認定（要介護度1～5）を受けていない65歳以上の方から、3,000名を無作為に抽出しています。
2. ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒にご回答いただいても構いません。
3. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号に○をつけてください。また、数字を記入する欄は右詰め（例

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
4. この調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。

【問合せ先】那珂市保健福祉部介護長寿課 高齢者支援グループ
〒311-0192 那珂市福田1819番地5
電話：029-298-1111（内線132・133）
FAX：029-295-4244

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

調査票を記入されたのはどなたですか（1つのみ）	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____）	
3. その他（ _____ ）	
あて名のご本人の性別について教えてください（1つのみ）	
1. 男性	2. 女性
あて名のご本人の年齢について教えてください（1つのみ）	
1. 65歳未満	2. 65～69歳
3. 70～74歳	4. 75～79歳
5. 80～84歳	6. 85～89歳
7. 90～94歳	8. 95～99歳
9. 100歳以上	
あて名のご本人の要支援認定について教えてください（1つのみ）	
1. 要支援2	2. 要支援1
3. 介護予防・日常生活支援総合事業対象者	4. 一般高齢者

設問1 あなたのご家族や生活状況について						
問1	家族構成を教えてください（1つのみ）					
	<table> <tr> <td>1. 1人暮らし</td> <td>2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）</td> </tr> <tr> <td>3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）</td> <td>4. 息子・娘との2世帯</td> </tr> <tr> <td colspan="2">5. その他</td> </tr> </table>	1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	4. 息子・娘との2世帯	5. その他
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）					
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	4. 息子・娘との2世帯					
5. その他						

設問 2 からだを動かすことについて	
問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (1つのみ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つのみ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問3	15分位続けて歩いていますか (1つのみ) 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問4	過去1年間に転んだ経験がありますか (1つのみ) 1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
問5	転倒に対する不安は大きいですか (1つのみ) 1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
問6	週に1回以上は外出していますか (1つのみ) 1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上
問7	昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つのみ) 1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない
問8	外出を控えていますか (1つのみ) 1. はい ⇒問8-1へ 2. いいえ ⇒問9へ
問8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも) 1. 病気 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) 3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配 (失禁など) 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) 6. 目の障害 7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない 10. その他 ()	

問9	外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）		
	1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
	4. 自動車（自分で運転）	5. 自動車（人に乗せてもらう）	6. 電車
	7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
	10. 電動車いす（カート）	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
	13. その他（ ）		

設問3 食べることについて	
問1	身長・体重を教えてください（数字を記入） 身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
問2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問3	お茶や汁物などでむせることがありますか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問4	口の渇きが気になりますか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問5	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問6	噛み合わせは良いですか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ

問7	歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（1つのみ） （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です） 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 ⇒問7-1へ 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし ⇒問8へ 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 ⇒問7-1へ 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし ⇒問8へ
	問7-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問8	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問9	どなたかと食事をとにする機会がありますか（1つのみ） 1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない

設問4 毎日の生活について	
問1	物忘れが多いと感じますか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問3	今日が何月何日かわからないときがありますか（1つのみ） 1. はい 2. いいえ
問4	バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つのみ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問5	自分で食品・日用品の買い物をしていますか（1つのみ） 1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

<p>問 18</p>	<p>生きがいがありますか（1つのみ）</p> <p>1. 生きがいあり → ()</p> <p>2. 思いつかない</p>
<p>問 19</p>	<p>日常生活の中で困ったことがありますか（いくつでも）</p> <p>1. 税金の支払いや公共機関の手続き 2. 財産やお金の管理</p> <p>3. 近くで買い物をする場所がない 4. 外出の際の移動手段</p> <p>5. 買い物に行くのが困難（行けない） 6. 電化製品の扱い方</p> <p>7. 食事の準備 8. 日々のゴミ出し</p> <p>9. 洗濯 10. 掃除</p> <p>11. 日常の力仕事（家具の移動など） 12. 庭の手入れ</p> <p>13. ペットの世話 14. その他 ()</p> <p>15. 特に困っていることはない</p>

設問 5 地域での活動について	
問1	<p>以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか</p> <p>(1) ボランティアのグループ (1つのみ)</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回</p> <p>4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
	<p>(2) スポーツ関係のグループやクラブ (1つのみ)</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回</p> <p>4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
	<p>(3) 趣味関係のグループ (1つのみ)</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回</p> <p>4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
	<p>(4) 学習・教養サークル (1つのみ)</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回</p> <p>4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
	<p>(5) 介護予防のための通いの場 (ふれあい・いきいきサロンなど) (1つのみ)</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回</p> <p>4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
	<p>(6) 高齢者クラブ (1つのみ)</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回</p> <p>4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
	<p>(7) 町内会・自治会 (1つのみ)</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回</p> <p>4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>
	<p>(8) 収入のある仕事 (1つのみ)</p> <p>1. 週4回以上 2. 週2～3回 3. 週1回</p> <p>4. 月1～3回 5. 年に数回 6. 参加していない</p>

問2	<p>地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>参加者として</u>参加してみたいと思いますか（1つのみ）</p> <p>1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している</p>
問3	<p>地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味などのグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>企画・運営（お世話役）として</u>参加してみたいと思いますか（1つのみ）</p> <p>1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している</p>

設問 6	<p>たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします</p>
問1	<p>あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>
問2	<p>反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>
問3	<p>あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>
問4	<p>反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>

問5	<p>家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）</p> <p>1. 自治会・町内会・高齢者クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員</p> <p>3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師</p> <p>5. 地域包括支援センター・市役所 6. その他（ ）</p> <p>7. そのような人はいない</p>
問6	<p>友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）</p> <p>1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある</p> <p>4. 年に何度かある 5. ほとんどない</p>
問7	<p>この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つのみ）</p> <p>1. 0人（いない） 2. 1～2人 3. 3～5人</p> <p>4. 6～9人 5. 10人以上</p>
問8	<p>よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）</p> <p>1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ</p> <p>3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚</p> <p>5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティアなどの活動での友人</p> <p>7. その他（ ） 8. いない</p>

設問7 健康について	
問1	<p>現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つのみ）</p> <p>1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない</p>
問2	<p>あなたは、現在どの程度幸せですか（1つのみ） （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数に○をつけてください）</p> <p style="text-align: center;"> とても不幸 とても幸せ </p> <p style="text-align: center;"> 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 </p>

問4	<p>あなたが、もし介護が必要な状態となった場合、どこで生活したいと思いますか（1つのみ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護サービスを利用して、自宅で生活したい 2. 医療機関（病院や診療所）で生活したい 3. 特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設で生活したい 4. その他（<input type="text"/>） 5. わからない <p>※特別養護老人ホームとは、寝たきりや認知症のため自宅での生活が困難で、常時介護を必要とする方に対し、食事・入浴・排せつなどの日常生活上の支援や介護を行う施設です。</p> <p>※グループホームとは、認知症の方を対象に家庭的な雰囲気の中、少人数で共同生活をする施設です。認知症の研修を受けたスタッフによる日常生活上の支援が受けられます。</p>
問5	<p>あなたが、人生の最期を迎えるとき、どこで迎えたいですか（1つのみ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自宅 2. 介護施設（老人ホームなど） 3. 医療施設（病院やホスピスなど） 4. その他（<input type="text"/>） 5. わからない

設問9 認知症にかかる相談窓口の把握について	
問1	<p>認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか（1つのみ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ
問2	<p>認知症に関する相談窓口を知っていますか（1つのみ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はい 2. いいえ
問3	<p>那珂市では、認知症に関する理解と見守りのため、「認知症サポーター」の養成を行っています。このことを知っていますか（1つのみ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 知っている 2. 知らない <p>※認知症サポーターとは、認知症に関する知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人やその家族に対し、できる範囲での手助けを行う者のことです。</p>

<p>問4</p>	<p>那珂市では、認知症の人や家族に対する取組として、チームオレンジの設立を目指しています。チームオレンジに参加してみたいと思いますか（1つのみ）</p> <p>1. 参加してみたい 2. 参加してみたいとは思わない</p> <p>※チームオレンジとは、認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面（見守り、声かけ、話し相手等）の支援を早期から行う取組のことです。</p>
<p>問5</p>	<p>認知症についてどのようなことに関心がありますか（いくつでも）</p> <p>1. 認知症の症状について 2. 認知症の予防について 3. 認知症の介護の仕方について 4. 日常生活上の注意点について 5. 若年性認知症について 6. 認知症に関する相談窓口 7. 認知症高齢者が利用できるサービスについて 8. 認知症の人や家族を支える集いの場について 9. その他（ ） 10. 特に関心はない</p>

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないか、もう一度お確かめください。

調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和5年1月31日（火）までに投函（切手不要）してください。

在宅介護実態調査 調査票

※調査票の該当する番号に○を記入しご回答ください。

【この調査票を記入していただいている方は、どなたですか】（複数選択可）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 | |

A票 調査対象者ご本人様について、お伺いします

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- | | | | |
|----------------------------|---|---------|---------|
| 1. ない | } | 問8(裏面)へ | |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | | | |
| 3. 週に1～2日ある | | } | 問3～問13へ |
| 4. 週に3～4日ある | | | |
| 5. ほぼ毎日ある | | | |

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、スーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物(宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともを含みます。

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 11 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中) | 2. 心疾患(心臓病) |
| 3. 悪性新生物(がん) | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患(透析) | 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む) | 8. 変形性関節疾患(膝関節・股関節等) |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病(パーキンソン病を除く) | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) | 14. その他() |
| 15. なし | 16. わからない |

問 12 ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している 2. 利用していない

※「訪問診療」とは、医師が定期的にご自宅に訪問し、診療を行うことです。訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択)

1. 利用している 2. 利用していない

● 問 13 で「2」を回答した場合は、問 14 もご回答ください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない | 2. 本人にサービス利用の希望がない |
| 3. 家族が介護をするため必要ない | 4. 以前、利用していたサービスに不満があった |
| 5. 利用料を支払うのが難しい | 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない |
| 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため | |
| 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない | 9. その他 |

● 問2で「2」～「5」を回答し、さらに「主な介護者」がいる場合は、「主な介護者」の方が B 票をご回答・ご記入ください。

● 「主な介護者」の方が記入できない場合は、ご本人(調査対象者の方)様がご回答・ご記入ください。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

※主な介護者様、又はご本人様が調査票の該当する番号に○を記入しご回答ください。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問5へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問5へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可)

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など) |
| 5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど) | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問4 問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票記入後は、3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、
令和5年1月31日(火)までに投函(切手不要)してください。

3. 在宅生活改善調査 調査票

在宅生活改善調査 事業所票

※ 令和4年12月1日現在の状況について、ご回答ください。

はじめに貴事業所名と代表のメールアドレスをご記入ください。

事業所名	[_____]	代表メールアドレス	[_____]
------	-----------	-----------	-----------

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

1) 所属するケアマネジャーの人数	[_____] 人
2) 「自宅等（3）を除く）」にお住まいの利用者数	[_____] 人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	[_____] 人

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数（要介護別）」をご記入ください。[※ 一時的に入院して自宅に戻ったかた、現在入院中のかたは含めないでください。]

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人★

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に「自宅等（※サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数（行き先別）」をご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた 1)～13) の合計と、問2でご記入いただいた合計人数（★欄）が一致することをご確認ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	[_____] 人	[_____] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[_____] 人	[_____] 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	[_____] 人	[_____] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[_____] 人	[_____] 人
5) グループホーム	[_____] 人	[_____] 人
6) 特定施設	[_____] 人	[_____] 人
7) 地域密着型特定施設	[_____] 人	[_____] 人
8) 介護老人保健施設	[_____] 人	[_____] 人
9) 療養型・介護医療院	[_____] 人	[_____] 人
10) 特別養護老人ホーム	[_____] 人	[_____] 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	[_____] 人	[_____] 人
12) その他	[_____] 人	[_____] 人
13) 行先を把握していない	[_____] 人	
14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	[_____] 人	

在宅生活改善調査 利用者票

「自宅」「作業室」「在宅型有料」「軽費老人ホーム」における利用は、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用種別」の対象です。

例えば「個別は身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の範囲では対応が困難であり、訪問介護サービスの利用がより適切と思われる」という場合は、「訪問介護の範囲が狭くなったため、グループホームへの入居がより適切と思われる」となれば対象です。

利用種別	利用状況	利用理由	利用目的	利用内容	利用状況	利用内容	利用目的	利用内容	利用状況	利用内容	利用目的	利用内容	利用状況	利用内容	利用目的	利用内容	利用状況	利用内容	
1. 対象となる利用者の状況等について、お問いします。	1. 対象となる利用者の状況等について、お問いします。	2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お問いします。	3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	4. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	5. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	6. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	7. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	8. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	9. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	10. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	11. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	12. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	13. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	14. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	15. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	16. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	17. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	18. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。	19. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お問いします。

居所変更実態調査

※ 令和4年12月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 住宅型有料老人ホーム | 2. 軽費老人ホーム（特定施設除く） |
| 3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く） | 4. グループホーム |
| 5. 特定施設 | 6. 地域密着型特定施設 |
| 7. 介護老人保健施設 | 8. 介護療養型医療施設・介護医療院 |
| 9. 特別養護老人ホーム | 10. 地域密着型特別養護老人ホーム |

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

1) 施設等の名称	[_____]
2) 代表メールアドレス	[_____]
3) 定員数など	[_____] [人・戸・室] ※該当する単位に○
4) 入所・入居者数	[_____] 人
5) (貴施設等の) 待機者数	[_____] 人
6) 特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)	[_____] 人 ※特養・地域密着型特養は回答不要

※ 「3) 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※ 5)と6)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「3) 入所・入居者数」が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
[_____]人	[_____]人	[_____]人	[_____]人	[_____]人	[_____]人	[_____]人	[_____]人	[_____]人

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

1) 点滴の管理	[_____] 人	2) 中心静脈栄養	[_____] 人
3) 透析	[_____] 人	4) ストーマの処置	[_____] 人
5) 酸素療法	[_____] 人	6) レスピレーター	[_____] 人
7) 気管切開の処置	[_____] 人	8) 疼痛の看護	[_____] 人
9) 経管栄養	[_____] 人	10) モニター測定	[_____] 人
11) 褥瘡の処置	[_____] 人	12) カテーテル	[_____] 人
13) 喀痰吸引	[_____] 人	14) インスリン注射	[_____] 人

ここからは、**過去1年間の新規の入所・入居者**についてお伺いします。

問5 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等に入所・入居しているかたで、一時的な入院等で貴施設等に戻ったかたは含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計）

[] 人 ★

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、**入所・入居する前の居場所別の人数**をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「14) 合計」と、問5でご記入いただいた「新規の入所・入居者数（合計）」（★欄）が一致することをご確認ください。

※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご記入ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	[] 人	[] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[] 人	[] 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	[] 人	[] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[] 人	[] 人
5) グループホーム	[] 人	[] 人
6) 特定施設	[] 人	[] 人
7) 地域密着型特定施設	[] 人	[] 人
8) 介護老人保健施設	[] 人	[] 人
9) 療養型・介護医療院	[] 人	[] 人
10) 特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
12) その他	[] 人	[] 人
13) 入居・入所する前の居場所を把握していない	[] 人	
14) 合計	[] 人 ★	

ここからは、**過去1年間の退居者**についてお伺いします。

問7 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）に、貴施設等を退居した人の人数をご記入ください。[※ なお、一時的な入院等で貴施設等に戻ったかた、現在一時的に入院中のかた（貴施設等との契約が継続しているかた）は含めないでください。]

退居者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む） [] 人 ☆

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、**要介護度別の人数**をご記入ください。

※ 死亡（搬送先での死亡を含む）した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退居者数（合計）」（☆欄）が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人
要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計	
[] 人	[] 人	[] 人	[] 人	[] 人 ☆	

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、**退居先別の人数**をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「16）合計」と、問7でご記入いただいた「退居者数（合計）」（☆欄）が一致することをご確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	[] 人	[] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[] 人	[] 人
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	[] 人	[] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[] 人	[] 人
5) グループホーム	[] 人	[] 人
6) 特定施設	[] 人	[] 人
7) 地域密着型特定施設	[] 人	[] 人
8) 介護老人保健施設	[] 人	[] 人
9) 療養型・介護医療院	[] 人	[] 人
10) 「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）	[] 人	[] 人
11) 特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	[] 人	[] 人
13) その他	[] 人	[] 人
14) 行先を把握していない	[] 人	
15) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	[] 人	
16) 合計	[] 人 ☆	

問10 貴施設等の入居・入所者が、退居する理由は何ですか。退居理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する口に✓を付けてください。

	退居理由「上位3つ」に✓		
	第1位	第2位	第3位
1) <u>必要な生活支援</u> が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) <u>必要な身体介護</u> が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3) <u>認知症の症状</u> が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) <u>医療的ケア・医療処置の必要性</u> が高まったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6) 入所・入居者の <u>状態等</u> が改善したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7) 入所・入居者が、 <u>必要な居宅サービスの利用を望まなかった</u> から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) <u>費用負担</u> が重くなったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. 介護人材実態調査 調査票

【介護人材実態調査票 事業所票】

※ **令和4年12月1日現在の状況**について、ご回答ください。

はじめに貴事業所名と代表のメールアドレスをご記入ください。

事業所名	[_____]	代表メールアドレス	[_____]
------	-----------	-----------	-----------

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている施設等）で行うサービスについて、ご回答ください。（1つに○）

1. 施設・居住系サービス

（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）

2. 通所系サービス

（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けているかたに限ります。（ボランティアのかたは含みません。）

※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	[_____] 人	非正規職員	[_____] 人
------	-------------	-------	-------------

問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

開設時期	西暦 [_____] 年 [____] 月
------	---------------------------

問2-3 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。

過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

採用者数	[_____] 人	離職者数	[_____] 人
------	-------------	------	-------------

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
20～29歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
30～39歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
40～49歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
50～59歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
60～69歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
70～79歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
年齢不明	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人

問3 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアのかたを除く）について、お答えください。

回答方法	※ 番号1つ記載				※ 数値を記入		※ 番号1つ記載			
	設問	(1) 資格の取得、研修の修了の状況	(2) 雇用形態	(3) 性別	(4) 年齢	(5) 過去1週間の勤務時間	(6) 現在の施設等での勤務年数	(7) 現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を言む	(8) 直前の職場について	
選択肢		1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む） 2. 介護職員実務者研修修了または (H) 介護職員基礎研修修了または (H) ヘルパー1級 3. 介護職員初任者研修修了、または (H) ヘルパー2級 4. 上記のいずれも該当しない	1. 正職員 (※期間の定めのない契約) 2. 非正規職員 (※期間の定めのある契約)	1. 男性 2. 女性	1. 20歳未満 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上 8. 不明	※ 残業時間を 含む。休憩時間 は除く。	1. 1年以上 ⇒【回答終了】 2. 1年未満 ⇒【(7)へ】	1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【回答終了】 2. 介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 5. 小多機能、看多機能、定期巡回+ピス 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8. その他の介護サービス ⇒【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】	1. 現在の施設等と、同一の市区町村内 2. 現在の施設等と、別の市区町村内	1. 現在の施設等と、同一の法人・グループ 2. 現在の施設等と、別の法人・グループ
		1	1	1	3	40 時間	2	2	1	2
01						時間				
02						時間				
03						時間				
04						時間				
05						時間				
06						時間				
07						時間				
08						時間				
09						時間				
10						時間				
11						時間				
12						時間				
13						時間				
14						時間				
15						時間				
16						時間				
17						時間				
18						時間				
19						時間				
20						時間				
21						時間				
22						時間				
23						時間				
24						時間				
25						時間				
26						時間				
27						時間				
28						時間				
29						時間				
30						時間				
31						時間				
32						時間				
33						時間				
34						時間				
35						時間				
36						時間				
37						時間				
38						時間				
39						時間				
40						時間				
41						時間				
42						時間				
43						時間				
44						時間				
45						時間				
46						時間				
47						時間				
48						時間				
49						時間				
50						時間				

【介護人材実態調査票 事業所票】

※ **令和4年12月1日現在の状況**について、ご回答ください。

はじめに貴事業所名と代表のメールアドレスをご記入ください。

事業所名	[_____]	代表メールアドレス	[_____]
------	-----------	-----------	-----------

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。（1つに○）

1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
2. 小規模多機能型居宅介護
3. 看護小規模多機能型居宅介護
4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けているかたに限ります。（ボランティアのかたは含みません。）

※ また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

正規職員	[_____] 人	非正規職員	[_____] 人
------	-------------	-------	-------------

問2-2 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

開設時期	西暦 [_____] 年 [____] 月
------	---------------------------

問2-3 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を、ご記入ください。

採用者数	[_____] 人	離職者数	[_____] 人
------	-------------	------	-------------

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

年齢 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
20～29歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
30～39歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
40～49歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
50～59歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
60～69歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
70～79歳	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人
年齢不明	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人	[_____] 人

【介護人材実態調査票 職員票】

※ この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う**介護職員**のかた（非常勤含む。ボランティア除く）が対象です。

※ **令和4年12月1日現在の状況**について、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに○）

1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
2. 小規模多機能型居宅介護
3. 看護小規模多機能型居宅介護
4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください（1つに○）。

1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む）
2. 介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級
3. 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級
4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態 (1つに○)	1. 正規職員（※ 期限の定めのない契約） 2. 非正規職員（※ 期限の定めのある契約）
2) 性別（1つに○）	1. 男性 2. 女性
3) 年齢（数値を記入）	[] 歳
4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入） ※ 問1で回答した勤務先における時間	[] 時間 ※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。
5) 現在の事業所での勤務年数 (数値を記入)	1. 1年以上 ⇒ <u>裏面に回答</u> 2. 1年未満 ⇒ <u>問4と裏面に回答</u>

問4 問3の5)で「2.」と回答されたかたに、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください（1つに○）。

1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒ **【裏面に回答】**
2. 介護以外の職場 ⇒ **【裏面に回答】**
3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
4. 訪問介護・入浴、夜間対応型
5. 小多機、看多機、定期巡回サービス
6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ
7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外）
8. その他の介護サービス
⇒ **【「3.」～「8.」の場合は問5へ】**

問5 問4で「3.」～「8.」と回答されたかたに、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所（1つに○）	1. 現在の事業所と、 <u>同一の市区町村内</u> 2. 現在の事業所と、 <u>別の市区町村内</u>
2) 法人（1つに○）	1. 現在の事業所と、 <u>同一の法人・グループ</u> 2. 現在の事業所と、 <u>別の法人・グループ</u>

⇒ 裏面もご回答ください

【職員票（訪問介護員向け）】

裏面

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されているかたにお聞きします。

※直近の1週間（7日間）について、提供した時間（分）を記入してください。

（例：水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を記入してください）

※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間を含まない）。

※障害サービスの提供は除いてください。

※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。

※記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

■介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護 [※]		生活援助									
			買い物 <small>（移動時間を含まない）</small>		調理・配膳		その他の生活援助					
記入例	3	0	分	2	0	分	4	5	分	2	0	分
月			分			分			分			分
火			分			分			分			分
水			分			分			分			分
木			分			分			分			分
金			分			分			分			分
土			分			分			分			分
日			分			分			分			分
週の合計			分			分			分			分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護 [※]		生活援助									
			買い物 <small>（移動時間を含まない）</small>		調理・配膳		その他の生活援助					
月			分			分			分			分
火			分			分			分			分
水			分			分			分			分
木			分			分			分			分
金			分			分			分			分
土			分			分			分			分
日			分			分			分			分
週の合計			分			分			分			分

※自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む

6. 介護サービス事業所意向調査 調査票

個別票①(居宅サービス)

- ※ 提供しているサービスの種類ごとに記入してください。
- ※ 新規参入の場合は、提供予定のサービスについて記入してください。この場合、事業所名、登録(契約)者数及び利用者数の推移は記入不要です。
- ※ 提供又は提供予定のサービスが複数ある場合は、シートをコピーしてご使用ください。

回答者氏名:

連絡先:

法人名		事業所名	
事業所の代表メールアドレス			
サービス種類		登録(契約)者数(令和4年12月末現在)	人
利用者数の推移(月間の延べ利用者数を記入してください。)			
令和3年3月	人	令和4年3月	人
		令和4年12月	人

令和6年度から令和8年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

令和9年度から令和11年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

事業展開に向けた課題等

--

個別票②(地域密着型サービス)

- ※ 提供しているサービスの種類ごとに記入してください。
- ※ 新規参入の場合は、提供予定のサービスについて記入してください。この場合、事業所名、登録(契約)者数及び利用者数の推移は記入不要です。
- ※ 提供又は提供予定のサービスが複数ある場合は、シートをコピーしてご使用ください。

回答者氏名:

連絡先:

法人名		事業所名	
サービス種類		登録(契約)者数(令和4年12月末現在)	人
事業所の代表メールアドレス			
利用者数の推移(月間の延べ利用者数を記入してください。)			
令和3年3月	人	令和4年3月	人
		令和4年12月	人

令和6年度から令和8年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

令和9年度から令和11年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

事業展開に向けた課題等

--

個別票③(施設サービス)

- ※ 提供しているサービスの種類ごとに記入してください。
- ※ 新規参入の場合は、提供予定のサービスについて記入してください。この場合、施設名、定員数及び待機者数の推移は記入不要です。
- ※ 提供又は提供予定のサービスが複数ある場合は、シートをコピーしてご使用ください。

回答者氏名:

連絡先:

法人名		施設名	
サービス種類		定員数(令和4年12月末現在)	人
事業所の代表メールアドレス			
待機者数の推移			
令和3年3月末 現在	人	令和4年3月末 現在	人
		令和4年12月末 現在	人

令和6年度から令和8年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

令和9年度から令和11年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

事業展開に向けた課題等

--

個別票④(介護予防・生活支援サービス(総合事業))

- ※ 提供しているサービスの種類ごとに記入してください。
- ※ 新規参入の場合は、提供予定のサービスについて記入してください。この場合、事業所名、登録(契約)者数及び利用者数の推移は記入不要です。
- ※ 提供又は提供予定のサービスが複数ある場合は、シートをコピーしてご使用ください。

回答者氏名:

連絡先:

法人名		事業所名	
サービス種類		登録(契約)者数(令和4年12月末現在)	人
事業所の代表メールアドレス			
利用者数の推移(月間の延べ利用者数を記入してください。)			
令和3年3月	人	令和4年3月	人
		令和4年12月	人

令和6年度から令和8年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

令和9年度から令和11年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

事業展開に向けた課題等

--

個別票⑤(介護保険以外の施設)

- ※ 養護老人ホーム、盲老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、介護付有料老人ホーム及び住宅型有料老人ホームについて、施設の種類ごとに記入してください。
- ※ 新規参入の場合は、開設予定の施設について記入してください。この場合、施設名、定員数及び入所(入居)者数は記入不要です。
- ※ 既設又は開設予定の施設が複数ある場合は、シートをコピーしてご使用ください。

回答者氏名:

連絡先:

法人名		施設名	
事業所の代表メールアドレス			
施設の種類の			
定員数(令和4年12月末現在)	人	入所(入居)者数(令和4年12月末現在)	人

令和6年度から令和8年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

令和9年度から令和11年度までの事業展開意向

区分 (いずれか1つに○を記入)	具体的な内容 (現状維持の理由、事業拡大・縮小・新規参入の場合の時期や規模等を記入してください。)
現状維持	
事業拡大	
事業縮小	
新規参入	
未定	

事業展開に向けた課題等

--

自由記述

※ 経営上の課題や介護保険制度に関する意見など、ご自由に記入してください。

那珂市高齢者保健福祉計画の策定に向けたアンケート調査報告書

令和5年3月
那 珂 市

発 行 那珂市 保健福祉部 介護長寿課
〒311-0192 茨城県那珂市福田1819番地5
TEL 029-298-1111 (代表)
